

# 令和3年度滋賀県地域日本語教育実態調査 報告書

令和4年3月

滋賀県総合企画部国際課



# 目次

第1章 調査概要 .....	1
第2章 調査結果「A 市町」 .....	3
1. 日本語教育事業の実施状況.....	3
2. 実施体制.....	5
3. 役割についての考え.....	7
4. 課題、ニーズ等.....	9
第3章 調査結果「B 国際交流協会」 .....	15
1. 日本語教育事業の実施状況.....	15
2. 課題、ニーズ等.....	18
第4章 調査結果「C 日本語教室」 .....	24
1. 教室の活動について.....	24
2. 日本語教育コーディネーターについて.....	31
3. 日本語教師、日本語学習支援者（ボランティア）について.....	33
4. 日本語学習者について.....	40
5. 学習方法や内容について.....	45
6. 地域の日本語教室の役割についての考え.....	47
第5章 調査結果「D 日本語学校」 .....	53
第6章 調査結果「E 事業所」 .....	60
1. 事業所の属性・外国人従業員の雇用状況.....	60
2. 外国人従業員の日本語能力について.....	65
3. 外国人従業員に対する日本語学習の支援について.....	69
4. 外国人従業員への日本語教育の将来について.....	76
第7章 調査結果「F 外国人県民等」 .....	81
1. 属性.....	81
2. 日本語学習に関する項目.....	84
3. 日本語能力に関する項目.....	91
参考資料「調査票」 .....	95
A 市町用調査票.....	95
B 国際交流協会用調査票.....	98
C 日本語教室用調査票.....	101
D 日本語学校用調査票.....	107
E 事業所用調査票.....	109
F 外国人県民等用調査票.....	112

# 第1章 調査概要

## 1. 調査目的

滋賀県における地域日本語教育の体制づくりを効果的に推進するため、県内の日本語教育の実態および外国人県民の日本語教育に対するニーズ等を調査する。

## 2. 調査対象

- A 市町：県内 19 市町の多文化共生担当課
- B 国際交流協会：県内の 15 団体
- C 日本語教室：県内の 15 団体、および、日本語教室を開催している市町・国際交流協会
- D 日本語学校：県内の 2 機関
- E 事業所：県内の事業所
- F 外国人県民等：県内在住外国人、日本語学習者

## 3. 調査期間

- A～D：令和3年11月29日（月）～令和4年1月16日（日）
- E：令和3年12月7日（火）～令和4年1月16日（日）
- F：令和3年12月6日（月）～令和4年1月16日（日）

## 4. 調査方法

- A～D：調査票データのメール添付による配布、回答
  - E：関係団体を通じた調査協力依頼。オンライン回答フォームによる回答
  - F：関係団体を通じた調査協力依頼。オンライン回答フォームによる回答
- ※8言語の回答フォームを開設（日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、ベトナム語、中国語（簡体字）、インドネシア語）

## 5. 回収状況

調査対象	配布数（件）	有効回答数（件）	有効回答率（％）
A 市町	19	11	57.9
B 国際交流協会	15	9	60.0
C 日本語教室	49	19	—
D 日本語学校	2	2	100.0
E 事業所	—	142	—
F 外国人県民等	—	119	—



## 6. 調査結果の表示方法

- 設問ごとの集計母数は、グラフ中に「N=\*\*\*」と表記している。
- 集計結果の百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、単数回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を分母として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比の合計は通常100.0%にはならない。

## 7. 用語の定義

用語	定義
日本語学習支援者 (有資格者除く)	日本語学習者に直接日本語を指導する者やサポートをする者
日本語教育コーディネーター	地域における日本語教育の実態把握・課題解決や日本語教育の企画・運営、学習プログラムの作成及び日本語教師、関係機関、地域住民等との連携・調整等の業務を担当している者
地域の日本語教育	外国人等が日本語を習得するために行われる教育その他の活動(外国人等に対して行われる日本語の普及を図るための活動を含む)
日本語教育有資格者	(日本語教育機関の告示基準「出入国在留管理庁」より抜粋) 下記①～⑤のいずれかに該当する人 ①大学(短期大学を除く。以下この号において同じ。)又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者 ②大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者 ③公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者 ④学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるもの(日本語教師養成研修)を420単位時間以上受講し、これを修了した者 ⑤その他①～④までに掲げる者と同等以上の能力があると認められる者

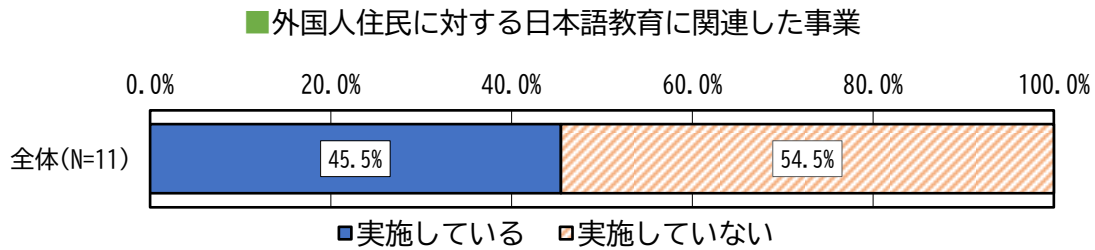
## 第2章 調査結果「A 市町」

### 1. 日本語教育事業の実施状況

#### (1) 外国人住民に対する日本語教育に関連した事業

問1 貴市町において、行政として外国人住民に対する日本語教育に関連した事業を実施していますか。

「実施している」が45.5%となっている。

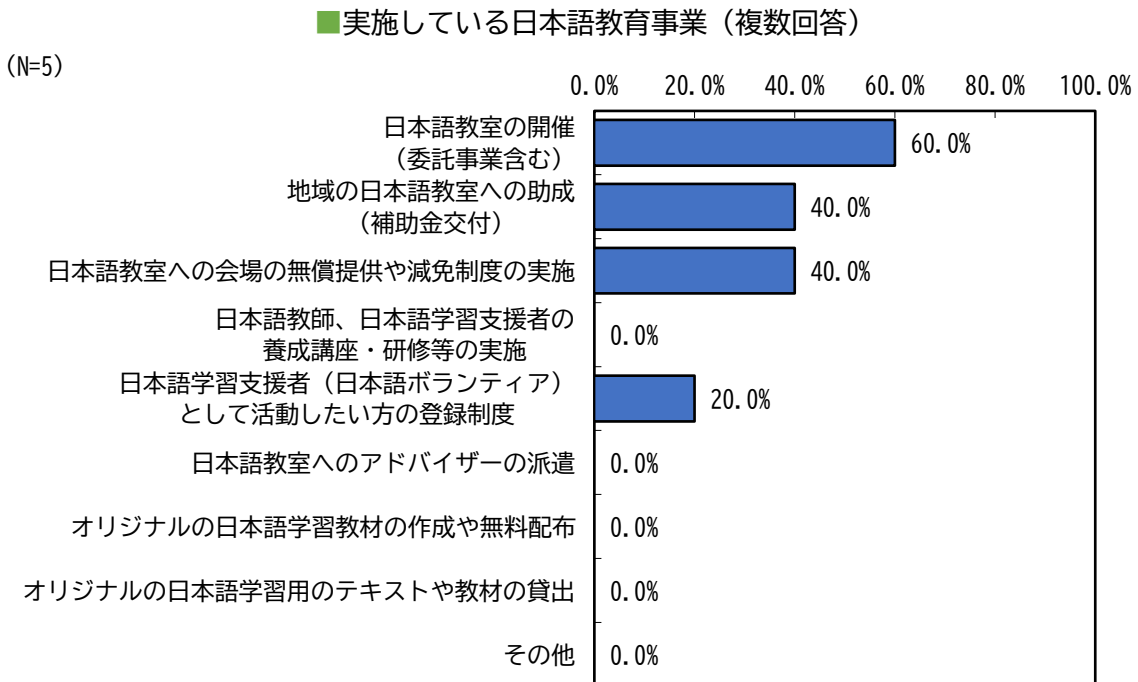


#### (2) 実施している日本語教育事業

問1で1（実施している）と回答された方にお聞きます。

問2 貴市町では、令和3年度に、日本語教育に関し、どのような事業を実施していますか。  
（教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く。）  
（複数回答可）

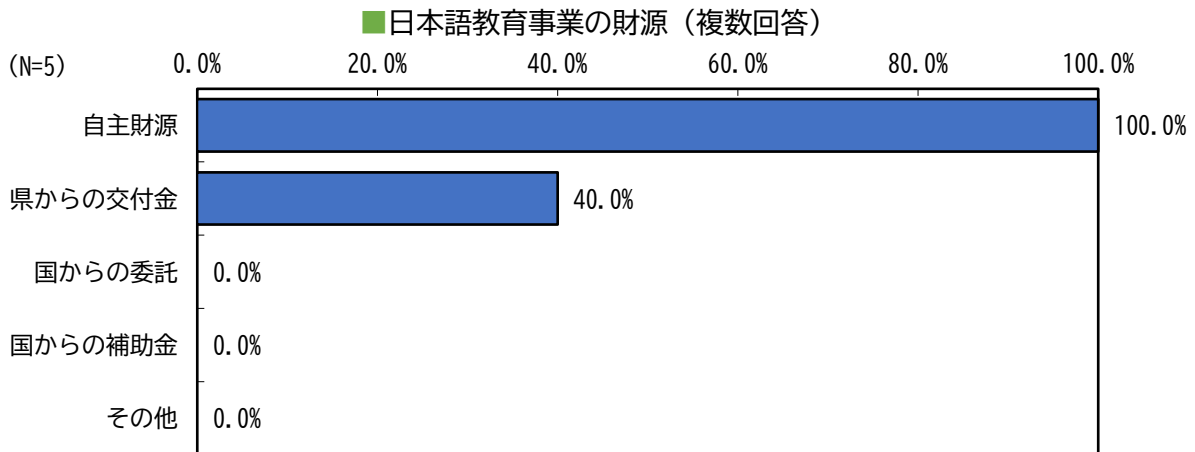
「日本語教室の開催」（60.0%）が最も多く、次いで「地域の日本語教室への助成」「日本語教室への会場の無償提供や減免制度の実施」（ともに40.0%）となっている。



### (3) 日本語教育事業の財源

問3 貴市町における日本語教育に関する事業（学校教育課程外）の財源。（複数回答可）

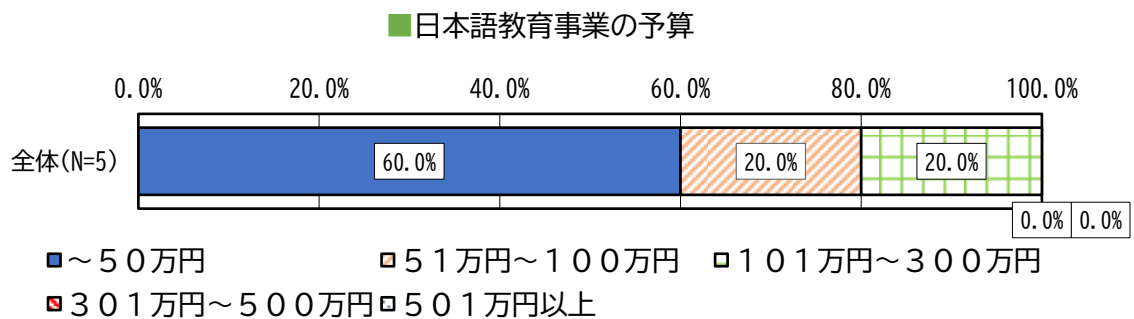
「自主財源」（100.0%）が最も多く、次いで「県からの交付金」（40.0%）となっている。



### (4) 日本語教育事業の予算

問4 貴市町における日本語教育に関する事業（学校教育課程外）の予算規模。

「～50万円」（60.0%）が最も多く、次いで「51万円～100万円」「101万円～300万円」（ともに20.0%）となっている。

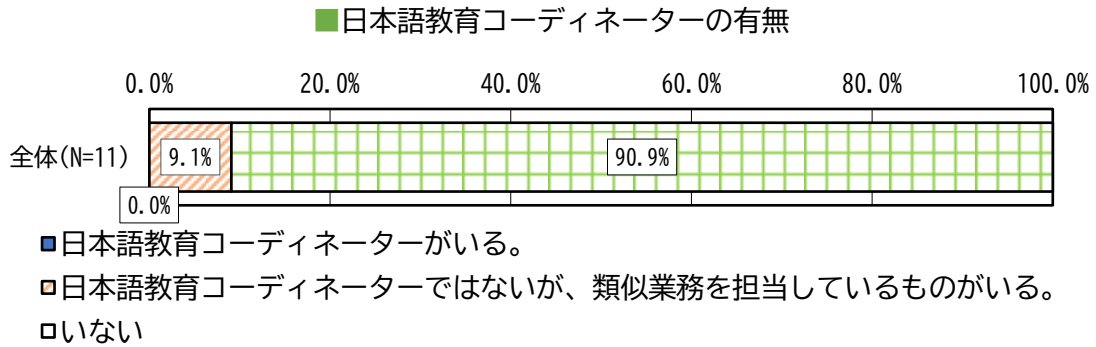


## 2. 実施体制

### (1) 日本語教育コーディネーターの有無

問5 貴市町には日本語教育コーディネーター、もしくはそのような業務を担当されている方はいますか。

「日本語教育コーディネーターがいる」は 0.0%、「日本語教育コーディネーターではないが、類似業務を担当しているものがある」は 9.1%となっている。

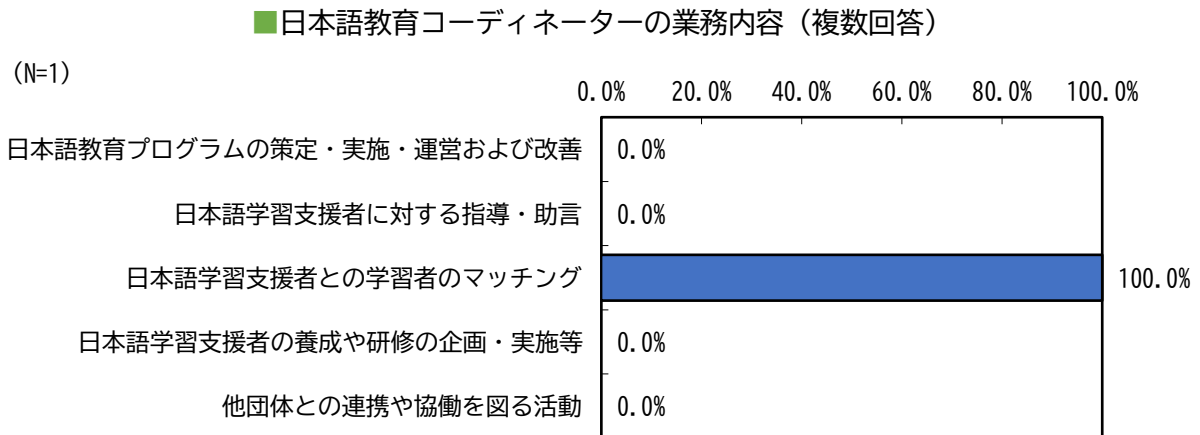


### (2) 日本語教育コーディネーターの業務内容

問5で1、2と回答された方にお聞きします。

問6 業務の内容を教えてください。(複数回答可)

「日本語学習支援者との学習者のマッチング」が 100.0%となっている。



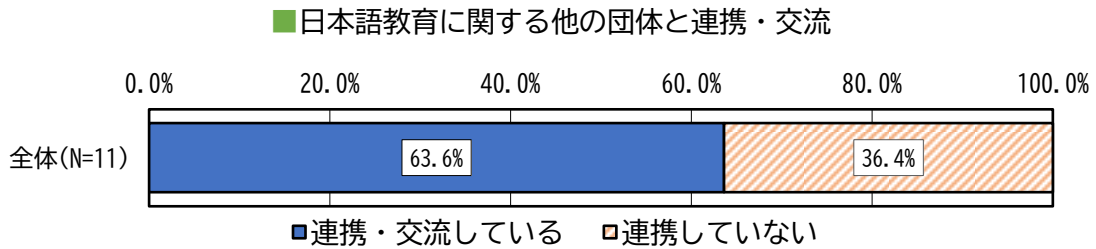
(3) 日本語教育に関する他の団体と連携・交流

問7 日本語教育に関して他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等）と連携、交流を行っていますか。

「連携・交流している」が63.6%となっている。

「連携先」自由記述には、6市町から、延べ10件の回答を得た。

「連携内容」自由記述には、5市町から、延べ7件の回答を得た。



■日本語教育に関する他の団体と連携・交流：「連携先」自由記述

整理番号	「連携先」	件数
1	各市町の国際交流協会	6
	国際協会がボランティア主体による日本語教室を実施しており、国際協会が毎月実施する運営委員会に参加して情報提供を受けている。	
2	特定の団体名	4

※記述内容の一部抜粋

■日本語教育に関する他の団体と連携・交流：「連携内容」自由記述

整理番号	「連携内容」	件数
1	日本語教室事業への財政的支援・補助金交付	2
2	日本語教室の運営委託	2
3	日本語教室運営への助言・情報提供	2
4	日本語教室の広報	1

※記述内容の一部抜粋

### 3. 役割についての考え

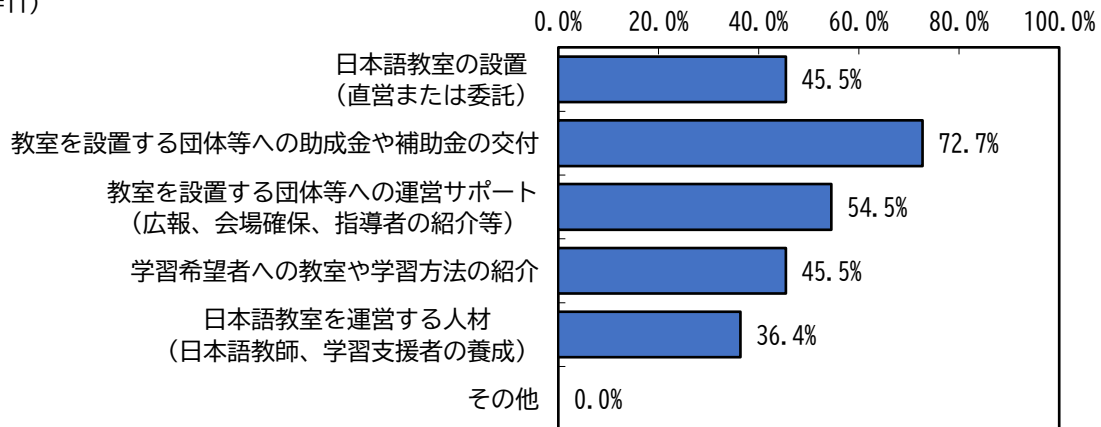
#### (1) 日本語教育における市町の役割

問8 在住外国人に対する日本語教育における市町の役割にはどのようなものがあると考えますか。(複数回答可)

「教室を設置する団体等への助成金や補助金の交付」(72.7%)が最も多く、次いで「教室を設置する団体等への運営サポート」(54.5%)、「日本語教室の設置」「学習希望者への教室や学習方法の紹介」(ともに45.5%)となっている。

■日本語教育における市町の役割(複数回答)

(N=11)



## (2) 地域の日本語教室の役割

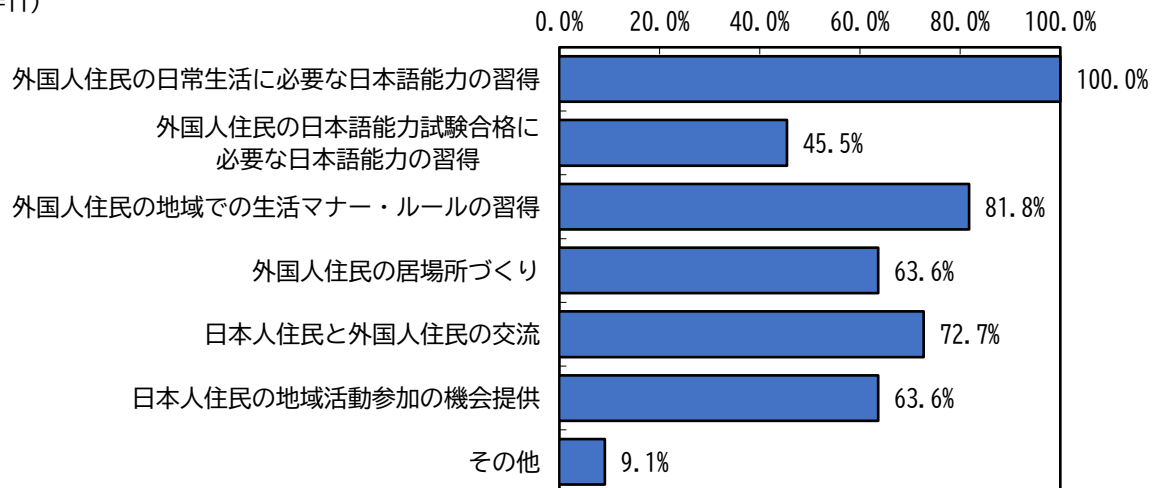
問9 地域の日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。(複数回答可)

「外国人住民の日常生活に必要な日本語能力の習得」(100.0%)が最も多く、次いで「外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得」(81.8%)、「日本人住民と外国人住民の交流」(72.7%)となっている。

「その他」自由記述には、1市町から、延べ1件の回答を得た。

■地域の日本語教室の役割(複数回答)

(N=11)



■地域の日本語教室の役割：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	日本語教室ごとに役割を認識しつつ、相互に意見交換・情報共有	1

※記述内容の一部抜粋

## 4. 課題、ニーズ等

## (1) 地域の日本語教室の運営者からの相談

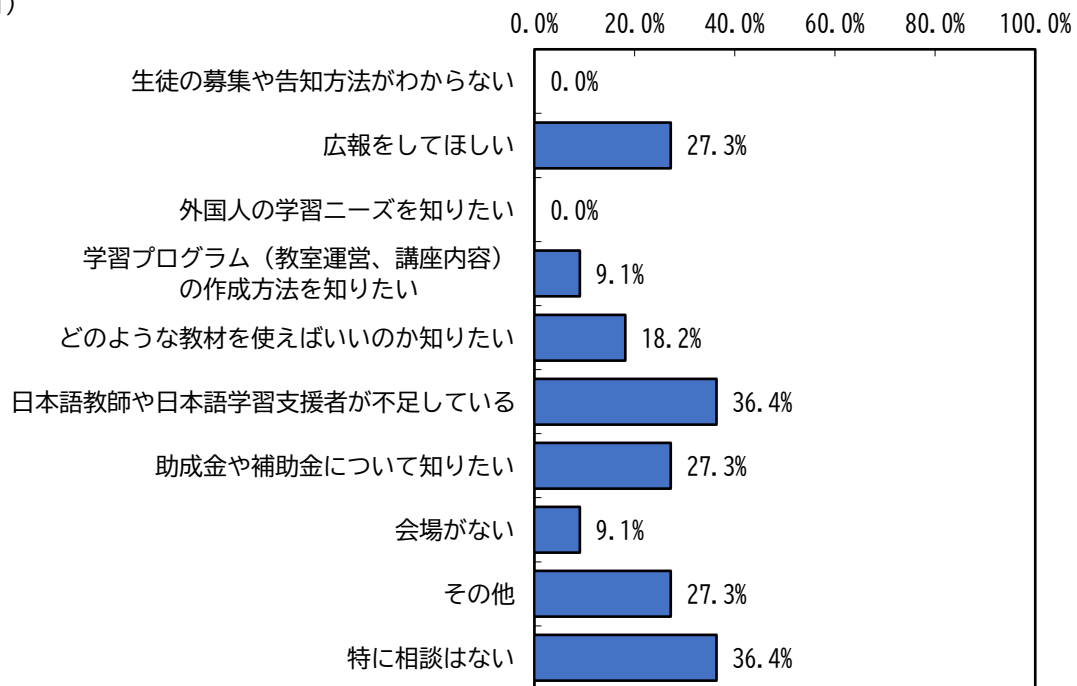
問10 地域の日本語教室の運営者からの相談にはどのようなものがありますか。(複数回答可)

「日本語教師や日本語学習支援者が不足している」(36.4%)が最も多く、次いで「広報をしてほしい」「助成金や補助金について知りたい」「その他」(それぞれ27.3%)となっている。また、「特に相談はない」は36.4%となっている。

「その他」自由記述には、3市町から、延べ3件の回答を得た。

■地域の日本語教室の運営者からの相談(複数回答)

(N=11)



■地域の日本語教室の運営者からの相談:「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	市町からの助成金や補助金が欲しい	1
2	指導者がボランティアであり、レベルを保つのが困難	1
3	地域に日本語教室がない	1

※記述内容の一部抜粋



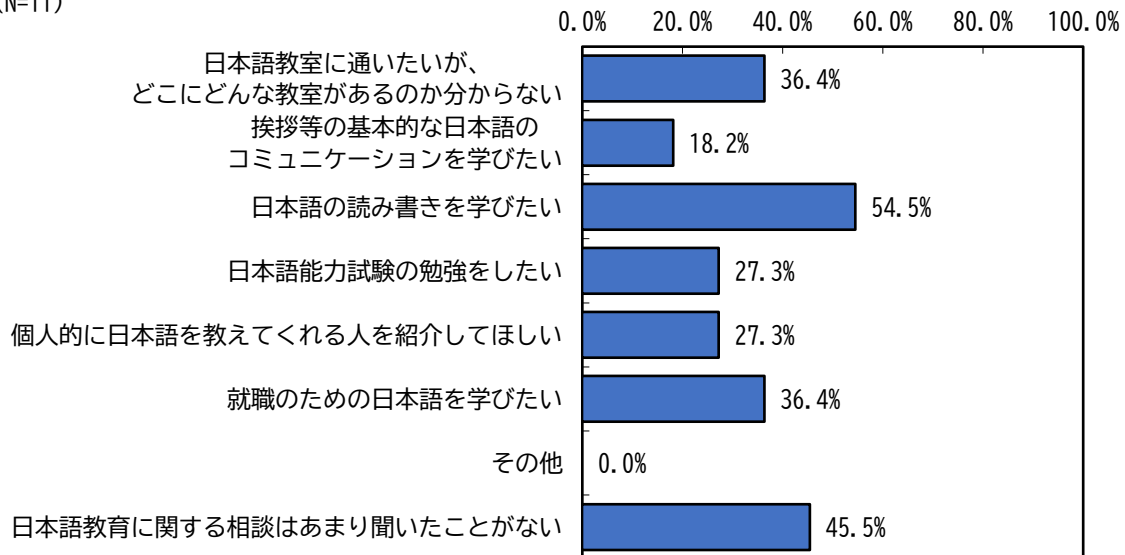
## (2) 外国人住民からの日本語教育に関する相談

問11 外国人住民(大人)からの日本語教育に関する相談にはどのようなものがありますか。  
(複数回答可)

「日本語の読み書きを学びたい」(54.5%)が最も多く、次いで「日本語教室に通いたいが、どこにどんな教室があるのか分からない」「就職のための日本語を学びたい」(ともに36.4%)となっている。また、「日本語教育に関する相談はあまり聞いたことがない」は45.5%となっている。

### ■外国人住民からの日本語教育に関する相談(複数回答)

(N=11)



(3) 市町における日本語教育の問題点・課題

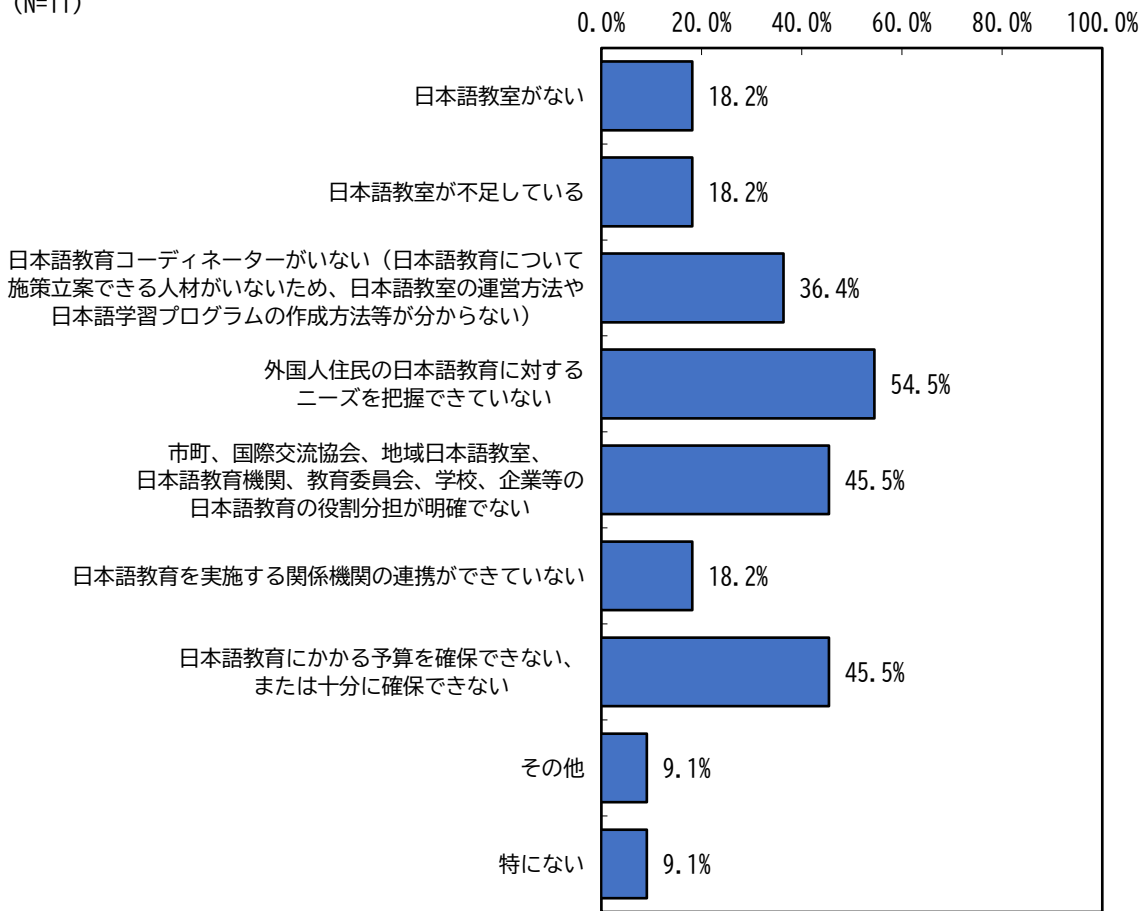
問12 貴市町における日本語教育の問題点・課題にはどのようなものがあると考えますか。  
(複数回答可)

「外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない」(54.5%)が最も多く、次いで「市町、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会、学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない」「日本語教育にかかる予算を確保できない、または十分に確保できない」(ともに45.5%)となっている。また、「特にない」は9.1%となっている。

「その他」自由記述には、1市町から、延べ1件の回答を得た。

■市町における日本語教育の問題点・課題(複数回答)

(N=11)



■市町における日本語教育の問題点・課題：「その他」自由記述

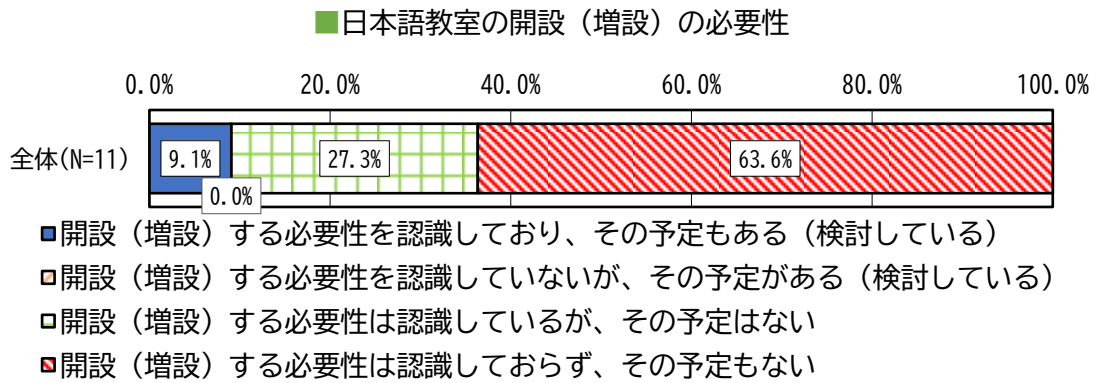
整理番号	「その他」	件数
1	講師の高齢化や人材不足	1

※記述内容の一部抜粋

#### (4) 日本語教室の開設（増設）の必要性

問13 貴市町として教室の開設（増設）の必要性と今後の予定について教えてください。

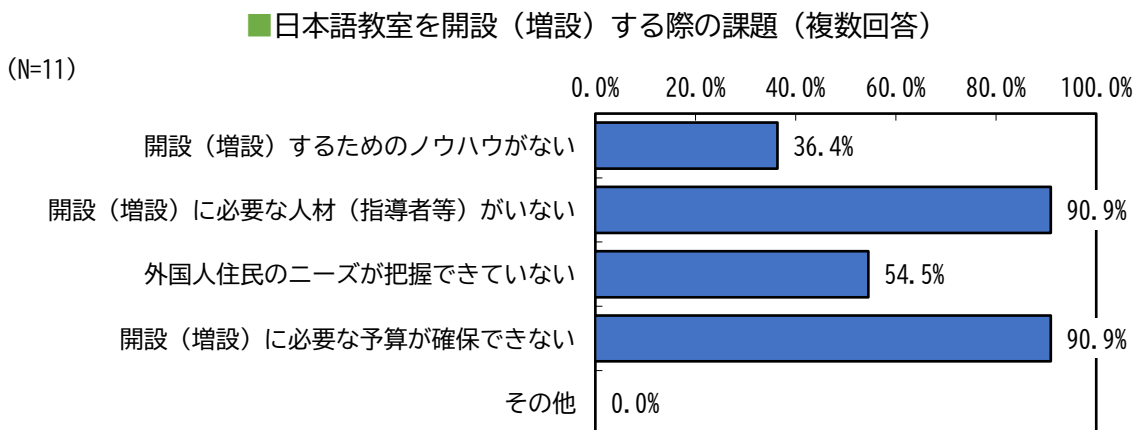
「開設する必要性は認識しておらず、その予定もない」（63.6%）が最も多く、次いで「開設する必要性は認識しているが、その予定はない」（27.3%）、「開設する必要性を認識しており、その予定もある」（9.1%）となっている。



#### (5) 日本語教室を開設（増設）する際の課題

問14 貴市町が教室開設（増設）を検討すると仮定した場合の課題は何ですか。（複数回答可）

「開設に必要な人材がない」「開設に必要な予算が確保できない」（ともに90.9%）が最も多く、次いで「外国人住民のニーズが把握できていない」（54.5%）となっている。

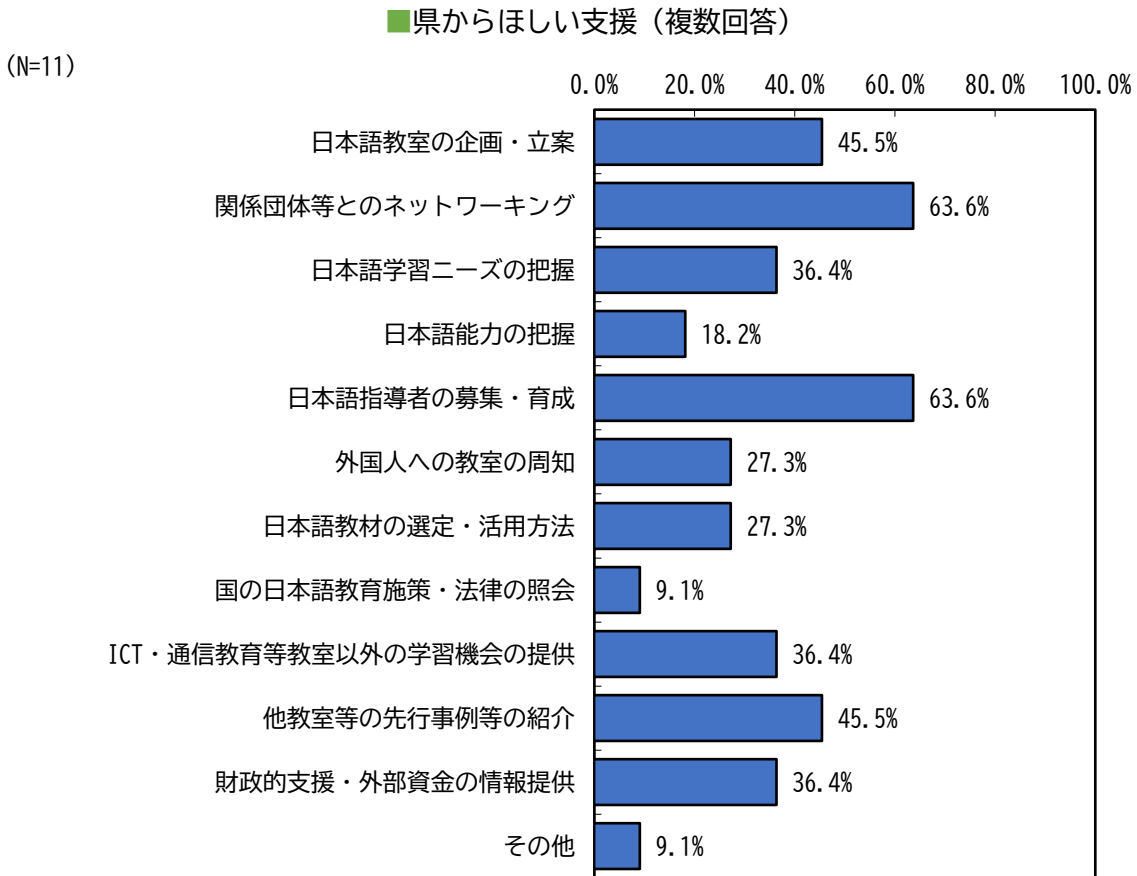


(6) 県からほしい支援

問 15 今後の貴市町における日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのような支援があるとよいと考えていますか。（複数回答可）

「関係団体等とのネットワーキング」「日本語指導者の募集・育成」（ともに 63.6%）が最も多く、次いで「日本語教室の企画・立案」「他教室等の先行事例等の紹介」（ともに 45.5%）となっている。

「その他」自由記述には、1市町から、延べ1件の回答を得た。



■ 県からほしい支援：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	国、県、市町の役割分担の明確化に対する国への要望	1

※記述内容の一部抜粋

**(7) 日本語教育事業に関する自由意見**

問 16	その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。（自由記述）
------	-----------------------------------------------------

2市町から、延べ3件の回答を得た。

■日本語教育事業に関する自由意見（自由記述）

整理番号	自由意見	件数
1	今後、オンラインでの日本語教室の必要性について、県とも連携して検討していきたい。	1
2	市町が日本語教室を民間事業者等に委託で実施した場合の財政措置を希望。	1
3	県が県内で複数直営で運営し、そこに参加できるようにしてほしい。	1

※記述内容の一部抜粋

## 第3章 調査結果「B 国際交流協会」

### 1. 日本語教育事業の実施状況

#### (1) 実施している日本語教育事業

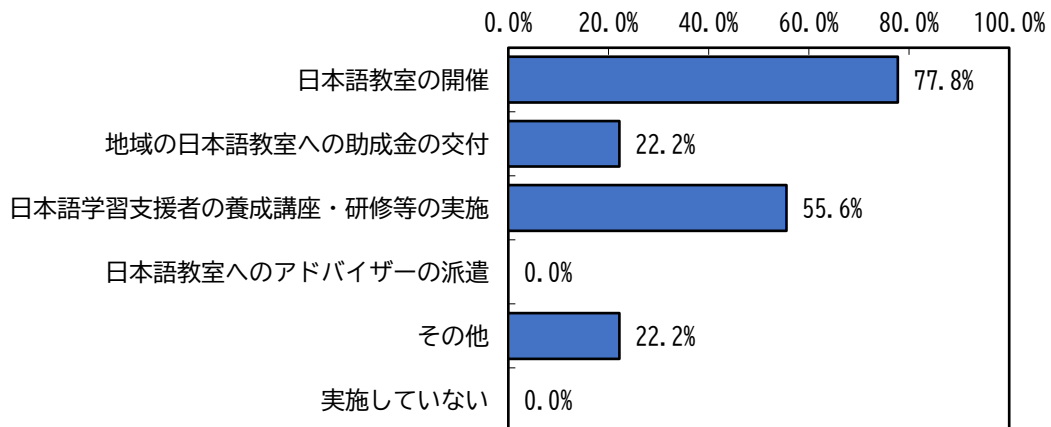
問1 貴団体では、令和3年度に日本語教育に関し、どのような事業を実施していますか。  
 (一時休止中も含む。)(複数回答可)  
 (教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く。)

「日本語教室の開催」(77.8%)が最も多く、次いで「日本語学習支援者の養成講座・研修等の実施」(55.6%)、「地域の日本語教室への助成金の交付」「その他」(ともに22.2%)となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。

■実施している日本語教育事業(複数回答)

(N=9)



■実施している日本語教育事業：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	「日本語交流員養成講座(体験講座)」	1
	モンゴル教育大学の学生と「やさしい日本語」でオンライン交流	
2	2つの日本語教室(月曜昼、個別)(土曜夜)	1
	市、協会、2つの日本語教室の代表によるネットワーク会議(2回程度/年)を開催	

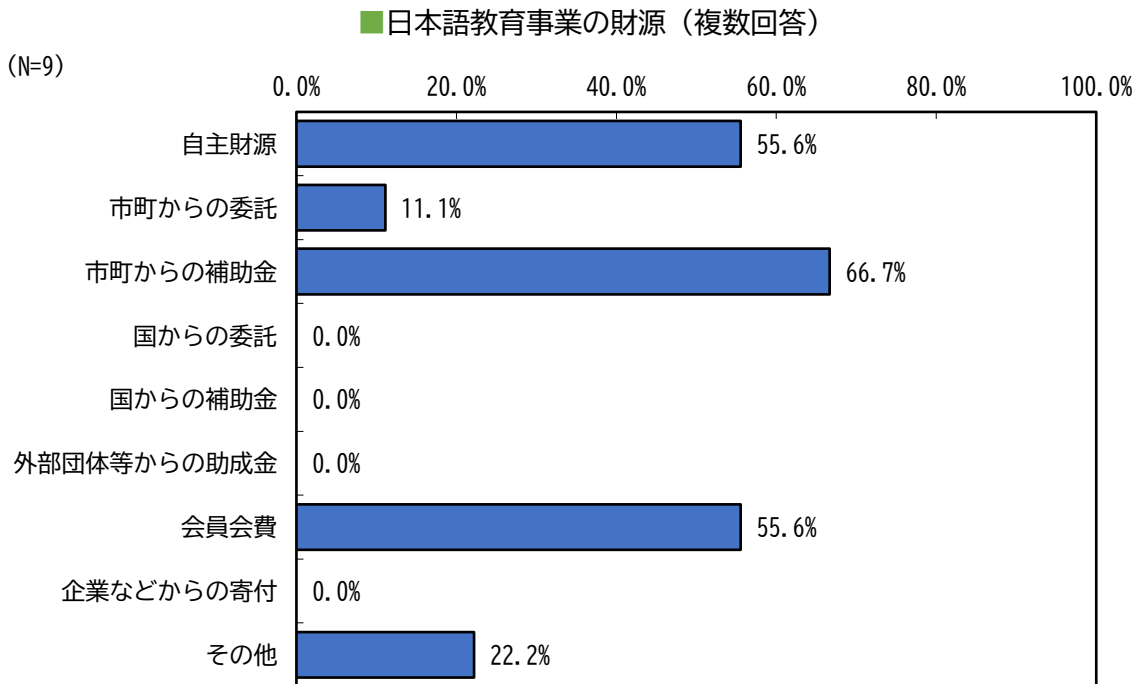
※記述内容の一部抜粋

## (2) 日本語教育事業の財源

問2 貴団体における日本語教育に関する事業（学校教育課程外）の財源。（複数回答可）

「市町からの補助金」（66.7%）が最も多く、次いで「自主財源」「会員会費」（ともに55.6%）となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。



■日本語教育事業の財源：「その他」自由記述

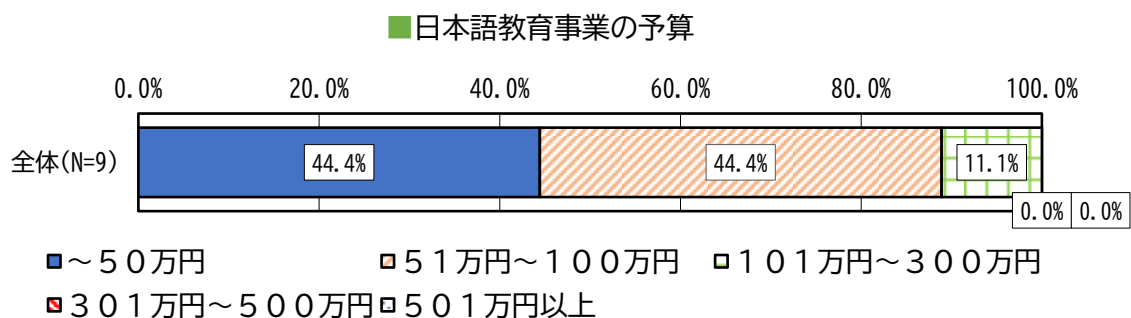
整理番号	「その他」	件数
1	受講料	1
2	学習者から徴収する学習協力費（コロナまでは学習後の飲み物代に充当）	1

※記述内容の一部抜粋

## (3) 日本語教育事業の予算

問3 貴団体における日本語教育に関する事業（学校教育課程外）の予算規模。

「～50万円」「51万円～100万円」（ともに44.4%）が最も多く、次いで「101万円～300万円」（11.1%）となっている。



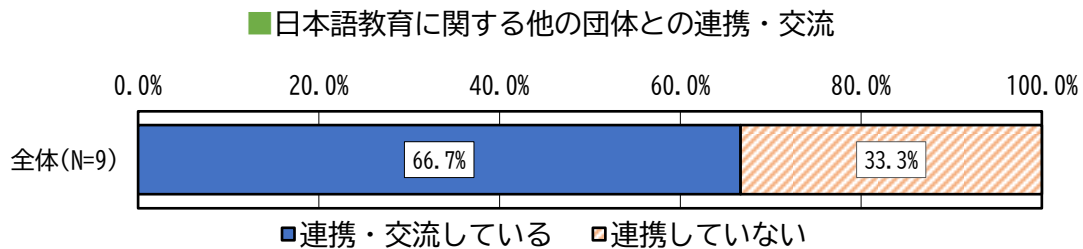
(4) 日本語教育に関する他の団体との連携・交流

問4 日本語教育に関して他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等）と連携、交流を行っていますか。

「連携・交流している」が66.7%となっている。

「連携先」自由記述には、6市町から、延べ8件の回答を得た。

「連携内容」自由記述には、5市町から、延べ8件の回答を得た。



■日本語教育に関する他の団体と連携・交流：「連携先」自由記述

整理番号	「連携先」	件数
1	びわこ日本語ネットワーク（BNN）	4
2	市町	1
3	滋賀県国際協会の滋賀県国際交流推進協議会	1
4	特定の団体名	2

※記述内容の一部抜粋

■日本語教育に関する他の団体と連携・交流：「連携内容」自由記述

整理番号	「連携内容」	件数
1	研修会、講習会、会議などへの参加	3
	県の国際交流協会、各市町国際交流協会との情報交換、研修会参加	
2	スピーチ大会協力、参加	2
	びわこ日本語ネットワークと、外国人の日本語スピーチ大会を通じた交流	
3	日本語教室の内容を記載したチラシを作成し、学習希望者から問い合わせがあった際には案内	1
4	日本語教室に通うことができない人のためにサポーターバンクを運営し個別指導に対応	1
5	外国人相談	1

※記述内容の一部抜粋



## 2. 課題、ニーズ等

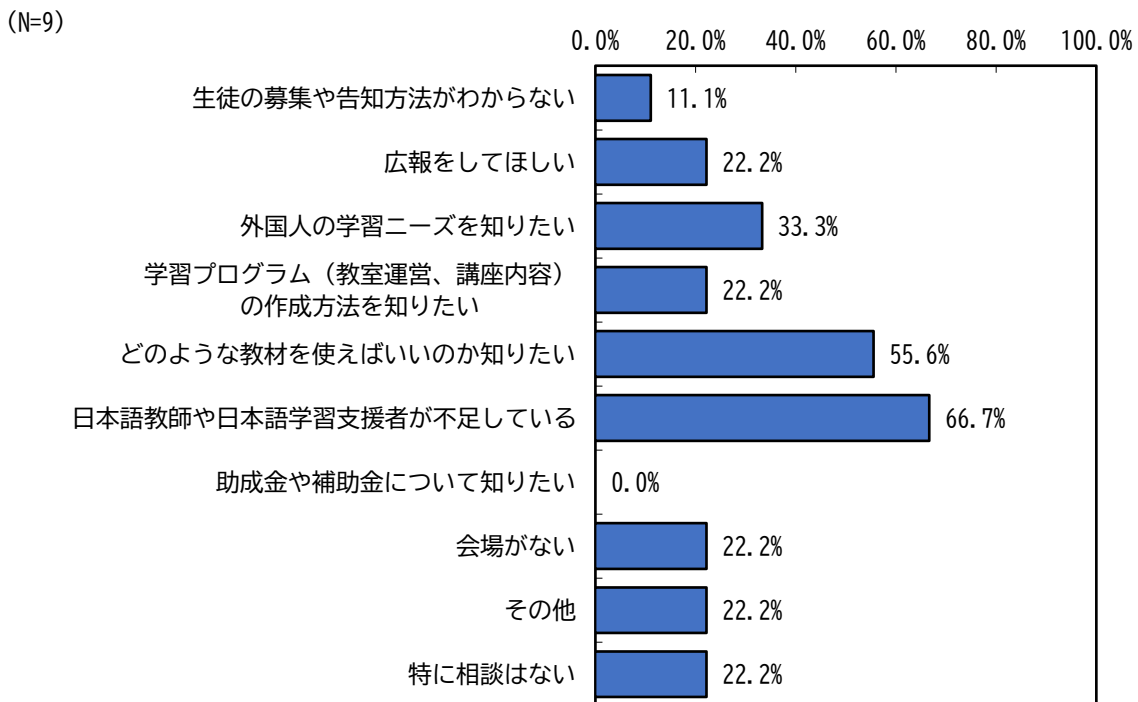
### (1) 地域の日本語教室の運営者からの相談

問5 地域の日本語教室の運営者からの相談にはどのようなものがありますか。(複数回答可)

「日本語教師や日本語学習支援者が不足している」(66.7%)が最も多く、次いで「どのような教材を使えばいいのか知りたい」(55.6%)、「外国人の学習ニーズを知りたい」(33.3%)となっている。また、「特に相談はない」は22.2%となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。

■地域の日本語教室の運営者からの相談（複数回答）



■地域の日本語教室の運営者からの相談：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	コロナ禍で教室の開催を制限されている	2
	コロナで教室が開催できなかったこともあり、再開後の学習者の人数が激減している	
	大学の教室を借りての開催なので、今年度は構内入構制限のために、全面オンラインで実施	

※記述内容の一部抜粋

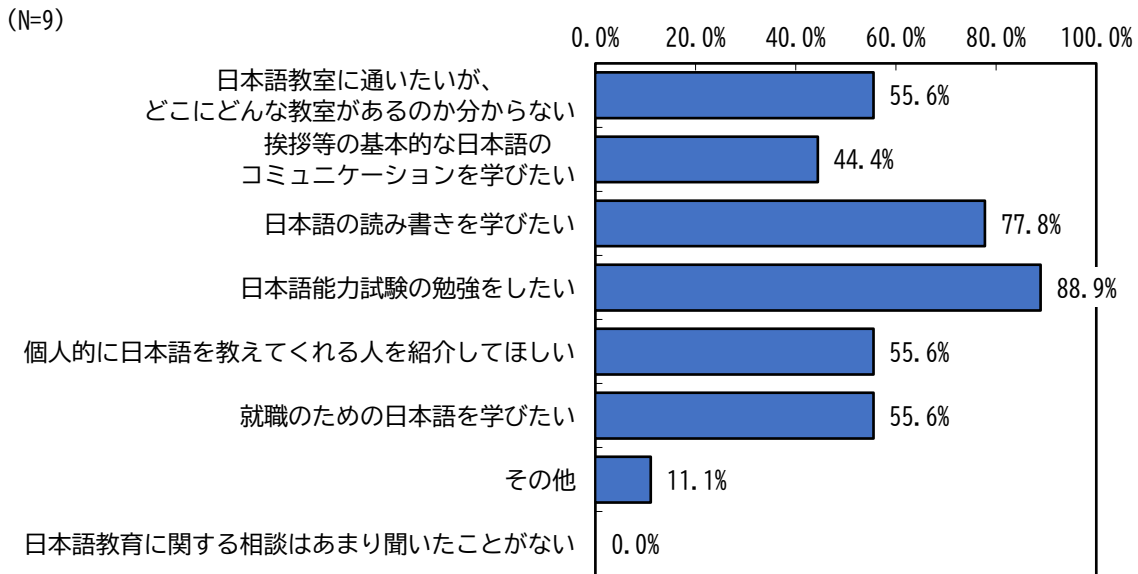
## (2) 外国人住民からの日本語教育に関する相談

問6 外国人住民(大人)からの日本語教育に関する相談にはどのようなものがありますか。  
(複数回答可)

「日本語能力試験の勉強をしたい」(88.9%)が最も多く、次いで「日本語の読み書きを学びたい」(77.8%)、「日本語教室に通いたいが、どこにどんな教室があるのか分からない」「個人的に日本語を教えてくれる人を紹介してほしい」「就職のための日本語を学びたい」(それぞれ55.6%)となっている。

「その他」自由記述には、1団体から、延べ1件の回答を得た。

■外国人住民からの日本語教育に関する相談(複数回答)



■外国人住民からの日本語教育に関する相談：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	子どもにも日本語を勉強させたいが行ってもよいか、等の問い合わせや希望	1

※記述内容の一部抜粋

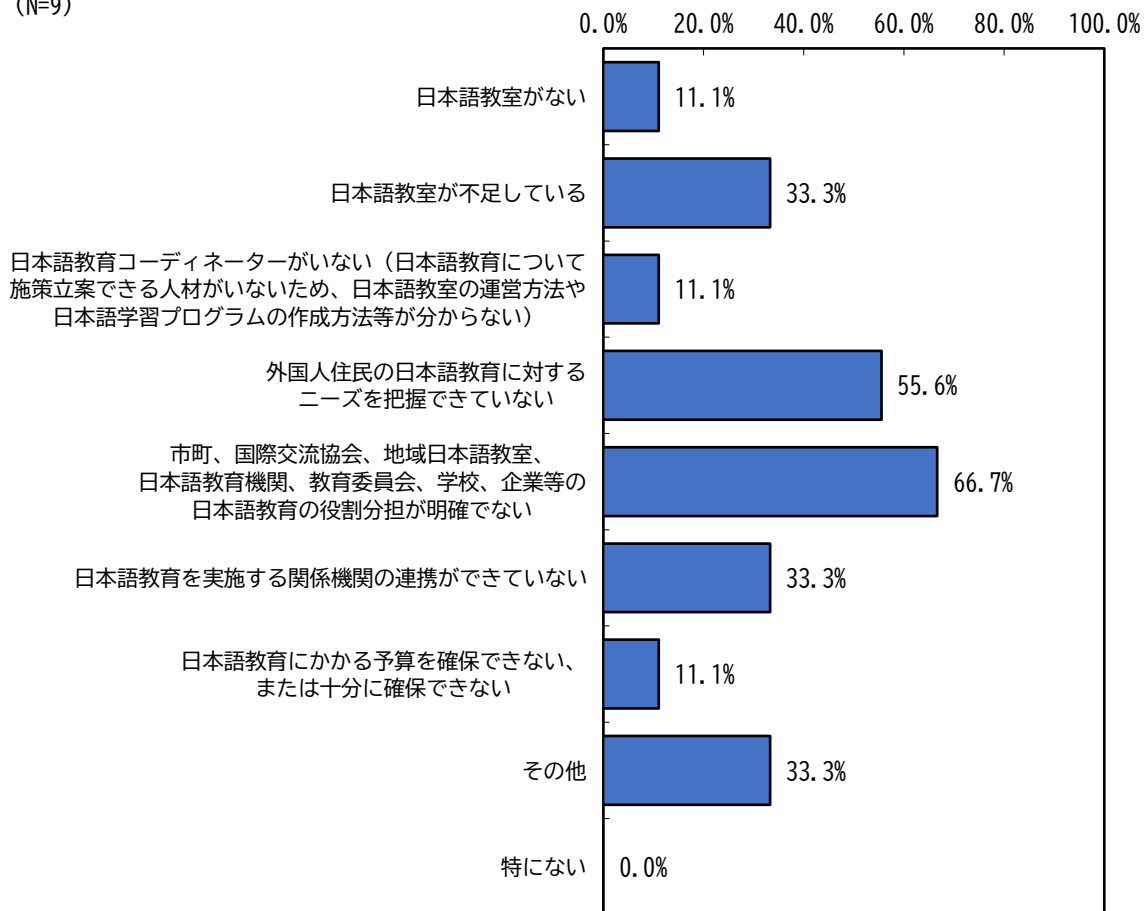
(3) 活動している市町における日本語教育の問題点・課題

問7 貴団体が活動される市町における日本語教育の問題点・課題にはどのようなものがあると考えますか。(複数回答可)

「市町、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会、学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない」(66.7%)が最も多く、次いで「外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない」(55.6%)、「日本語教室が不足している」「日本語教育を実施する関係機関の連携ができていない」「その他」(それぞれ33.3%)となっている。「その他」自由記述には、3団体から、延べ5件の回答を得た。

■活動している市町における日本語教育の問題点・課題(複数回答)

(N=9)



■活動している市町における日本語教育の問題点・課題：「その他」自由記述

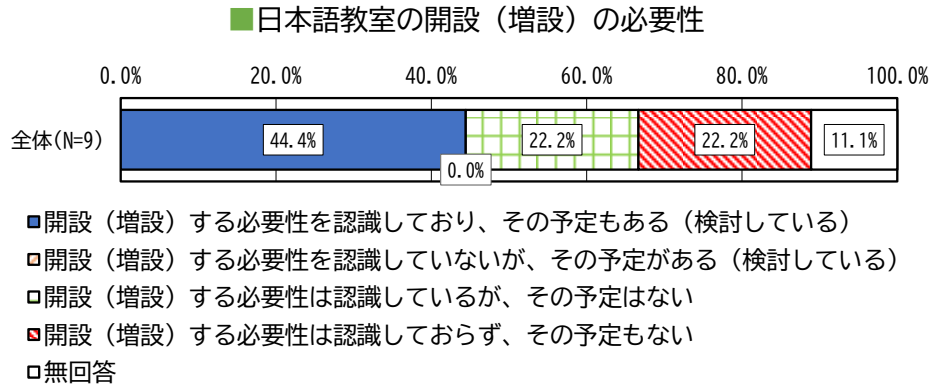
整理番号	「その他」	件数
1	ボランティアの高齢化。若い世代の加入がなく、あっても続かない	1
2	受入機関等で行うべき技能実習生等の日本語指導が、地域の教室に任されてしまう	1
3	日本語学習希望者の選択肢が2教室しかない。新しいサロン等を立ち上げるなど、市町内全体に日本語に触れる場をつくりたいが、なかなか進まない	1
4	継続して受講する学習者が少ない	1
5	コロナ禍で中止の期間もあり、学習者が以前ほど集まらない	1

※記述内容の一部抜粋

#### (4) 日本語教室の開設（増設）の必要性

問8 貴団体として教室の開設（増設）の必要性と今後の予定について教えてください。

「開設する必要性を認識しており、その予定もある」（44.4%）が最も多く、次いで「開設する必要性は認識しているが、その予定はない」「開設する必要性は認識しておらず、その予定もない」（ともに22.2%）となっている。

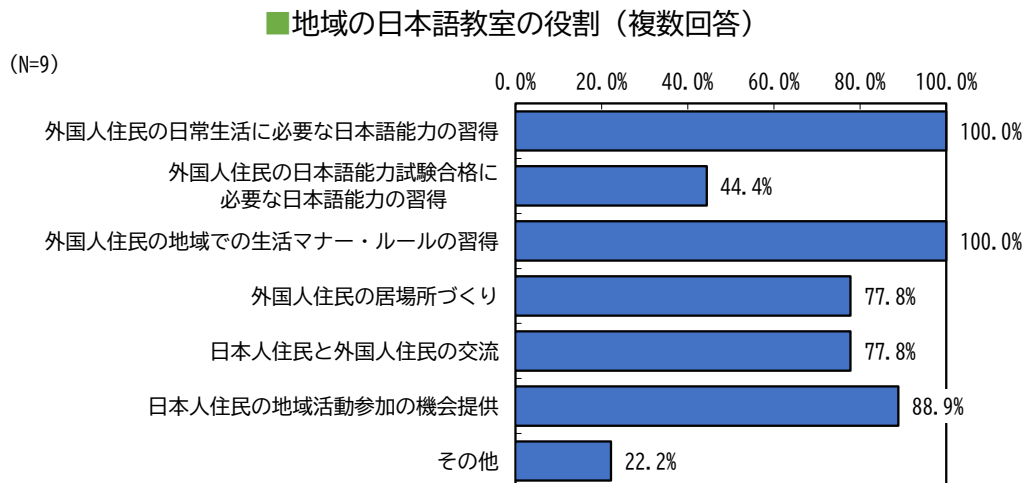


#### (5) 地域の日本語教室の役割

問9 地域の日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。（複数回答可）

「外国人住民の日常生活に必要な日本語能力の習得」「外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得」（ともに100.0%）が最も多く、次いで「日本人住民の地域活動参加の機会提供」（88.9%）となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。



■地域の日本語教室の役割：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	出会いの場。転入などで知り合いのいない外国人、日本人の友達づくりの場	1
2	困ったときに学習者がボランティアや協会に助けを求めたり、何かあったときに学習者を通じて一部ではあるが外国人市民の状況を把握	1

※記述内容の一部抜粋

(6) 県からほしい支援

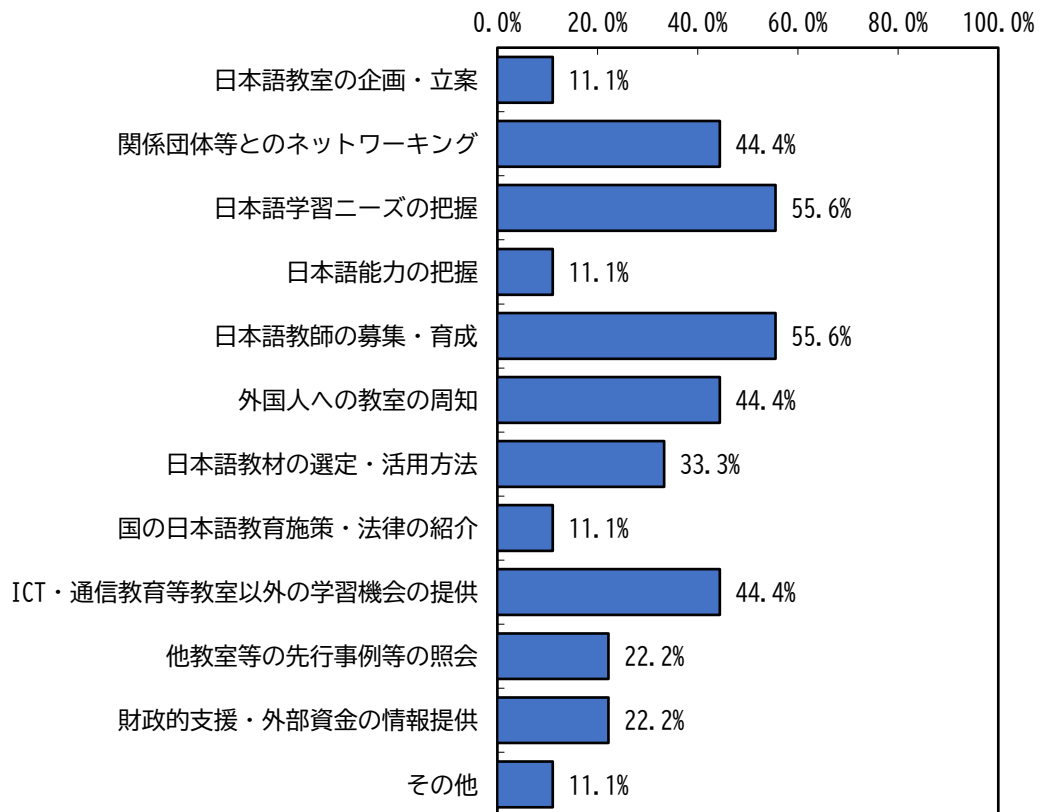
問10 今後の貴団体における日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのような支援があるとよいと考えていますか。（複数回答可）

「日本語学習ニーズの把握」「日本語教師の募集・育成」（ともに 55.6%）が最も多く、次いで「関係団体等とのネットワーキング」「外国人への教室の周知」「ICT・通信教育等教室以外の学習機会の提供」（それぞれ 44.4%）となっている。

「その他」自由記述には、1 団体から、延べ 1 件の回答を得た。

■ 県からほしい支援（複数回答）

(N=9)



■ 県からほしい支援：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	ボランティアの情報交換や他の教室へのボランティア応援制度など、日本語学習支援に関心のある県民が活動できる場所の紹介や派遣・応援のシステム、SNS を活用した掲示板	1

※記述内容の一部抜粋

## (7) 日本語教育事業に関する自由意見

問 11 その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。（自由記述）

4団体から、延べ4件の回答を得た。

## ■日本語教育事業に関する自由意見（自由記述）

整理番号	自由意見	件数
1	各市町の日本語教室の間の情報交換の場の設定。	1
2	外国人県民のためにボランティアで活動している人の自己負担とならないような方法で日本語指導者の養成研修を実施してほしい。	1
3	日本語教室のネットワークやボランティアのつながりをつくるための「(仮称・案) 滋賀にほんごボランティア研修会」のような場や、一定の学習支援方法が身に着く「(仮称・案) しが日本語ボランティア養成コース」など、学習を支えるボランティアが、県の取り組みとして「認められている、活動を支えてもらっている」と実感できるようなことができるとうい。	1
4	「総合的な体制づくり」では、県と市町の連携について事例紹介があった。滋賀県では、今後、どのような展開を考えておられるのか。	1

※記述内容の一部抜粋

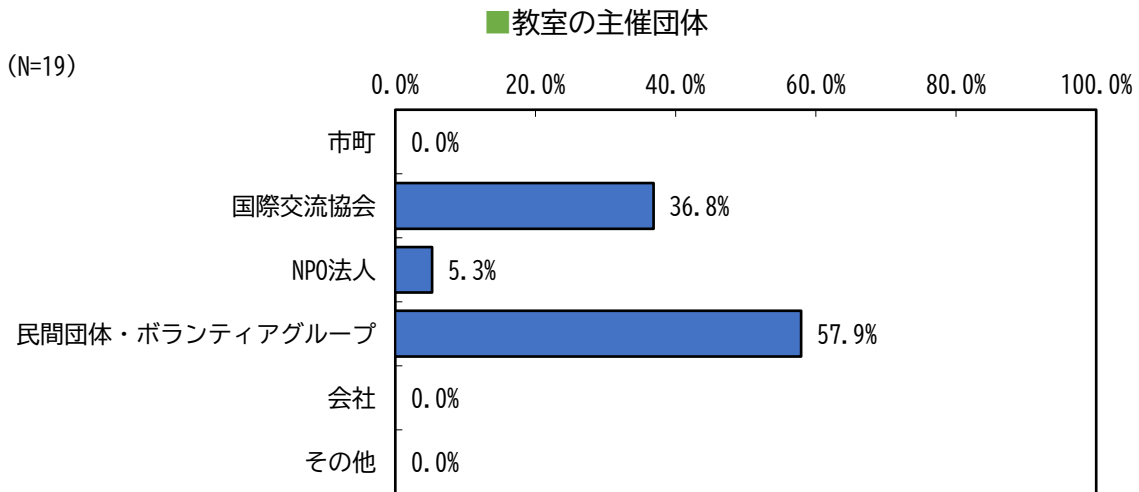
## 第4章 調査結果「C 日本語教室」

### 1. 教室の活動について

#### (1) 教室の主催団体

問1 教室の主催団体を教えてください。

「民間団体・ボランティアグループ」(57.9%)が最も多く、次いで「国際交流協会」(36.8%)、「NPO法人」(5.3%)となっている。

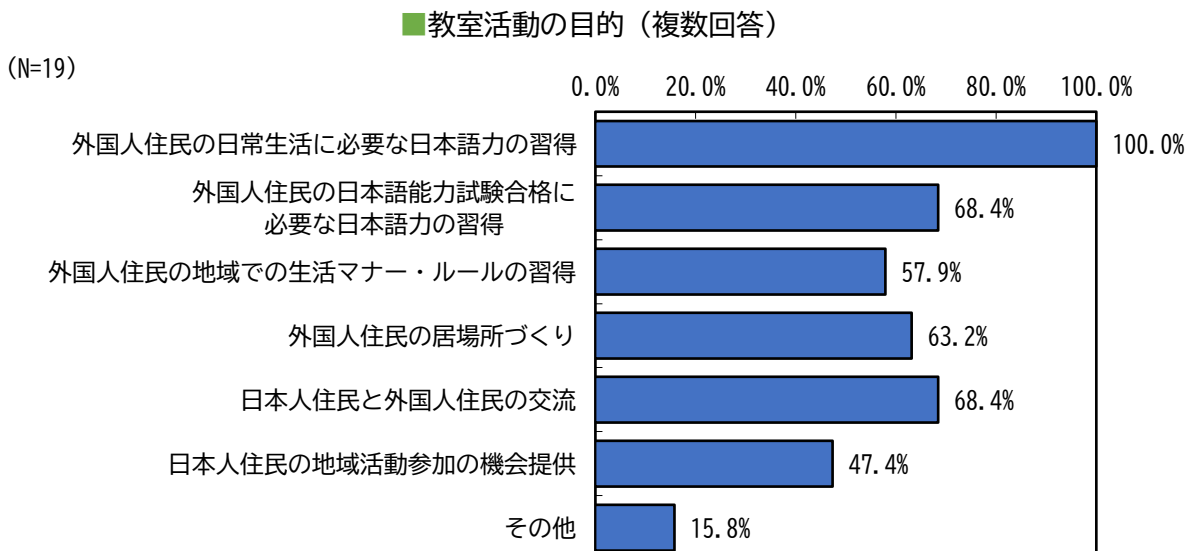


#### (2) 教室活動の目的

問2 教室活動の目的について教えてください。(複数回答可)

「外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得」(100.0%)が最も多く、次いで「外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得」「日本人住民と外国人住民の交流」(ともに68.4%)となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。



■教室活動の目的：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	同じ国出身者の仲間づくりの支援	1
2	日本で多い防災対応と避難訓練	1

※記述内容の一部抜粋

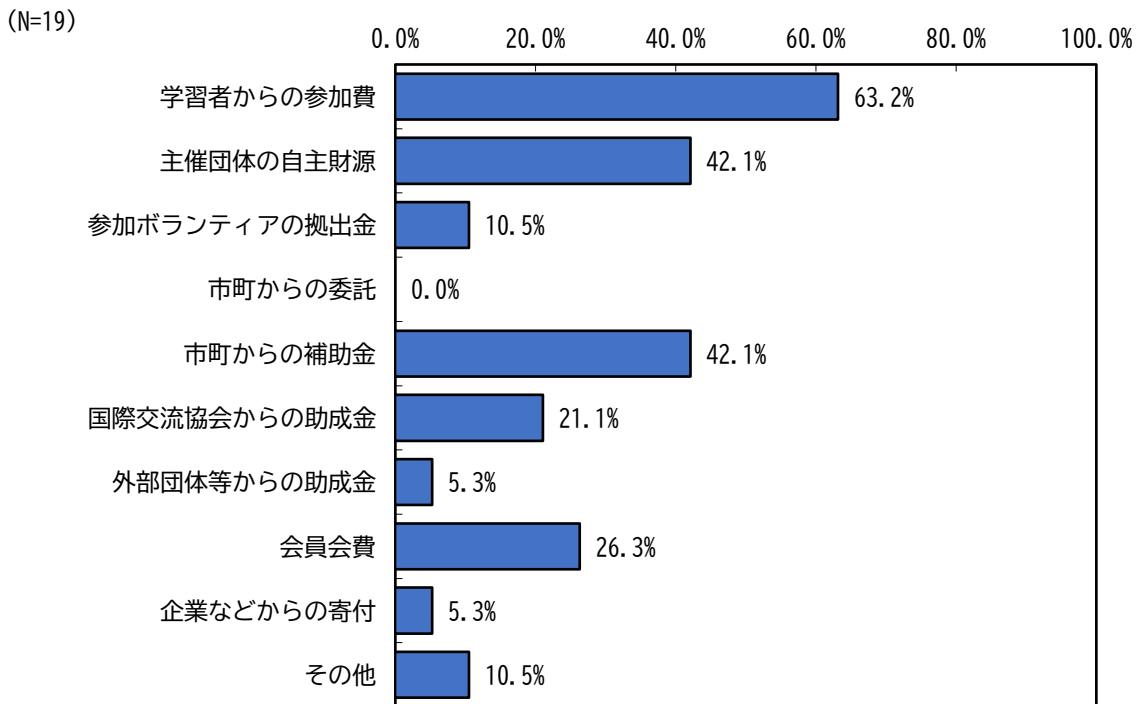
(3) 教室運営の財源

問3 教室運営のための財源を教えてください。(複数回答可)

「学習者からの参加費」(63.2%)が最も多く、次いで「主催団体の自主財源」「市町からの補助金」(ともに42.1%)となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。

■教室運営の財源(複数回答)



■教室運営の財源：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	会員会費以外の支援活動に必要な経費はすべて支援者の自己負担。団体としては徴収せず、学習者の負担なし	1
2	学習者からの参加費や会員会費などが団体の自主財源となり、市町からの補助金には充てられない飲み物代などにしてしたが、コロナ禍により飲食中止	1

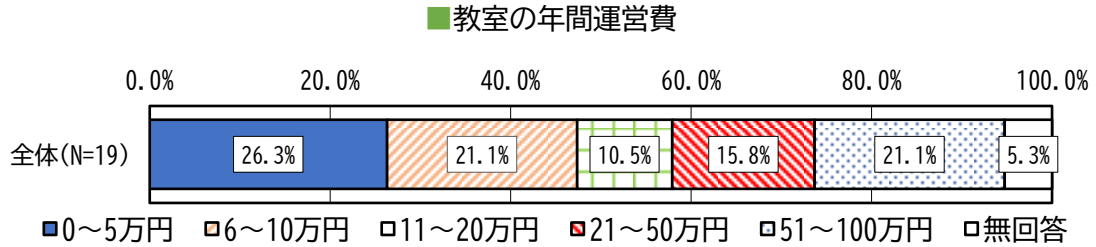
※記述内容の一部抜粋



#### (4) 教室の年間運営費

問4 教室の年間運営費を教えてください。(おおよそで結構です)

教室の年間運営費は、10万円以下が47.4%、11～50万円が26.3%、51～100万円が21.1%となっている。また、100万円以上との回答はない。

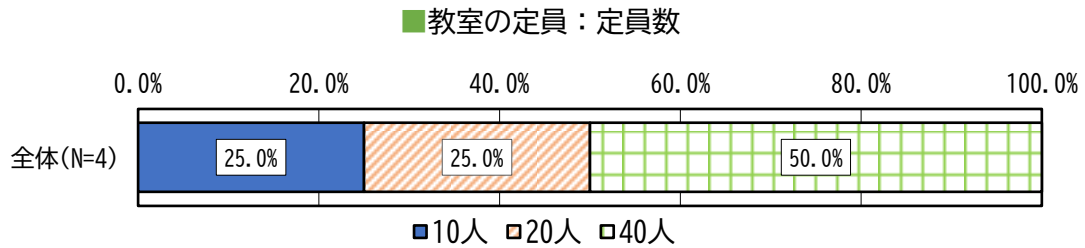
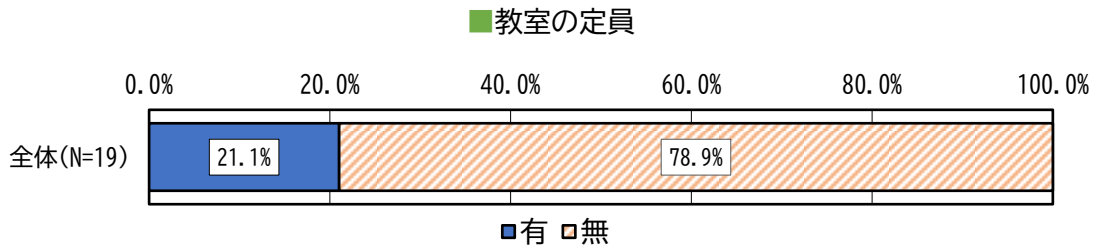


#### (5) 教室の定員

問5 教室の定員はありますか。

教室の定員は、「有」が21.1%となっている。

教室の定員数は、「40人」(50.0%)が最も多く、次いで「10人」「20人」(ともに25.0%)となっている。

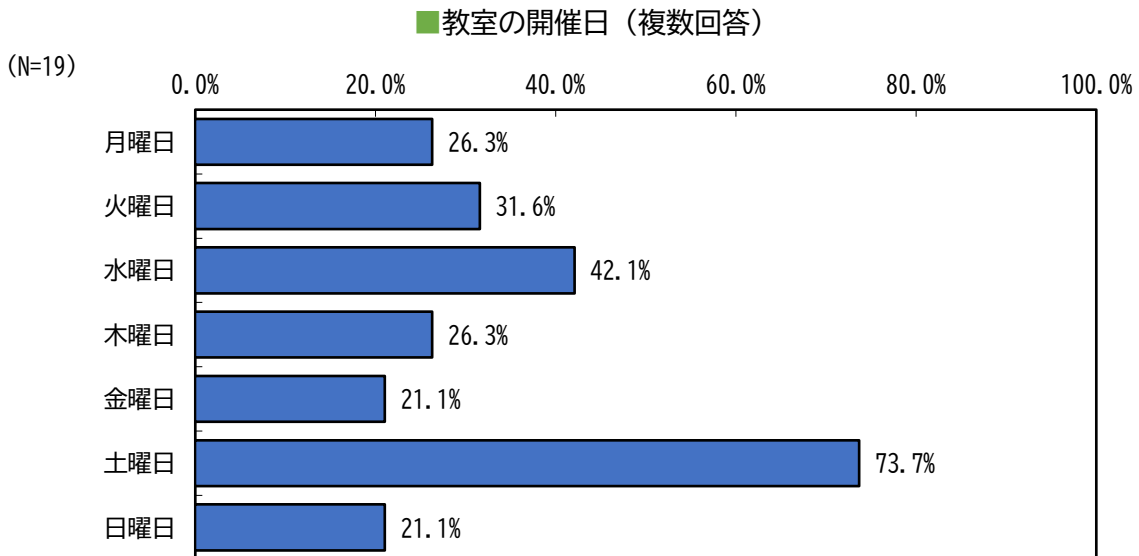


## (6) 教室の開催日

問6 教室の開催曜日・時間を教えてください。

教室の開催日は、「土曜日」(73.7%)が最も多く、次いで「水曜日」(42.1%)、「火曜日」(31.6%)となっている。

教室の開催時間は、19団体から、延べ59件の回答を得た。



## ■教室の開催日：開催時間

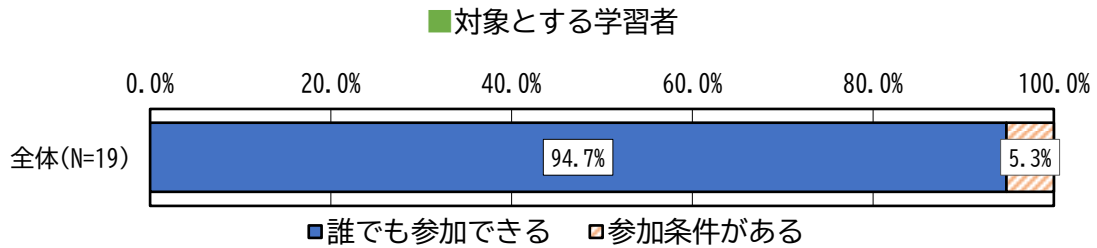
整理番号	曜日	時間帯	時間	件数
1	月曜日	9時～12時	80分～100分	2
2			—	1
3		12時～18時	120分	1
4			—	1
5		18時～24時	230分～250分	1
6			—	1
7		9時～18時	410分（4コマ）	1
8		—	80分～100分	1
9	火曜日	9時～12時	80分～100分	1
10		12時～18時	80分～100分	1
11		18時～24時	80分～100分	1
12		230分～250分	1	
13		9時～18時	410分（4コマ）	1
14		—	80分～100分	1
15	水曜日	9時～12時	80分～100分	2
16		12時～18時	80分～100分	2
17		18時～24時	60分	1
18		80分～100分	2	
19		230分～250分	1	
20		9時～18時	410分（4コマ）	1
21	—	80分～100分	2	
22	木曜日	9時～12時	120分	1
23			—	2
24		12時～18時	80分～100分	1
25		18時～24時	230分～250分	1
26		9時～18時	410分（4コマ）	1
27	金曜日	9時～12時	80分～100分	2
28		12時～18時	80分～100分	1
29		18時～24時	230分～250分	1
30		9時～18時	410分（4コマ）	1
31	土曜日	9時～12時	80分～100分	3
32		12時～18時	80分～100分	3
33		230分～250分	1	
34		18時～24時	80分～100分	2
35		120分	3	
36		9時～18時	410分（4コマ）	1
37		—	80分～100分	1
38	土曜日（隔週）	9時～12時	80分～100分	1
39	土／日曜日	9時～12時	—	1
40	日曜日	9時～12時	80分～100分	2
41		12時～18時	80分～100分	3
42		9時～18時	410分（4コマ）	1

※記述内容の一部抜粋

### (7) 対象とする学習者

問7 対象とする学習者について教えてください。

「誰でも参加できる」が94.7%、「参加条件がある」が5.3%となっている。  
 「参加条件の内容」自由記述には、1団体から、延べ1件の回答を得た。



■対象とする学習者：「参加条件の内容」自由記述

整理番号	「参加条件の内容」	件数
1	市町内在住または在勤・在学	1

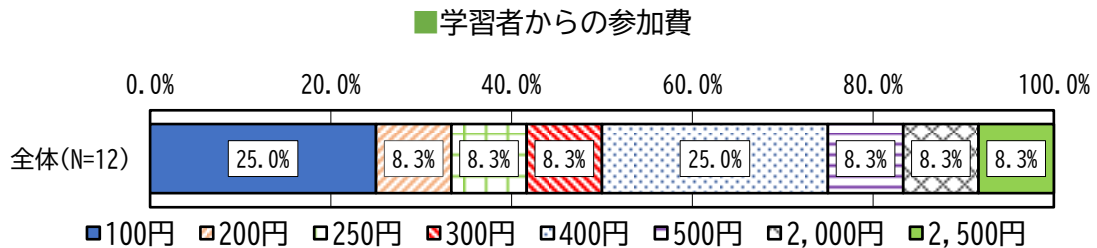
※記述内容の一部抜粋

### (8) 学習者からの参加費

問3で1（学習者からの参加費）と回答した方にお聞きします。

問8 参加費はいくらですか。（自由記述）

「100円」「400円」（ともに25.0%）が最も多くなっている。



(9) 学習者の募集方法

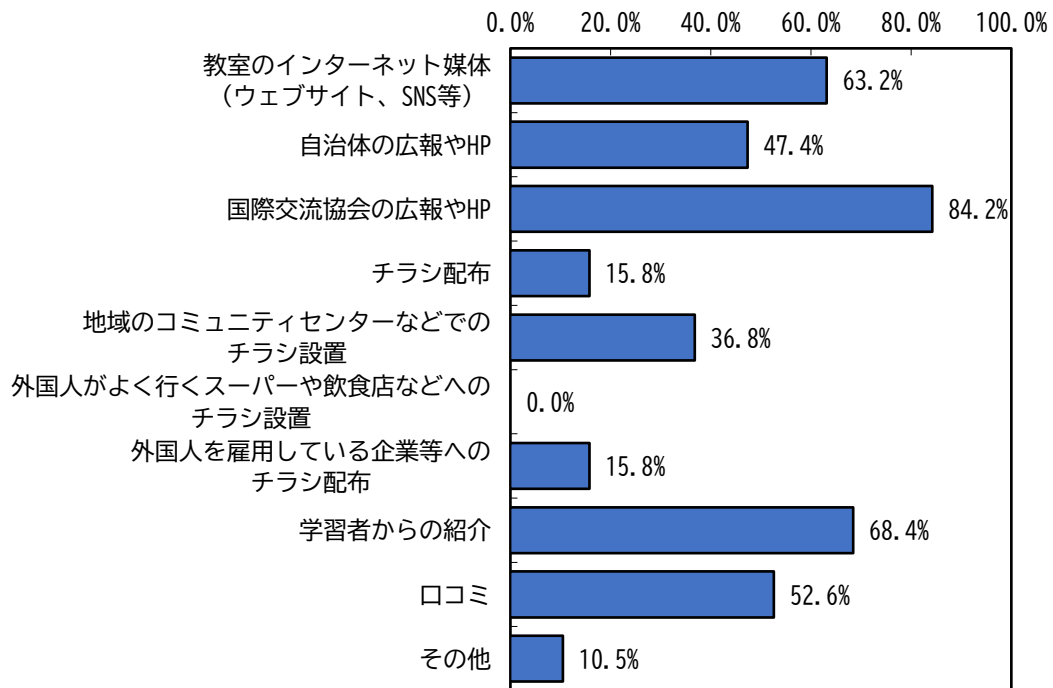
問9 学習者の募集方法を教えてください。(複数回答可)

「国際交流協会の広報やHP」(84.2%)が最も多く、次いで「学習者からの紹介」(68.4%)、「教室のインターネット媒体」(63.2%)となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。

■学習者の募集方法(複数回答)

(N=19)



■学習者の募集方法：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	大学内での、チラシの掲示	1
2	コロナ禍以前は市町内各所に配布するなどの広報を行っていたが、コロナ禍以降は前の期に学習していた人や問合せ・申込みのあった人にも案内	1

※記述内容の一部抜粋

## 2. 日本語教育コーディネーターについて

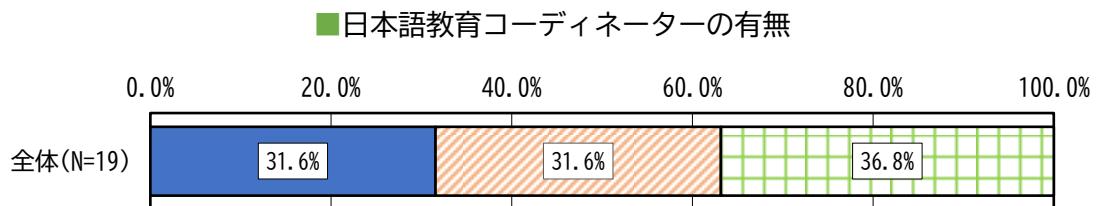
### (1) 日本語教育コーディネーターの有無

問10 貴教室には日本語教育コーディネーター、もしくはそのような業務を担当されている方はいますか。

「日本語教育コーディネーターがいる」「日本語教育コーディネーターではないが、類似業務を担当しているものがある」がともに31.6%となっている。

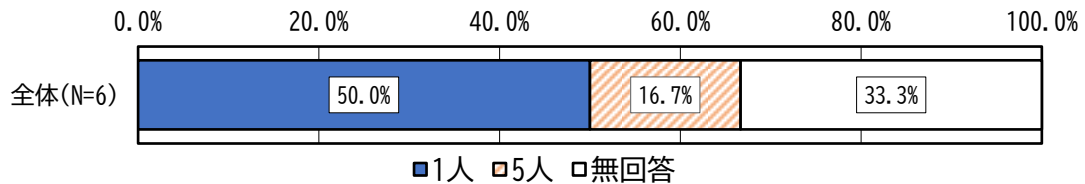
日本語教育コーディネーターは、「1人」(50.0%)が最も多く、次いで「5人」(16.7%)となっている。

類似業務担当者は、「1人」(50.0%)が最も多く、次いで「3人」(33.3%)となっている。



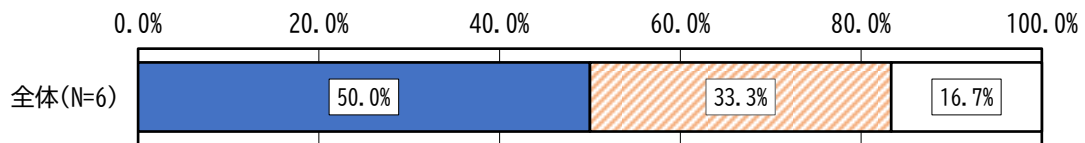
- 日本語教育コーディネーターがいる
- 日本語教育コーディネーターではないが、類似業務を担当しているものがある
- いない

■日本語教育コーディネーターの有無：日本語教育コーディネーターの人数



■1人 □5人 □無回答

■日本語教育コーディネーターの有無：類似業務担当者の人数



■1人 □3人 □無回答

## (2) 日本語教育コーディネーターを担当している人

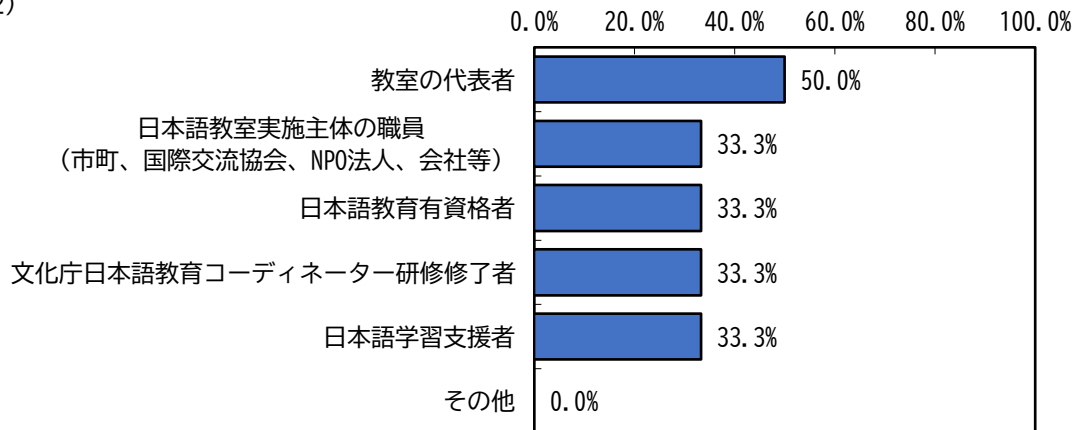
問10で1、2と回答された方にお聞きします。

問11 どのような方が担当されていますか。(複数回答可)

「教室の代表者」(50.0%)が最も多く、他の選択肢がそれぞれ33.3%となっている。

■日本語教育コーディネーターを担当している人(複数回答)

(N=12)



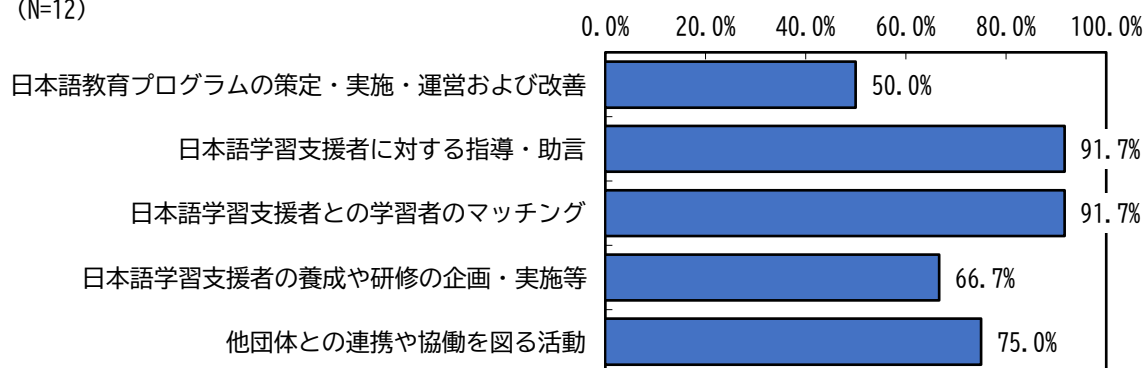
## (3) 日本語教育コーディネーターの業務内容

問12 業務の内容を教えてください(複数回答可)

「日本語学習支援者に対する指導・助言」「日本語学習支援者との学習者のマッチング」(ともに91.7%)が最も多く、次いで「他団体との連携や協働を図る活動」(75.0%)となっている。

■日本語教育コーディネーターの業務内容(複数回答)

(N=12)



### 3. 日本語教師、日本語学習支援者（ボランティア）について

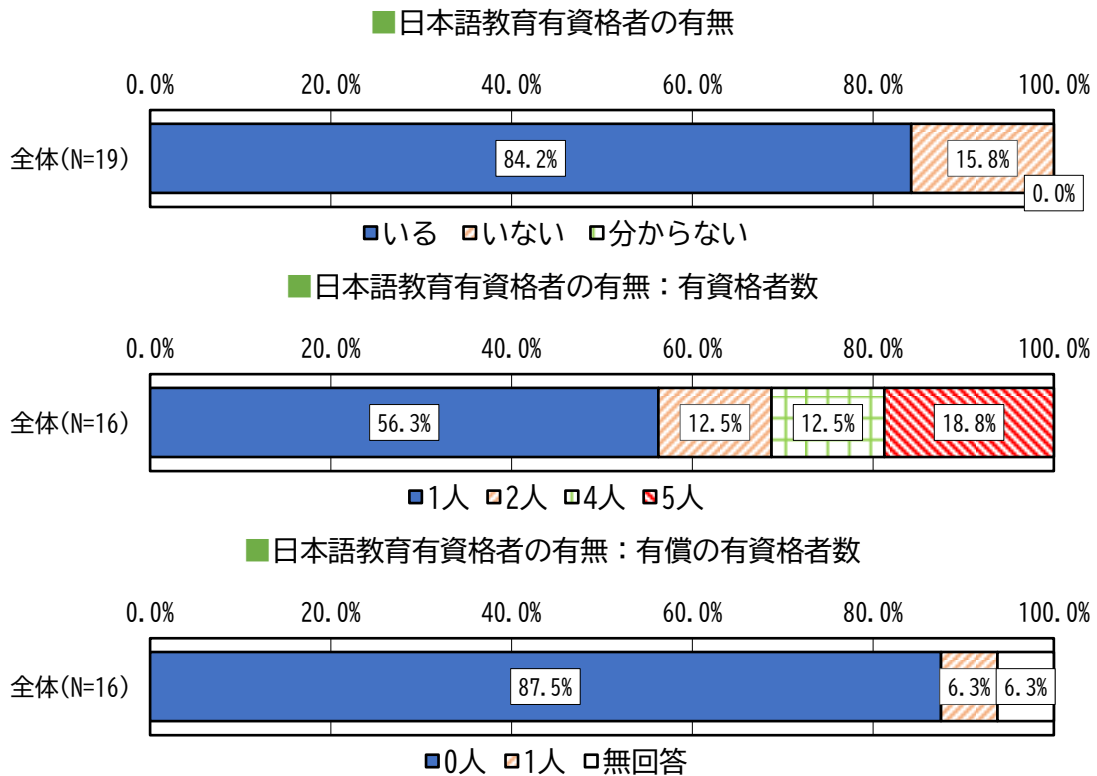
#### (1) 日本語教育有資格者の有無

問13 貴教室には、日本語教育有資格者はおられますか。(人数は分かれば御記載ください。)

日本語教育有資格者は、「いる」が84.2%となっている。

日本語教育有資格者数は、「1人」(56.3%)が最も多く、次いで「5人」(18.8%)、「2人」「4人」(ともに12.5%)となっている。

有償の日本語教育有資格者数は、「0人」(87.5%)が最も多く、次いで「1人」(6.3%)となっている。



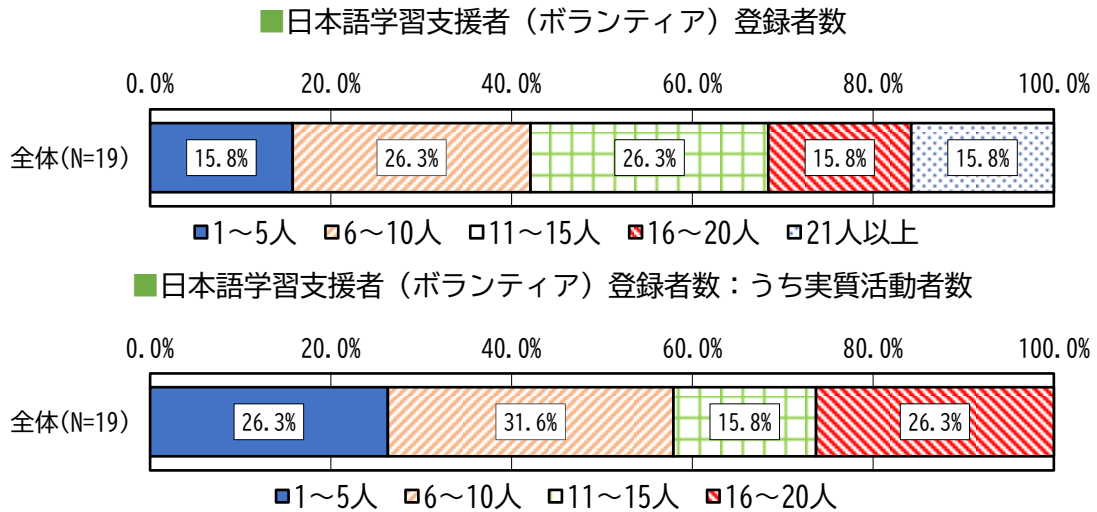


## (2) 日本語学習支援者（ボランティア）登録者数

問 14 日本語学習支援者（ボランティア）登録者数を教えてください。  
（日本語教育有資格者除く）

日本語学習支援者登録者数は、10人以下・11～20人がともに42.1%となっている。また、21人以上は15.8%となっている。

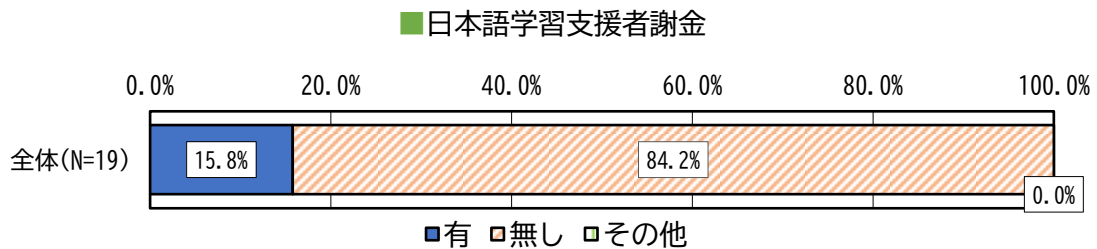
日本語学習支援者登録者のうち実質活動者数は、10人以下が57.9%、11～20人が42.1%となっている。また、21人以上との回答はない。



## (3) 日本語学習支援者謝金

問 15 日本語学習支援者謝金を教えてください。

「有」が15.8%、「無し」が84.2%となっている。

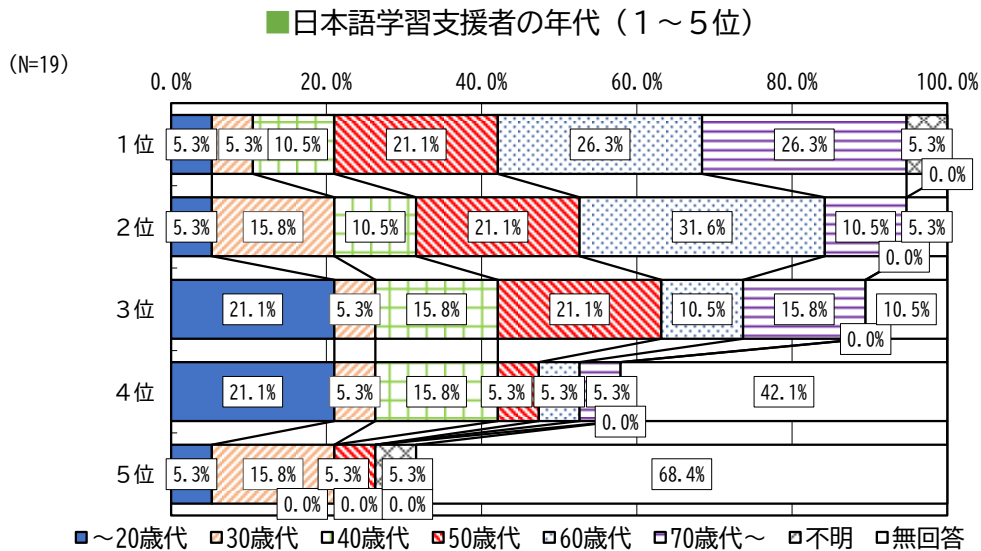


#### (4) 日本語学習支援者の年代

問 16 日本語学習支援者の年代として、多いと思う年代を上位5つまで多いと思う順に回答してください。

1位では「60歳代」「70歳代」（ともに26.3%）が最も多く、2位では「60歳代」（31.6%）、3位では「～20歳代」「50歳代」（ともに21.1%）、4位では「～20歳代」、5位では「30歳代」（15.0%）がそれぞれ最も多い。

日本語学習支援者の主な年代は50歳代以上で、多様な年代のいる団体には40歳代以下も登録している、という傾向がうかがえる。

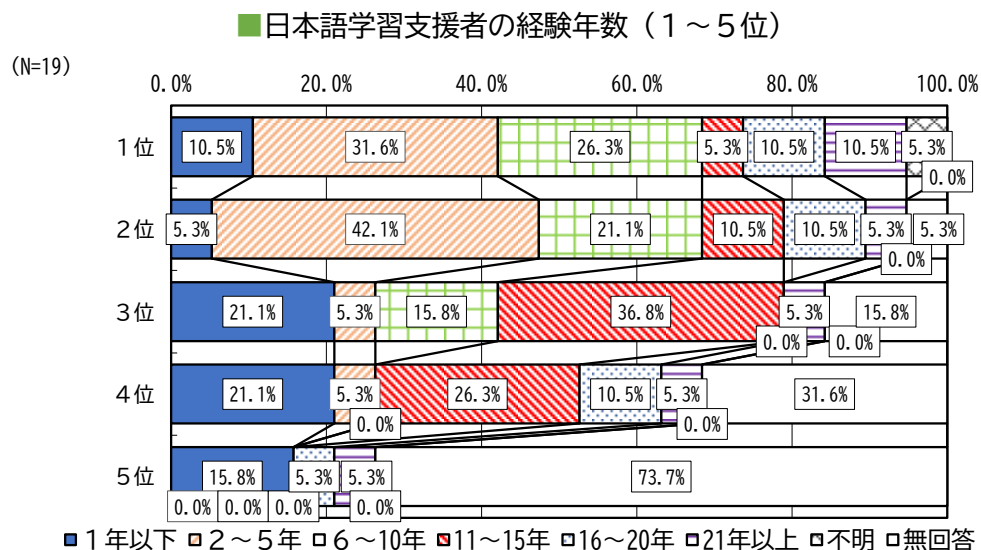


#### (5) 日本語学習支援者の経験年数

問 17 日本語学習支援者の経験年数として、多いと思う経験年数を上位5つまで多いと思う順に回答してください。

1位・2位では「2～5年」（それぞれ31.6%・42.1%）が最も多く、3位・4位では「11～15年」（それぞれ36.8%・26.3%）、5位では「1年以下」（15.8%）がそれぞれ最も多い。

日本語学習支援者の主な経験年数は2～10年で、多様な経験者のいる団体には11年以上の熟練者や1年以下の初心者も登録している、という傾向がうかがえる。



(6) 日本語学習支援者の人材育成のために行っていること

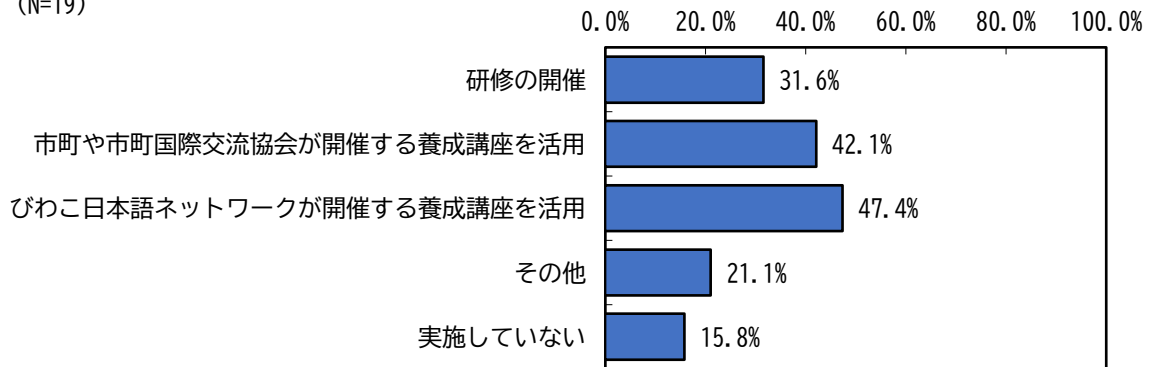
問 18 日本語学習支援者の人材育成のために教室として行っていることがあれば教えてください。(複数回答可)

「びわこ日本語ネットワークが開催する養成講座を活用」(47.4%)が最も多く、次いで「市町や市町国際交流協会が開催する養成講座を活用」(42.1%)、「研修の開催」(31.6%)となっている。また、「実施していない」は15.8%となっている。

「その他」自由記述には、4団体から、延べ4件の回答を得た。

■日本語学習支援者の人材育成のために行っていること(複数回答)

(N=19)



■日本語学習支援者の人材育成のために行っていること：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	ボランティアによる自主的な勉強会の開催	2
2	実際に生徒に指導する前に何度か教室を見学してもらって指導方法を確認	1
3	一般団体の研修があれば活用。	1

※記述内容の一部抜粋

(7) 日本語学習支援者のスキルアップのためにあると望ましいもの

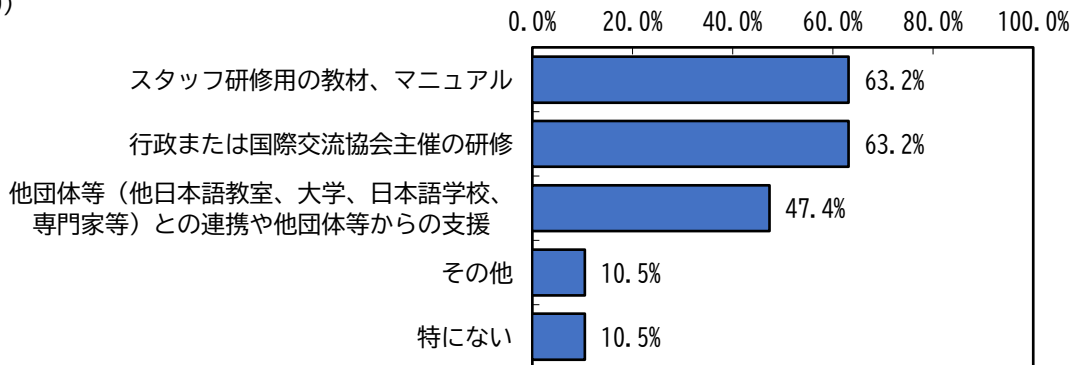
問 19 日本語学習支援者のスキルアップのためにあると望ましいと思うものはありますか。  
(複数回答可)

「スタッフ研修用の教材、マニュアル」「行政または国際交流協会主催の研修」（ともに63.2%）が最も多く、次いで「他団体等との連携や他団体等からの支援」（47.4%）となっている。また、「特にない」は10.5%となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。

■日本語学習支援者のスキルアップのためにあると望ましいもの（複数回答）

(N=19)



■日本語学習支援者のスキルアップのためにあると望ましいもの：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	ボランティアによる自主的な勉強会が最も各々のスキルアップにつながる	2

※記述内容の一部抜粋

**(8) 日本語学習支援者に求める能力や姿勢**

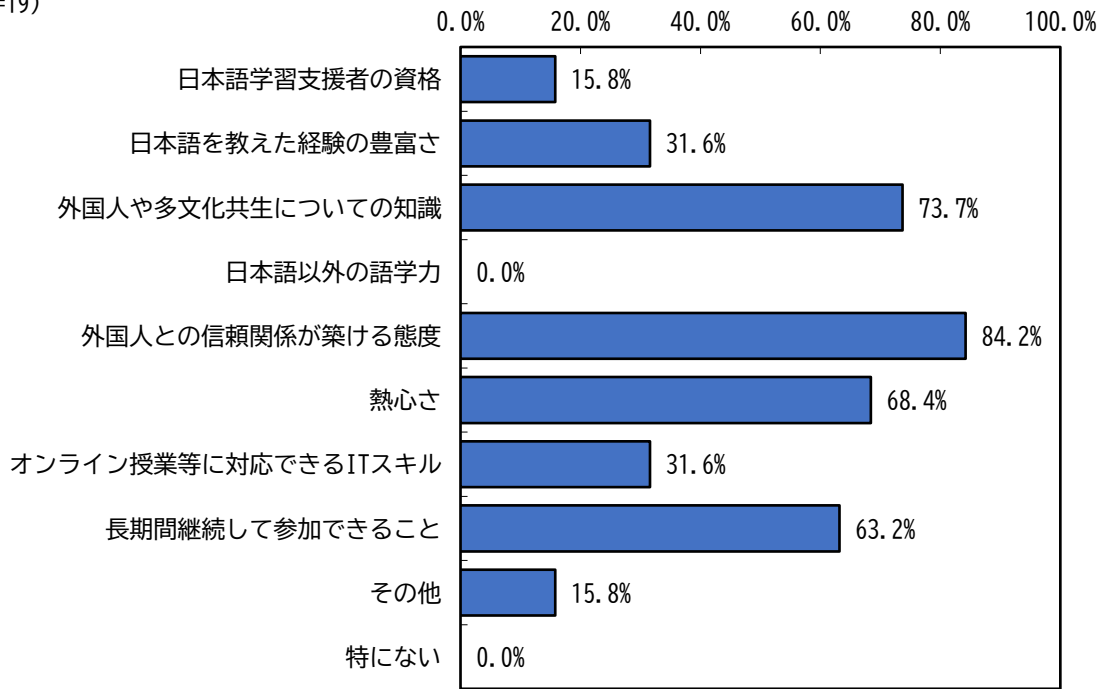
問 20 日本語学習支援者に求める能力や姿勢などについて教えてください。(複数回答可)

「外国人との信頼関係が築ける態度」(84.2%)が最も多く、次いで「外国人や多文化共生についての知識」(73.7%)、「熱心さ」(68.4%)となっている。

「その他」自由記述には、4団体から、延べ4件の回答を得た。

■日本語学習支援者に求める能力や姿勢(複数回答)

(N=19)



■日本語学習支援者に求める能力や姿勢：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	責任感	1
2	自主的に日本語の指導方法を学ぼうとする姿勢	1
3	自分の指導力向上のためにすすんで努力する姿勢	1
4	文法をやさしくわかりやすく一言で説明できるスキル	1

※記述内容の一部抜粋

## (9) 日本語指導で困っていること

問 21 日本語指導で困っていることはありますか。  
 (例) 学習者の日本語レベルに格差があり、どのように指導してよいか分からない。  
 ゼロ初級レベルの学習者への指導が難しい。など (自由記述)

13 団体から、延べ 15 件の回答を得た。

## ■日本語指導で困っていること (自由記述)

整理番号	日本語指導で困っていること	件数
1	受講が断絶しがちで対応が難しい。	5
	レベル別グループ指導の場合、仕事で休みがちな学習者は後れを取り差が出てきて指導者の悩みとなる。	
	継続して受講する学習者が少ない。コロナ禍で中止もあり、学習者が以前ほど集まらない。	
	毎週出席できる学習者はいないため、授業内容を予め準備しにくく、急な対応に終始してしまう。	
	日本語を学んだことがない「ゼロ初級者」に向けて一定の成果を上げてきたが、コロナ禍でスタッフ・学習者ともに来なくなったので、次の人に継承できておらず、振出しに戻っている。	
	仕事や学業、家庭の都合で学習が途切れてしまう人がいるのに伴い、ボランティアの調整に苦慮することがある。	
2	学習者の需要とのマッチングが難しい。	4
	個別レッスンを行っているが、生徒に合う先生がいない場合があるためマッチングが難しい。	
	学習者の増加に伴う学習需要の多様化と、指導者の対応能力向上がシンクロしない。	
	教室の目的(地域社会で生活するための日本語学習)と学習者の目的(JLPT 日本語能力試験資格取得)とが合わない場合の受け入れが難しい。 限られたメンバーで限られた時間に対応しているため、学習要望者が諦めることが多い。	
3	ボランティアの知識・能力に格差がある。	2
	ボランティア支援者に専門的な知識を求めるのが難しく、研修する時間もない。	
	完全無償の日本語指導ボランティアなので、一人ひとりの指導能力に個人差がある。	
4	自分の興味を優先する人。	1
5	急に来て日本語を教えてほしい、という学習者がよく見られる。	1
6	ボランティア不足。	1
7	教室の案内が行き届いていない。	1

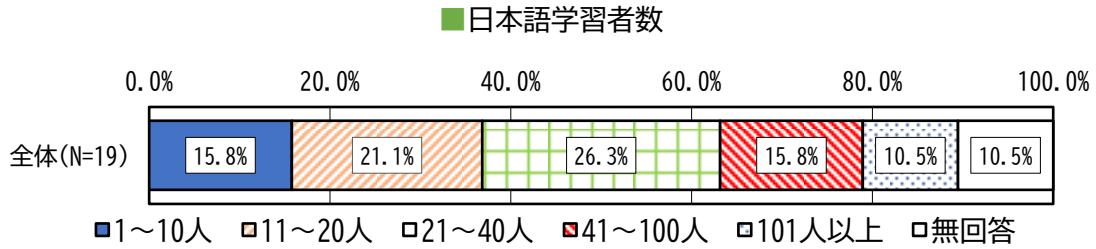
※記述内容の一部抜粋

## 4. 日本語学習者について

### (1) 日本語学習者数

問22 日本語学習者数を教えてください。

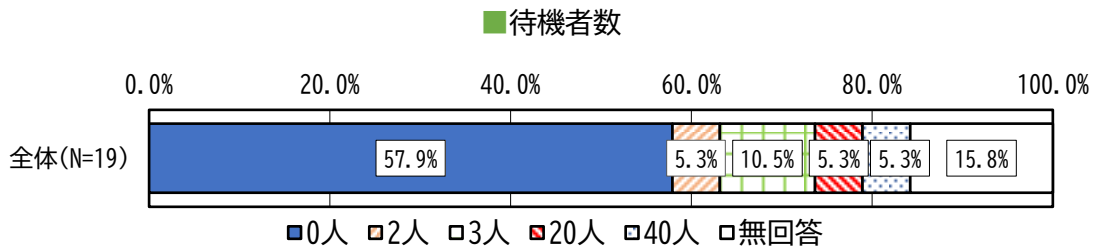
日本語学習者数は、40人以下が63.2%、41~100人が15.8%となっている。また、101人以上が10.5%となっている。



### (2) 待機者数

問23 待機者数を教えてください。

待機者数は、「0人」(57.9%)が最も多く、次いで「3人」(10.5%)、「2人」「20人」「40人」(それぞれ5.3%)となっている。

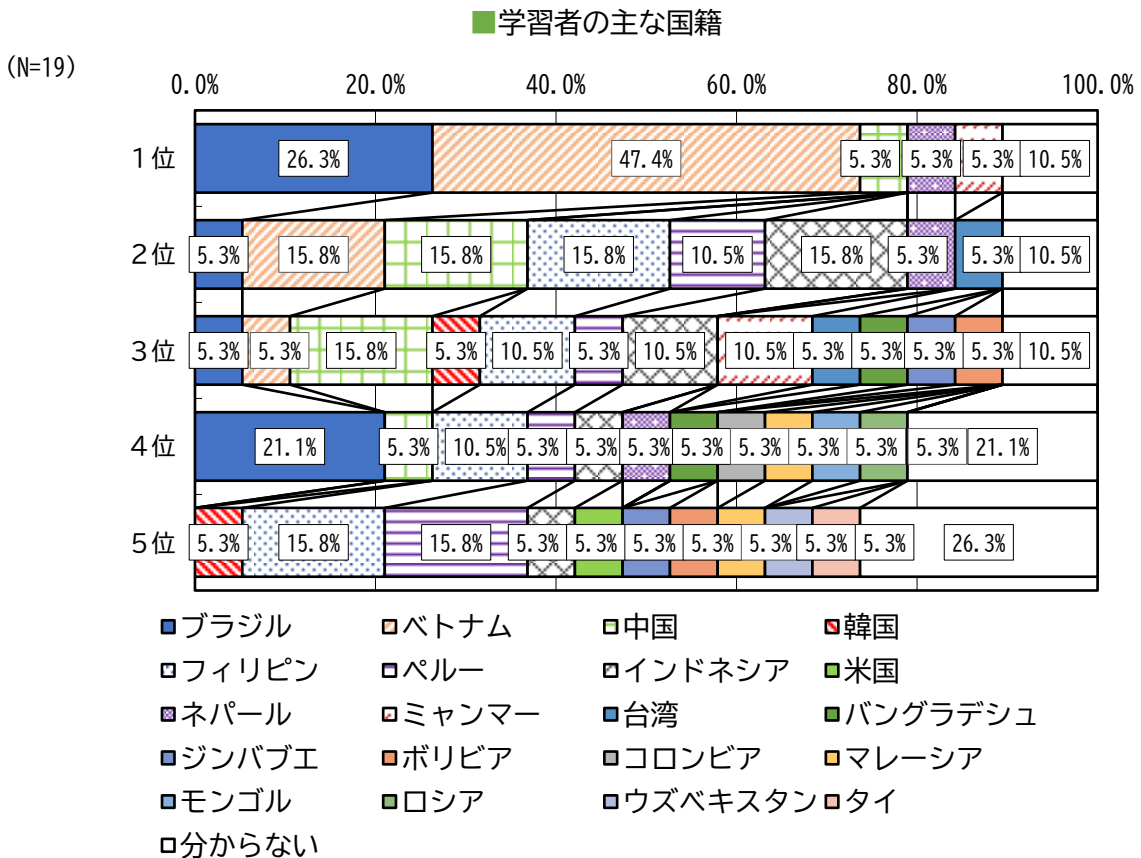


### (3) 学習者の主な国籍

問24 学習者の主な国籍を教えてください。(多いと思われるもの上位5つまで、多い順に) 分からない場合には、回答欄「分からない」に数字の0(ゼロ)を入力してください。

1位では「ベトナム」(47.4%)が最も多く、2位では「ベトナム」「中国」「フィリピン」「インドネシア」(それぞれ15.8%)、3位では「中国」(15.8%)、4位では「ブラジル」(21.1%)、5位では「フィリピン」「ペルー」(ともに15.8%)がそれぞれ最も多い。

学習者の主な国籍はベトナムやブラジルで、次いで中国やインドネシアが多く、多様な国籍のいる団体ではフィリピンやペルー出身者も学んでいる、という傾向がうかがえる。



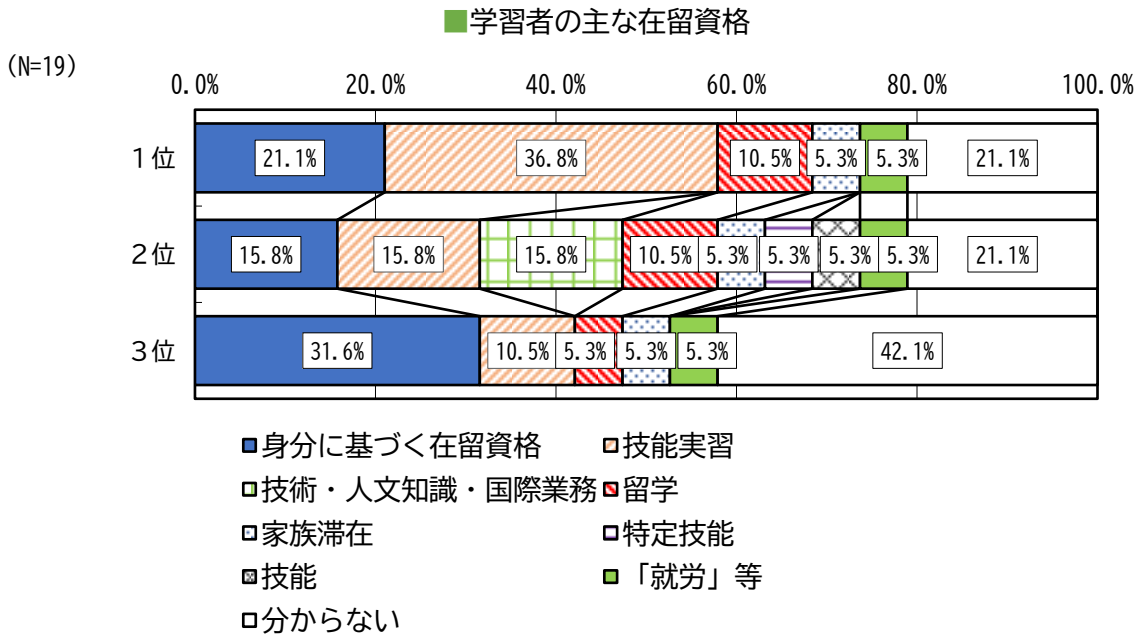


(4) 学習者の主な在留資格

問 25 学習者の主な在留資格を教えてください。(多いと思われるもの上位3つまで)  
 分からない場合には、回答欄「分からない」に数字の0(ゼロ)を入力してください。

1位では「技能実習」(36.8%)が最も多く、2位では「身分に基づく在留資格」「技能実習」「技術・人文知識・国際業務」(それぞれ15.8%)、3位では「身分に基づく在留資格」(31.6%)がそれぞれ最も多い。

学習者の主な在留資格は技能実習で、次いで身分に基づく在留資格が多く、多様な在留資格のいる団体では留学や技術・人文知識・国際業務の外国人も学んでいる、という傾向がうかがえる。



## (5) 学習者の国籍や年代、職業、人数の増減の傾向

問 26 学習者の国籍や年代、職業、人数の増減の傾向について特徴があれば教えてください。その理由として考えておられることがあればお聞かせください。(自由記述)

13 団体から、延べ 14 件の回答を得た。

■学習者の国籍や年代、職業、人数の増減の傾向 (自由記述)

整理番号	学習者の国籍や年代、職業、人数の増減の傾向	件数
1	ベトナム国籍の学習者の増加傾向。	7
	国籍は、市町の在留外国人数に比例した国籍構成。ベトナム人は勤勉な傾向があり、学習意欲が継続する。	
	最近、ベトナム人学習者が増えてきた。	
	近年、ベトナム国籍の若い技能実習生が多く、市町外からも学びに来ている。	
	従来技能実習生の参加が多数だったが昨年度よりベトナム人「技術」在留資格が急増。仕事内容は実習生とほぼ同じ方が多い印象。「技術・人文知識・国際業務」なら家族を呼び寄せることができ、長期間日本に滞在したいと考えておられる。コロナ禍でも配偶者の呼び寄せと乳幼児が増加し、保育園入園ニーズがある。今後は配偶者の日本語支援、子どもの学校での学習支援準備が必要と考える。	
	家族滞在で来日しているベトナム人女性が増えてきている。	
	国籍は、市町内に工場や介護施設があるため、南米日系人やベトナム、インドネシアの国籍が多い。年代は、20代が大半。職業は、工場勤務。人数の増減については、コロナ禍で施設の利用者数が定員の半分になっていることから、学習者については積極的な募集活動をしていない。	
近年、ベトナム国籍の20代が多い。		
2	大学生の特徴。	3
	コロナ禍により入国者は減少の一途。その中、医大は少し動きがある。学習者が少ない間に指導者・学習者ともにしっかり勉強するのが現在のモットー。この2年近くはコロナ関係以外の理由はよくわからない。	
	地域に大学があることで、近辺に居住する留学生が多い	
	年代や職業は、20～30代の大学院生、20～30代の技能実習生、日本人配偶者が多い。国籍は、ベトナム、インドネシア、フィリピンが多く、入国時レベルは JLPT (日本語能力試験) N～N4 が多い。大学院の授業はすべて英語なので、ゼロレベルで入国している場合が多い。	
3	コロナ禍での学習者の変化。	2
	以前は技能実習生が多かったが、コロナ禍においては、地域に長く住んでいる永住者・定住者の参加が増えてきている。	
	技能、技能実習等で来日している人が就業時間内に日本語教室に来るケースもあるが、コロナ禍で傾向がよくみえない。	
4	日本語が十分できなくてもできる仕事があれば、就労して教室に来なくなるケースが多い。	1
5	海外からの学習者が8割、国内は2割、うち半数が滋賀県。国外者の母数が増える予定。	1

※記述内容の一部抜粋

(6) 学習者の日本語レベル

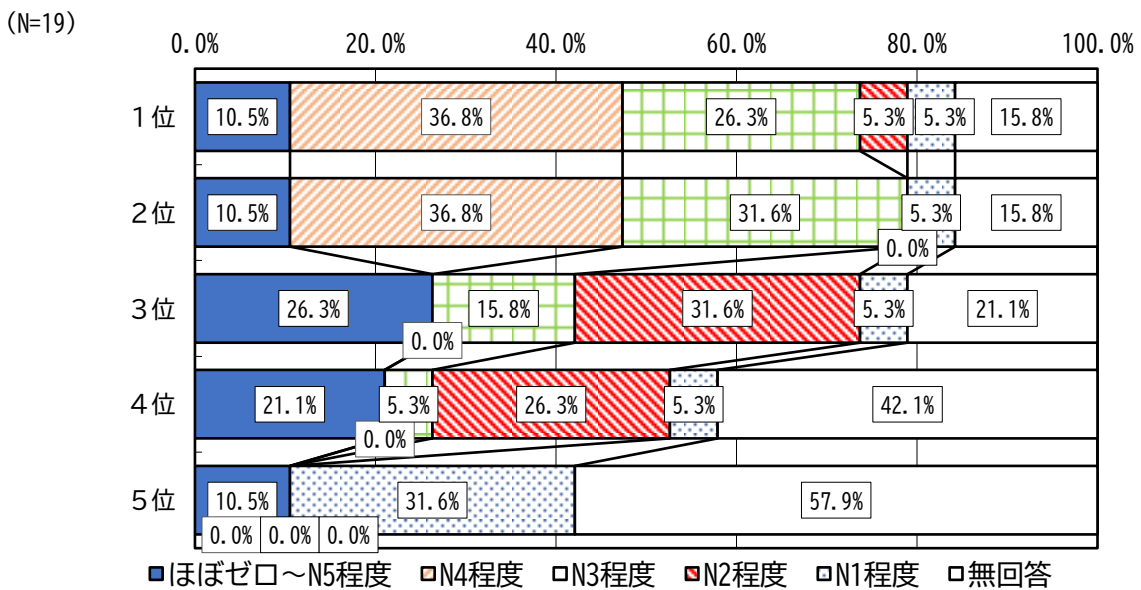
問 27 貴教室の学習者の日本語レベルは日本語能力試験でいうと、どの程度ですか。  
 (多いと思われるもの上位5つまで、多い順に)  
 各レベルの人数のおおよその割合を教えてください。(自由記述)

1位・2位では「N4程度」(それぞれ36.8%)が最も多く、3位・4位では「N2程度」(それぞれ31.6%・26.3%)、5位では「N1程度」(31.6%)がそれぞれ最も多い。

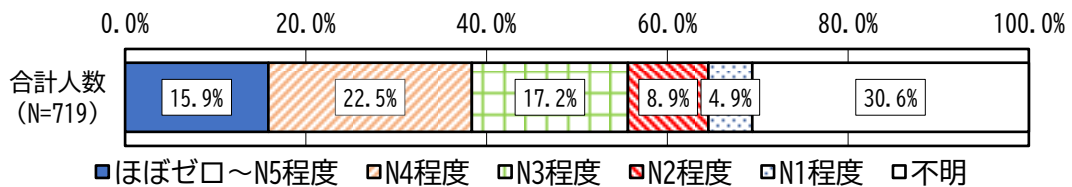
各レベルの人数の割合は、「N4程度」(22.5%)が最も多く、次いで「N3程度」(17.2%)、「ほぼゼロ～N5程度」(15.9%)となっている。

学習者の主な日本語レベルはN4～N3程度で、多様なレベルの学習者のいる団体ではほぼゼロ～N5レベルの初級者やN2レベル以上の上級者も学んでいる、という傾向がうかがえる。

■ 学習者の日本語レベル (1～5位)



■ 学習者の日本語レベル：各レベルの人数の割合



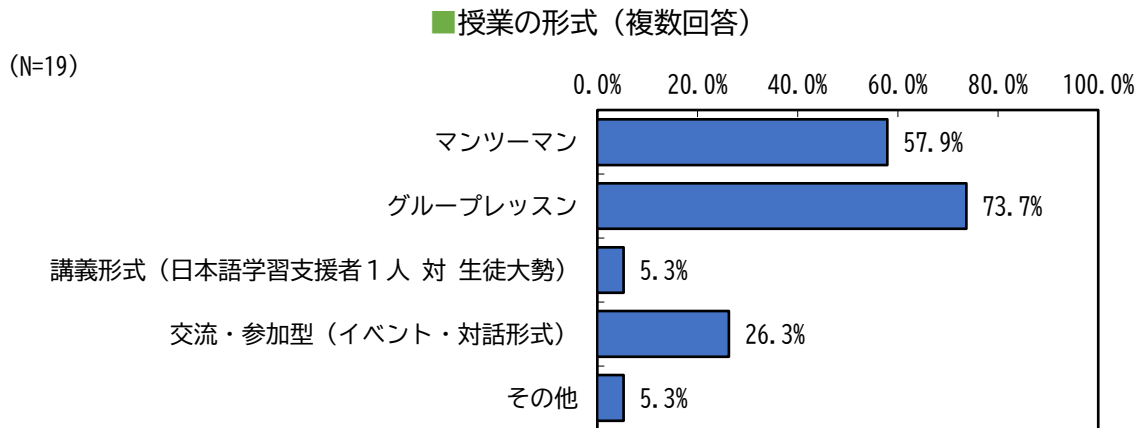
## 5. 学習方法や内容について

### (1) 授業の形式

問 28 授業の形式を教えてください。(複数回答可)

「グループレッスン」(73.7%)が最も多く、次いで「マンツーマン」(57.9%)、「交流・参加型」(26.3%)となっている。

「その他」自由記述には、1団体から、延べ1件の回答を得た。



#### ■授業の形式:「その他」自由記述

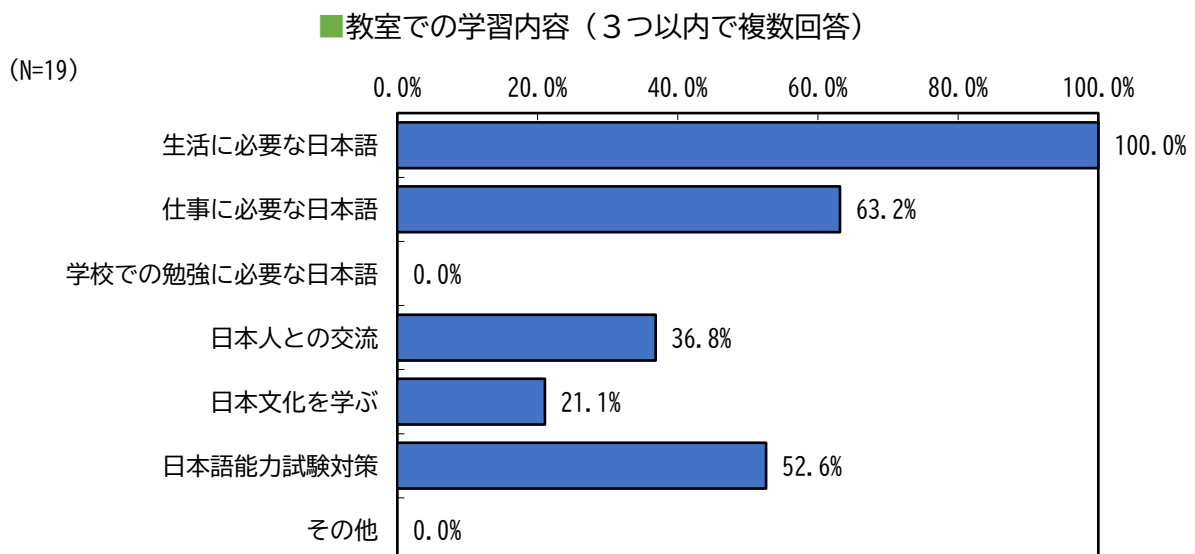
整理番号	「その他」	件数
1	マンツーマンではないが、同じレベルの学習者がいなければマンツーマンになることが多い	1

※記述内容の一部抜粋

### (2) 教室での学習内容

問 29 貴教室での学習内容として、多いものを3つまで選んでください。

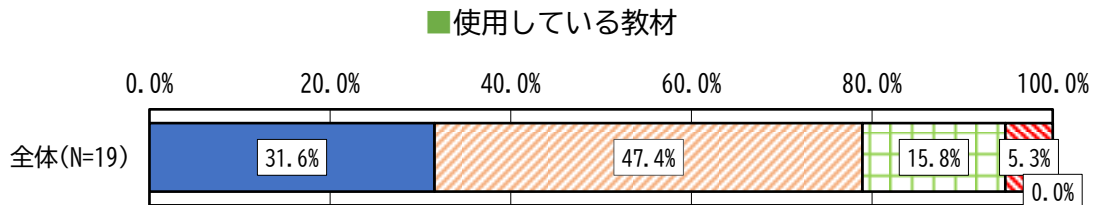
「生活に必要な日本語」(100.0%)が最も多く、次いで「仕事に必要な日本語」(63.2%)、「日本語能力試験対策」(52.6%)となっている。



### (3) 使用している教材

問 30 貴教室ではどのような教材を使用していますか。

「教室として統一したテキストや教材はないが、主に使っている教材はある」(47.4%)が最も多く、次いで「教室として統一した使用テキストや教材がある」(31.6%)、「主に担当する指導者が自分で選んで用意している」(15.8%)となっている。



- 教室として統一した使用テキストや教材がある
- 教室として統一したテキストや教材はないが、主に使っている教材はある。
- 主に担当する指導者（ボランティア）が自分で選んで用意している
- 主に学習者が持ってきたものを使っている
- その他

## 6. 地域の日本語教室の役割についての考え

### (1) 地域の日本語教室の役割

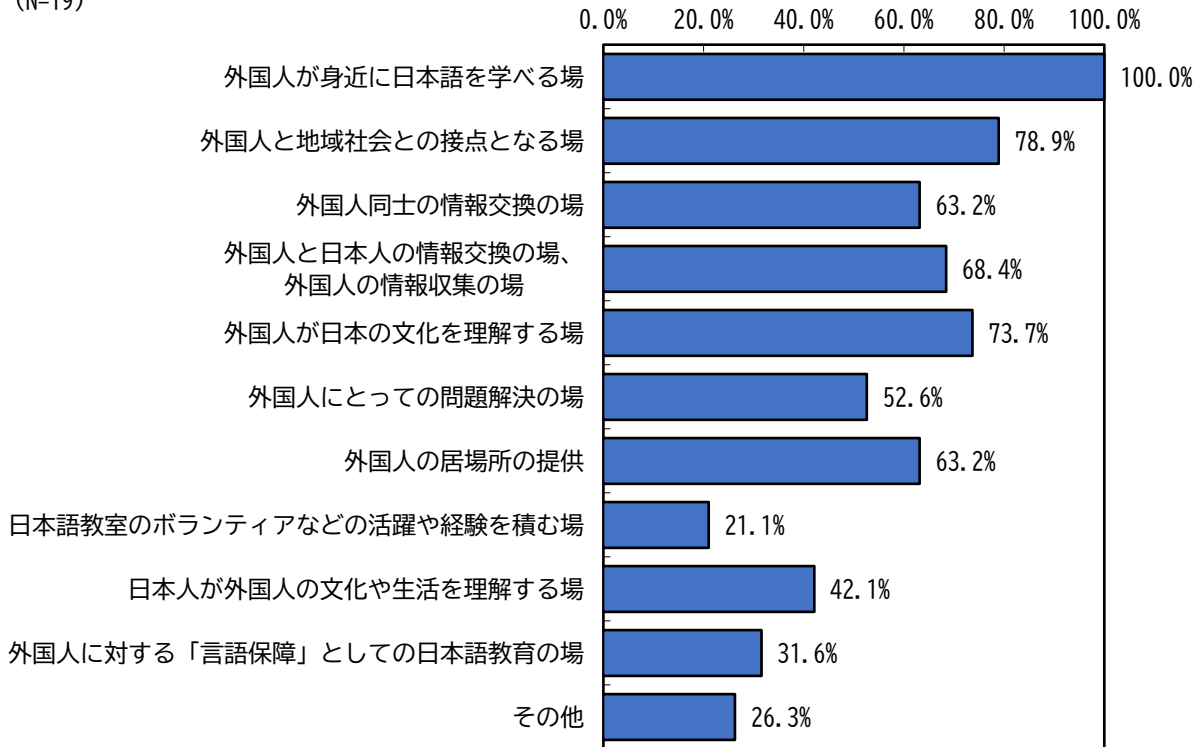
問31 地域の日本語教室の役割とはどのようなものだと思いますか。(複数回答可)

「外国人が身近に日本語を学べる場」(100.0%)が最も多く、次いで「外国人と地域社会との接点となる場」(78.9%)、「外国人が日本の文化を理解する場」(73.7%)となっている。

「その他」自由記述には、5団体から、延べ5件の回答を得た。

■地域の日本語教室の役割(複数回答)

(N=19)



■地域の日本語教室の役割：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	災害時対応と避難所生活の指導	1
2	居場所づくりが目的ではないが、日本語の学習を通じて、教室が相談できる場や交流できる場となり、それぞれが地域と関わる一歩になる	1
3	外国人のためのサードプレイスとして地域へつなぐパイプであり、必要に応じて行政、福祉との連携が必要	1
4	外国人が地域で住民とトラブルを起こさないように、カルチャーギャップを解消するための情報を与える場	1
5	日本語教室の有資格者の実践の場、プロ能力養成・スキルアップ	1

※記述内容の一部抜粋

## (2) 日本語教室の運営で困っていること

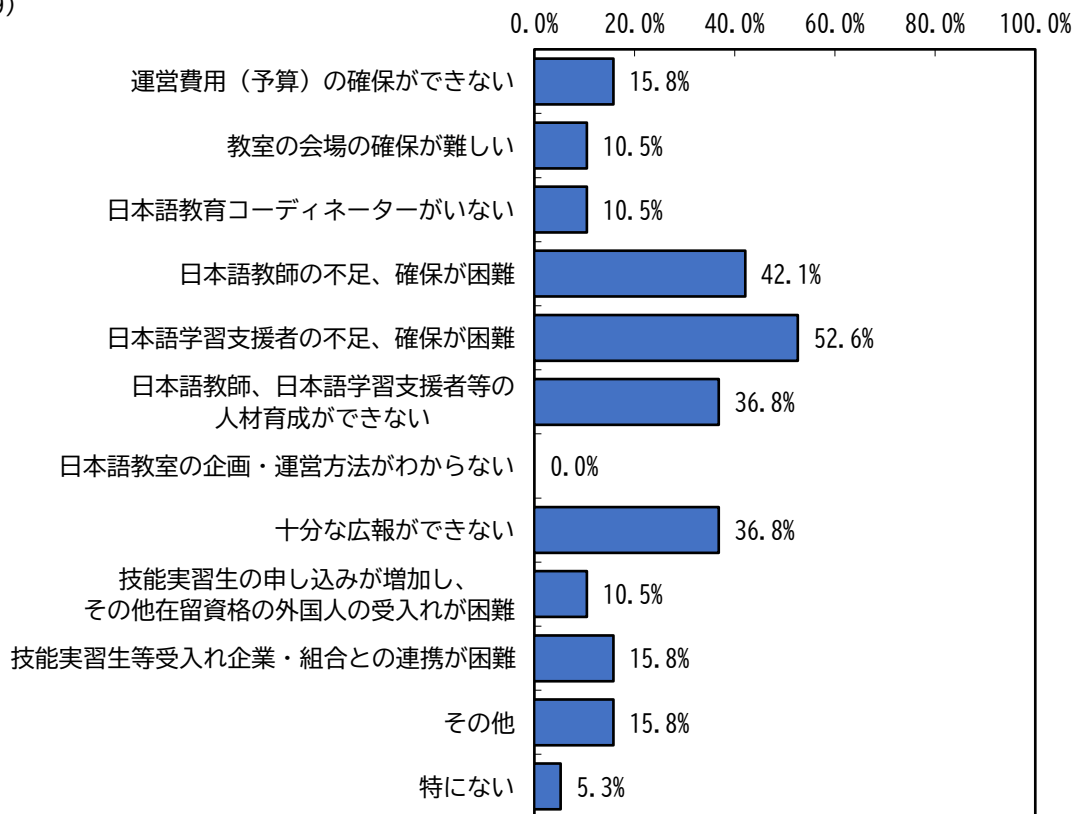
問 32 日本語教室の運営で困っていることは何ですか。(複数回答可)

「日本語学習支援者の不足、確保が困難」(52.6%)が最も多く、次いで「日本語教師の不足、確保が困難」(42.1%)、「日本語教師、日本語学習支援者等の人材育成ができない」「十分な広報ができない」(ともに36.8%)となっている。また、「特にない」は5.3%となっている。

「その他」自由記述には、3団体から、延べ3件の回答を得た。

### ■日本語教室の運営で困っていること(複数回答)

(N=19)



### ■日本語教室の運営で困っていること：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	学習者の日本語到達レベルについて、受入れ企業の関心が薄く、すべて日本語教室任せという主体性の欠如	1
2	コロナ禍で、教室の予定が計画しにくい	1
3	日本語を勉強したい、または必要な外国人の把握が困難で、教室の開設曜日や時間などをニーズに合わせられない	1

※記述内容の一部抜粋

### (3) 今後教室をどのようにしていきたいか

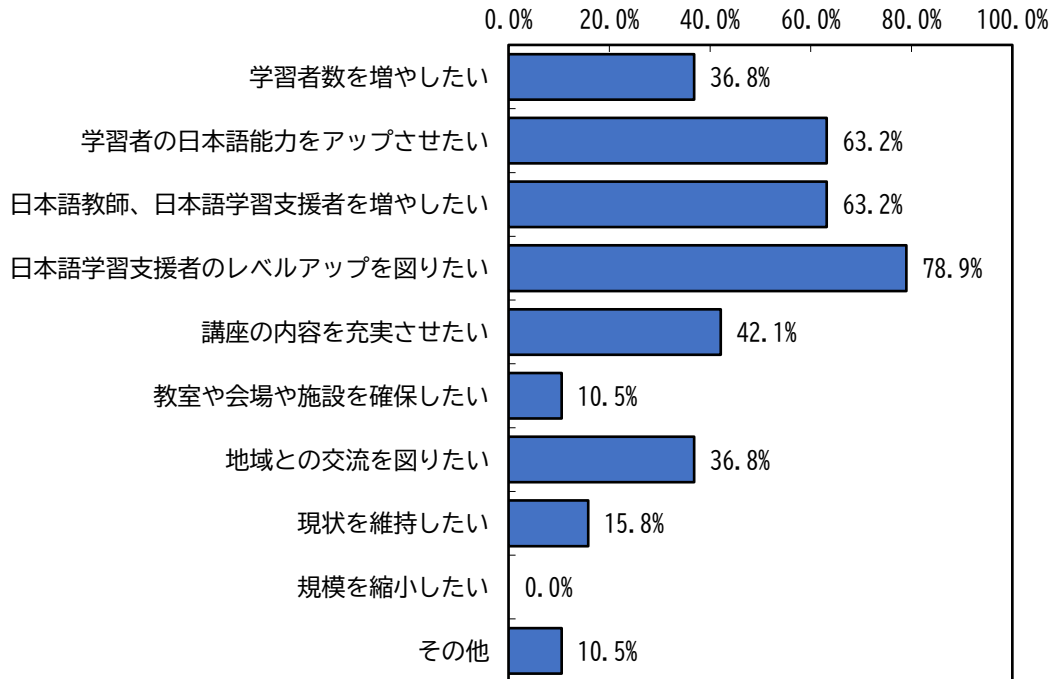
問 33 今後教室をどのようにしていきたいですか。(複数回答可)

「日本語学習支援者のレベルアップを図りたい」(78.9%)が最も多く、次いで「学習者の日本語能力をアップさせたい」「日本語教師、日本語学習支援者を増やしたい」(ともに63.2%)となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。

■ 今後教室をどのようにしていきたいか (複数回答)

(N=19)



■ 今後教室をどのようにしていきたいか：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	既存の教材や日本語能力試験(N1)を取得しても、小学生以上の日本語を話せるようにならない。OPI(口頭運用能力テスト)などの教育技法により、対話力が向上する教室運営をしたい	1
2	教室の運営方法等の見直しが必要	1

※記述内容の一部抜粋



(4) 滋賀県が実施すべき施策

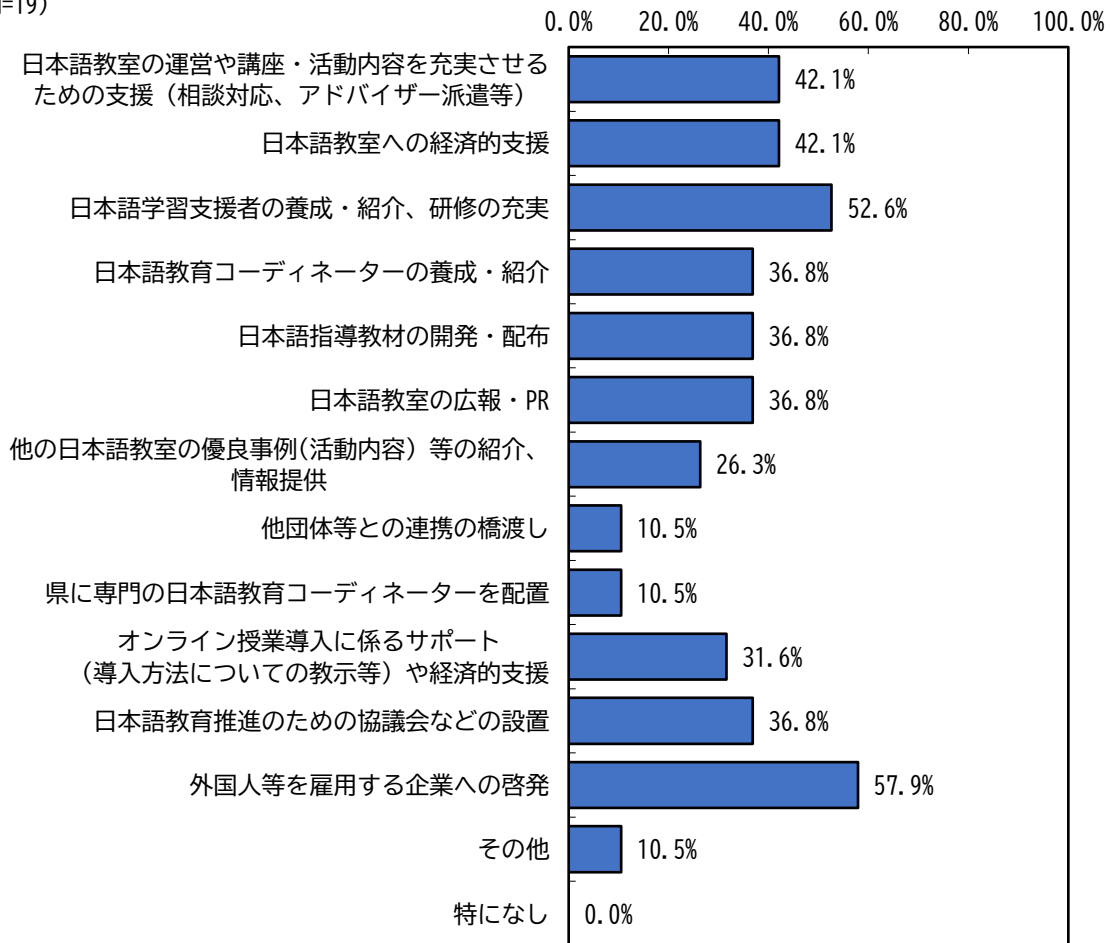
問 34 今後、県は地域の日本語教育にかかるどのような施策を実施すべきだと思いますか。  
(複数回答可)

「外国人等を雇用する企業への啓発」(57.9%)が最も多く、次いで「日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実」(52.6%)、「日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援」「日本語教室への経済的支援」(ともに42.1%)となっている。

「その他」自由記述には、1団体から、延べ1件の回答を得た。

■ 滋賀県が実施すべき施策 (複数回答)

(N=19)



■ 滋賀県が実施すべき施策：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	滋賀県で働く外国人、外国人を就労させる企業には、一定の日本語教育を実施するなど、地域での暮らしが円滑かつ豊かになるようなプログラム	1

※記述内容の一部抜粋

(5) 可能な行政との連携

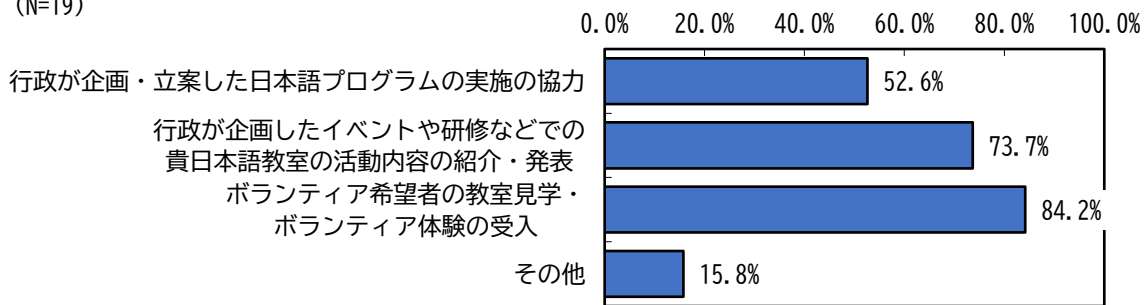
問 35 行政（県や市）との連携について、どのような協力ができますか。（複数回答可）

「ボランティア希望者の教室見学・ボランティア体験の受入」（84.2%）が最も多く、次いで「行政が企画したイベントや研修などでの貴日本語教室の活動内容の紹介・発表」（73.7%）、「行政が企画・立案した日本語プログラムの実施の協力」（52.6%）となっている。

「その他」自由記述には、2団体から、延べ2件の回答を得た。

■可能な行政との連携（複数回答）

(N=19)



■可能な行政との連携：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	自主的に開催する勉強会への参加希望者受入	1
2	行政と外国人雇用企業と日本語教室の3者間情報共有と経済的支援が必要	1

※記述内容の一部抜粋

## (6) 日本語教育事業に関する自由意見

問 36 その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。(自由記述)

7団体から、延べ9件の回答を得た。

## ■日本語教育事業に関する自由意見（自由記述）

整理番号	自由意見	件数
1	イベント・講演会型でなく、日本語教育研究会の作業結果に基づく研修カリキュラムを各教室に普及していくような地道な活動を支援してほしい。	1
2	滋賀県に新しく転入し、在住する外国人に対しての初級教室の開催をするなど、滋賀県で暮らすための日本語教育のシステムを確立し、実施してほしい。	1
3	外国人県民のためにボランティアで活動している日本語学習支援者の自己負担とならないような方法で指導者養成研修を実施してほしい。	1
4	生活者としての外国人県民の背景は多様で、ニーズにあった日本語教室も多様にならざるを得ない。しかし、就労者として必要な日本語教育を地域ボランティア教室が担うには無理があると思うので、企業が責任をもって担ってほしい。県も責任をもって企業への働きかけをしてほしい。	1
5	地域の生活者として、地域日本語教室で日本語を学び、教室での交流を通して日本語や日本文化、日本社会について学べるのが望ましい。県には滋賀県の歴史や文化、各市町観光名所、名産、そして社会の仕組みなどが学べる教材の作成をお願いする。日本語支援者とともに学び、出身国についても話ができるような内容の教材があればうれしい。もちろんやさしい日本語で作成してほしい。	1
6	有資格日本語教師を把握し、生活保障を伴う活用を行う。	1
7	会場借料の優遇措置。	1
8	指導ボランティアの高齢化が進んでいる。若い人は定着しない。	1
9	行政は、学校を、箱モノの延長で考えている。原理・原則を外れた規制を恥ずかしく思っている。	1

※記述内容の一部抜粋

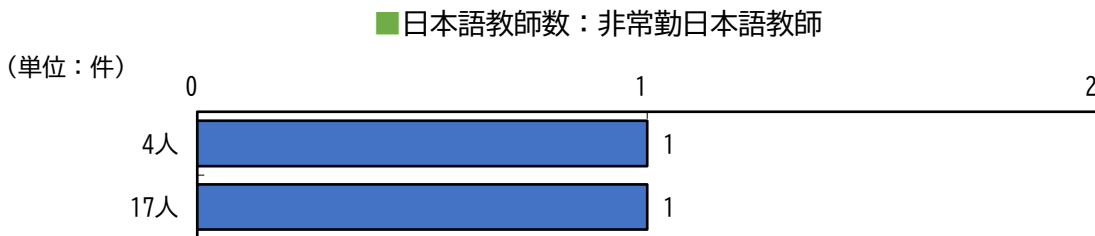
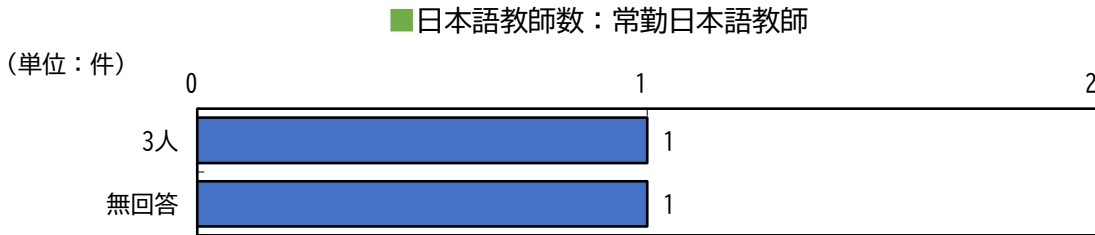
## 第5章 調査結果「D 日本語学校」

※「D 日本語学校」調査については、対象が2件のみのため、結果を百分率で表示せず、件数を表記した。

### (1) 日本語教師数

問1 現在貴校に登録されている日本語教師数について教えてください。

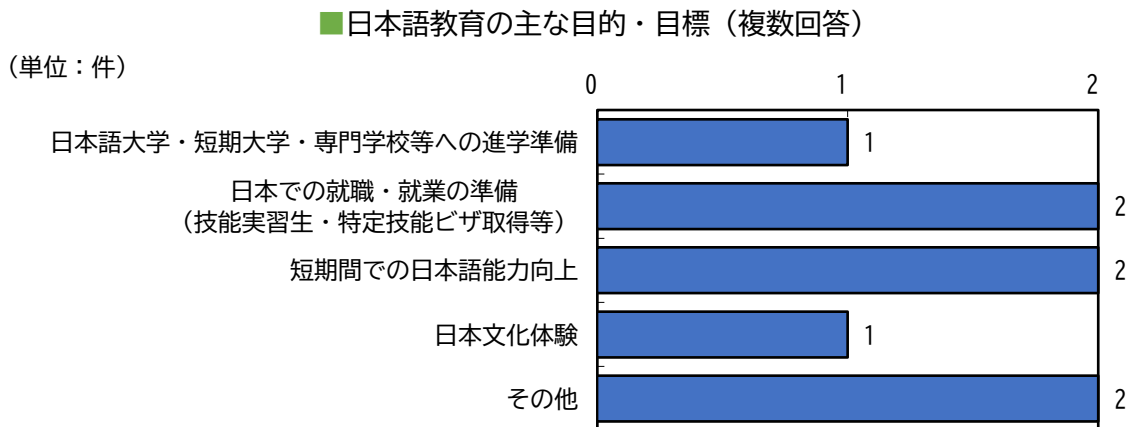
常勤日本語教師は「3人」、非常勤日本語教師は「4人」「17人」となっている。



### (2) 日本語教育の主な目的・目標

問2 貴校で行われている日本語教育の主な目的・目標について教えてください。  
(複数回答可)

「日本での就職・就業の準備」「短期間での日本語能力向上」がそれぞれ2件となっている。「その他」自由記述には、2校から、計2件の回答を得た。



■日本語教育の主な目的・目標：「その他」自由記述

整理番号	「その他」
1	教育・研究・日本人配偶者などのビザでの入国者の英語能力アップ、資格取得
2	将来、介護士として日本で働くための日本語力の育成

※記述内容の一部抜粋

### (3) 日本語コースの対象

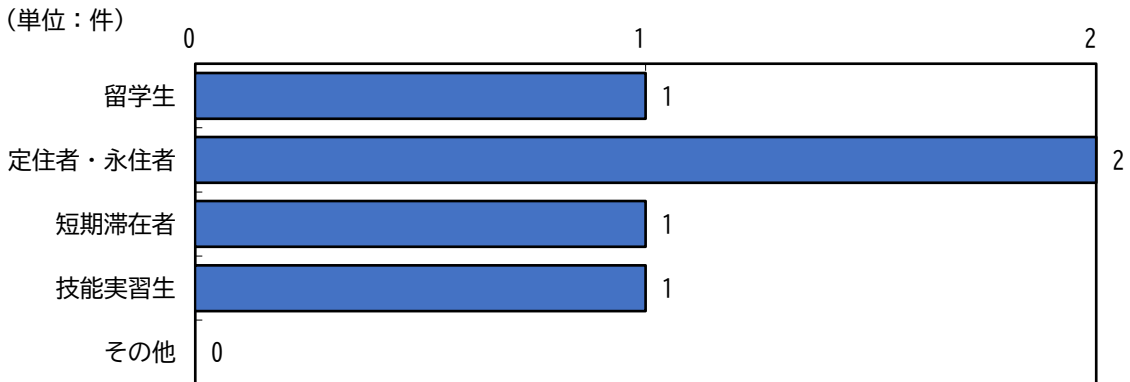
問3 貴校の日本語コースの対象について教えてください。(全講座合計)

日本語コースの対象は、「定住者・永住者」が2件となっている。

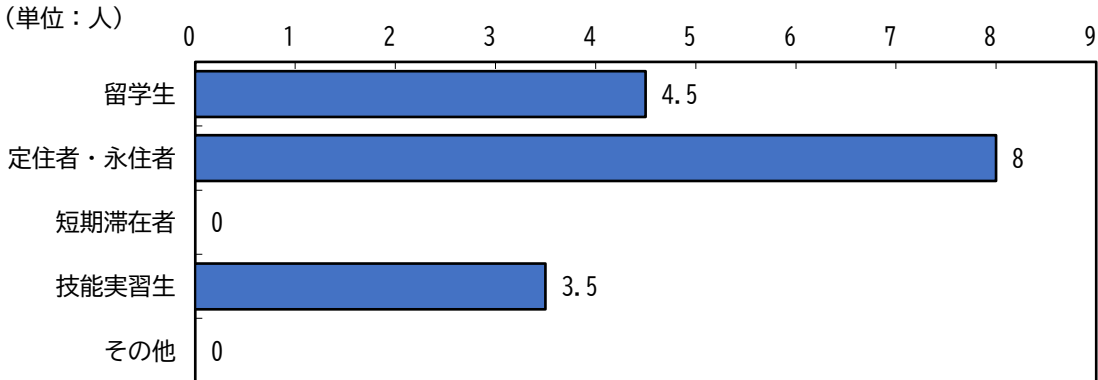
日本語コースの対象者数の平均値は、「定住者・永住者」(8人)が最も多く、次いで「留学生」(4.5人)、「技能実習生」(3.5人)となっている。

なお、対象者数について、「(入国制限が解除された場合)2022年4月には、在籍数が約40~50名に増える見込み」との1件の記述があった。

■日本語コースの対象(複数回答)



■日本語コースの対象:対象者数

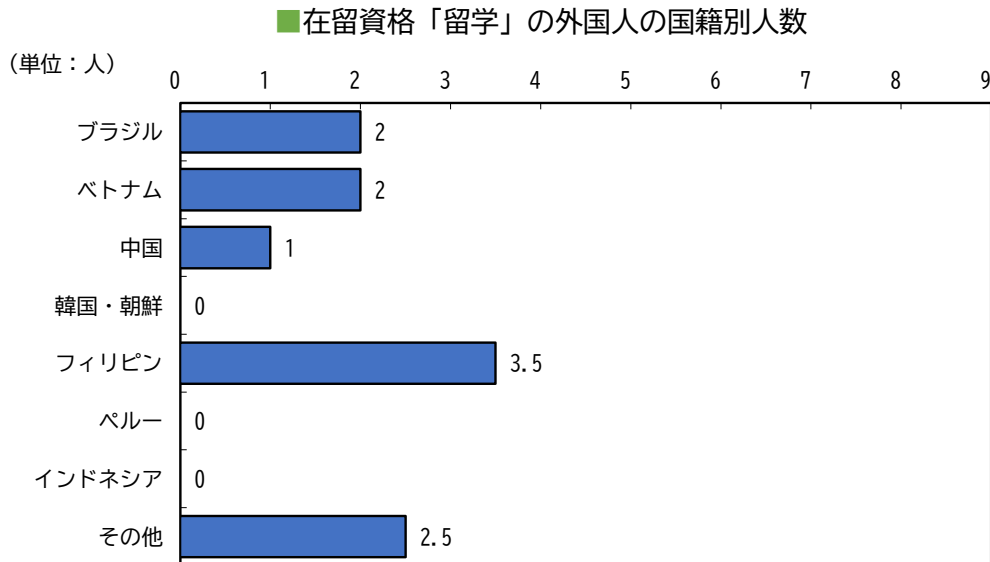


※数値は平均

**(4) 在留資格「留学」の外国人の国籍別人数**

問4 在留資格が「留学」である外国人についてお聞きします。  
国籍別人数を分かる範囲で教えてください。

国籍別人数の平均値は、「フィリピン」(3.5人)が最も多く、次いで「その他」(2.5人)、「ブラジル」「ベトナム」(ともに2人)、「中国」(1人)となっている。  
なお、「その他」について、「ミャンマー(2人)」との1件の記述があった。

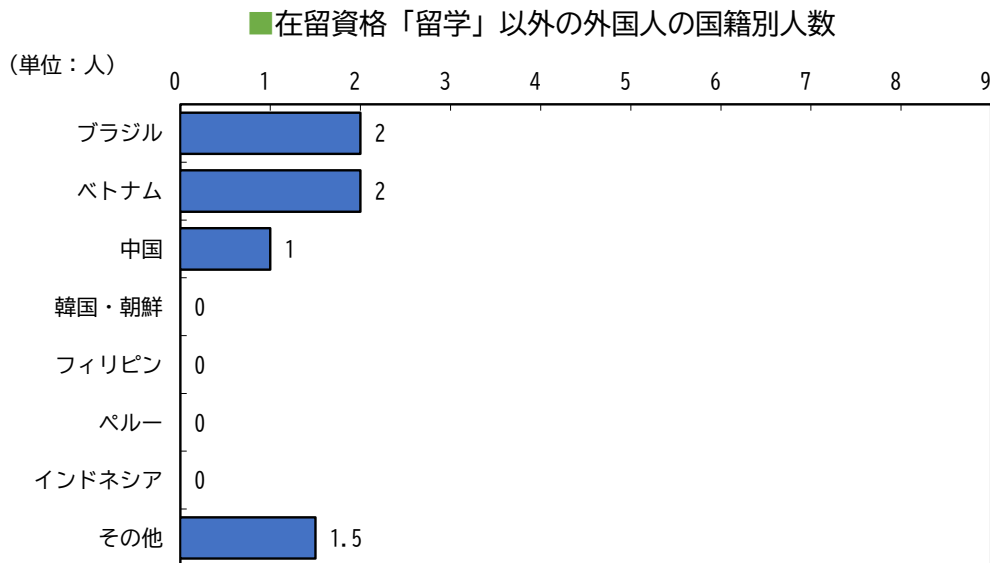


※数値は平均

**(5) 在留資格「留学」以外の外国人の国籍別人数**

問5 在留資格が「留学以外」である外国人についてお聞きします。国籍別人数を分かる範囲で教えてください。

国籍別人数の平均値は、「ベトナム」「ブラジル」(ともに2人)が最も多く、次いで「その他」(1.5人)、「中国」(1人)となっている。



※数値は平均

**(6) 在留資格「留学」以外の外国人の受講できる日本語講座**

問6 在留資格「留学」以外の方が受講できる日本語講座にはどのような講座がありますか。

2校から、計4件の回答を得た。

■在留資格「留学」以外の外国人の受講できる日本語講座

整理番号	内容	開催期間
1	JLPT（日本語能力試験）対策直前講座	3月～6月
2	JLPT（日本語能力試験）対策直前講座	8月～11月
3	プライベートレッスン	1年中
4	留学生クラスで受講可能	通年（土日・祝日及び学校が定める休日以外）

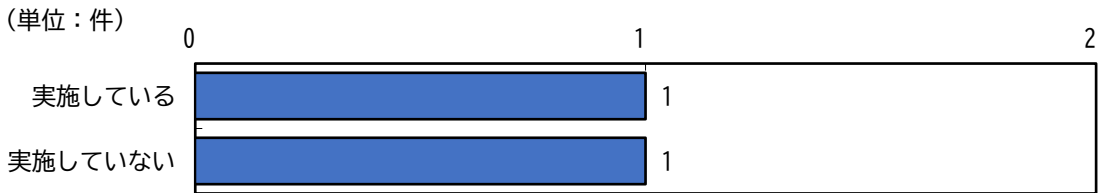
**(7) オンラインによる日本語講座の実施**

問7 貴校では、オンラインによる日本語講座を実施していますか。

「実施している」「実施していない」がそれぞれ1件となっている。

なお、「実施していない」について、「緊急事態宣言時のみ実施」との1件の記述があった。

■オンラインによる日本語講座の実施



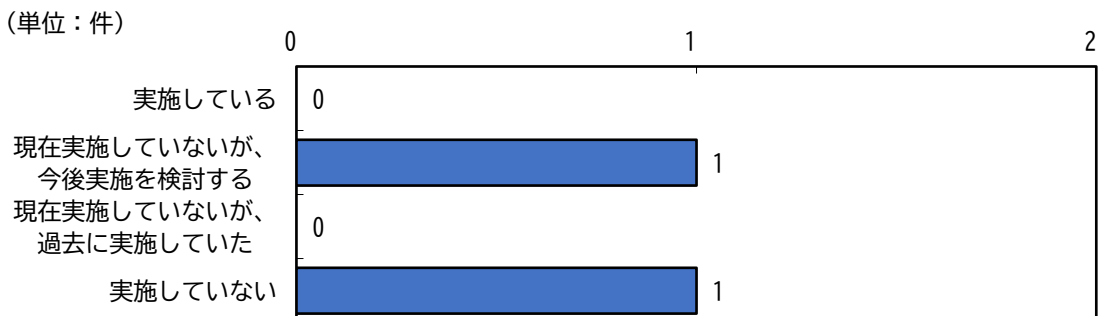
**(8) 日本語教師を養成するための講座の実施**

問8 貴校において、現在（令和3年度）日本語教師を養成するための講座を実施していますか。

「現在実施していないが、今後実施を検討する」「実施していない」がそれぞれ1件となっている。

なお、「実施していない」について、「他府県に同グループの日本語教師養成校がある」との1件の記述があった。

■日本語教師を養成するための講座の実施



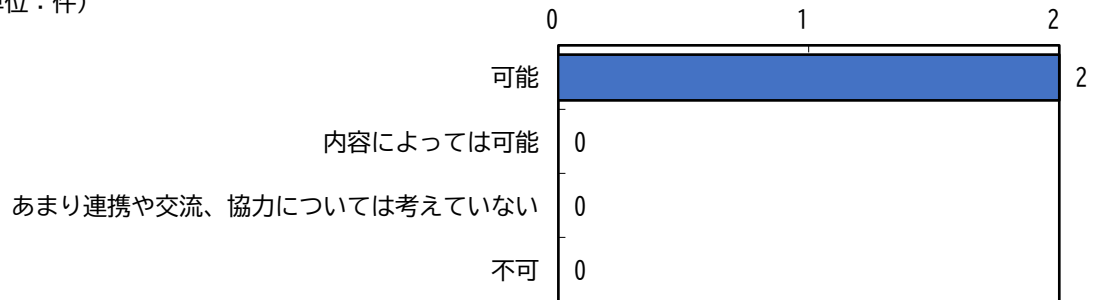
**(9) 他の団体との連携や交流、協力**

問9 日本語教育に関して、今後、他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語教室等）から連携や交流、もしくは何らかの協力依頼があった場合、応じることは可能ですか。

「可能」が2件となっている。

■他の団体との連携や交流、協力

(単位：件)



**(10) 他の団体との協力の内容**

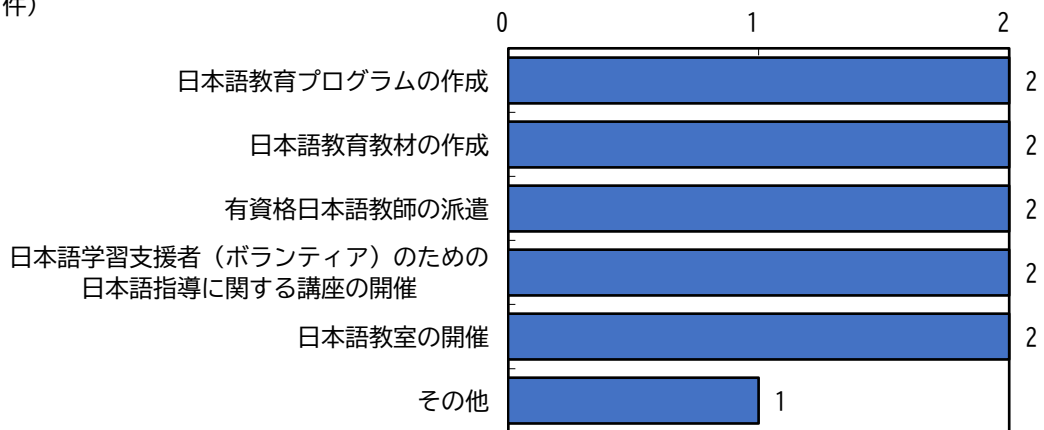
問9で1，2と回答された方にお聞きします。

問10 どのような協力ができますか。（複数回答可）

協力内容を示すすべての選択肢が2件となっている。「その他」自由記述には、2校から、計1件の回答を得た。

■他の団体との協力の内容（複数回答）

(単位：件)



■他の団体との協力の内容：「その他」自由記述

整理番号	「その他」
1	交流プログラムなど

※記述内容の一部抜粋



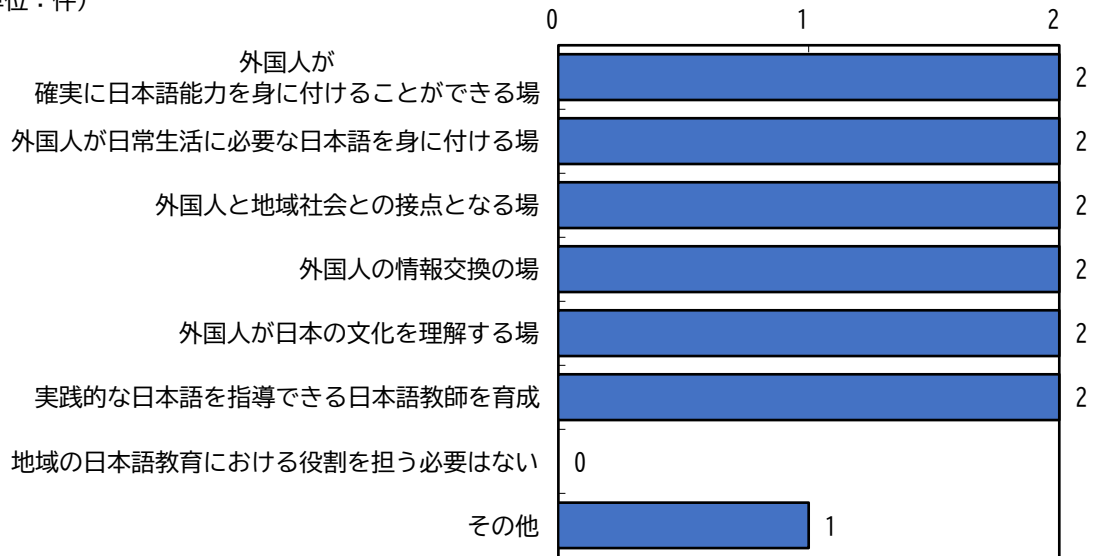
**(11) 地域の日本語教育における日本語学校の役割**

問 11 地域の日本語教育における日本語学校の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。（複数回答可）

役割を示すすべての選択肢が2件となっている。「その他」自由記述には、2校から、計1件の回答を得た。

■地域の日本語教育における日本語学校の役割

(単位：件)



■地域の日本語教育における日本語学校の役割：「その他」自由記述

整理番号	「その他」
1	留学生の出身国と日本の架け橋となる人材の育成の場

※記述内容の一部抜粋

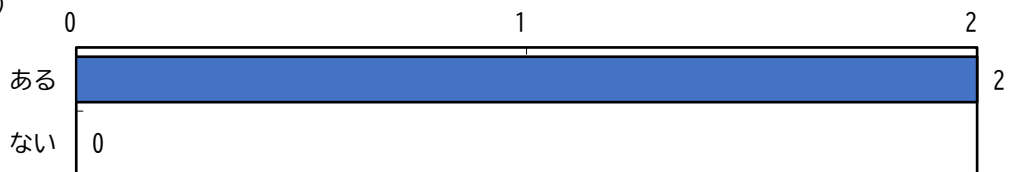
**(12) 日本語教育に関する事業内容の分かるウェブサイト**

問 12 貴校における日本語教育に関する事業内容が分かるウェブサイトがありますか。

「ある」が2件となっている。

■日本語教育に関する事業内容の分かるウェブサイト

(単位：件)



**(13) 日本語教育事業に関する自由意見**

問 13 その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。（自由記述）

2校から、計4件の回答を得た。

## ■日本語教育事業に関する自由意見（自由記述）

整理番号	自由意見
1	技能実習生などが確実な研修を受けられるような環境づくり、企業との関係など。
2	ボランティアではない日本語学校の維持のための支援。
3	現在、滋賀県在住外国人向けの受講者はおられないが、もし当校で学習を希望する方がおられたら、気軽に声を掛けてほしい。
4	地域の人々や団体、大学等の教育機関や学生との交流も希望しているので、紹介してほしい。

※記述内容の一部抜粋

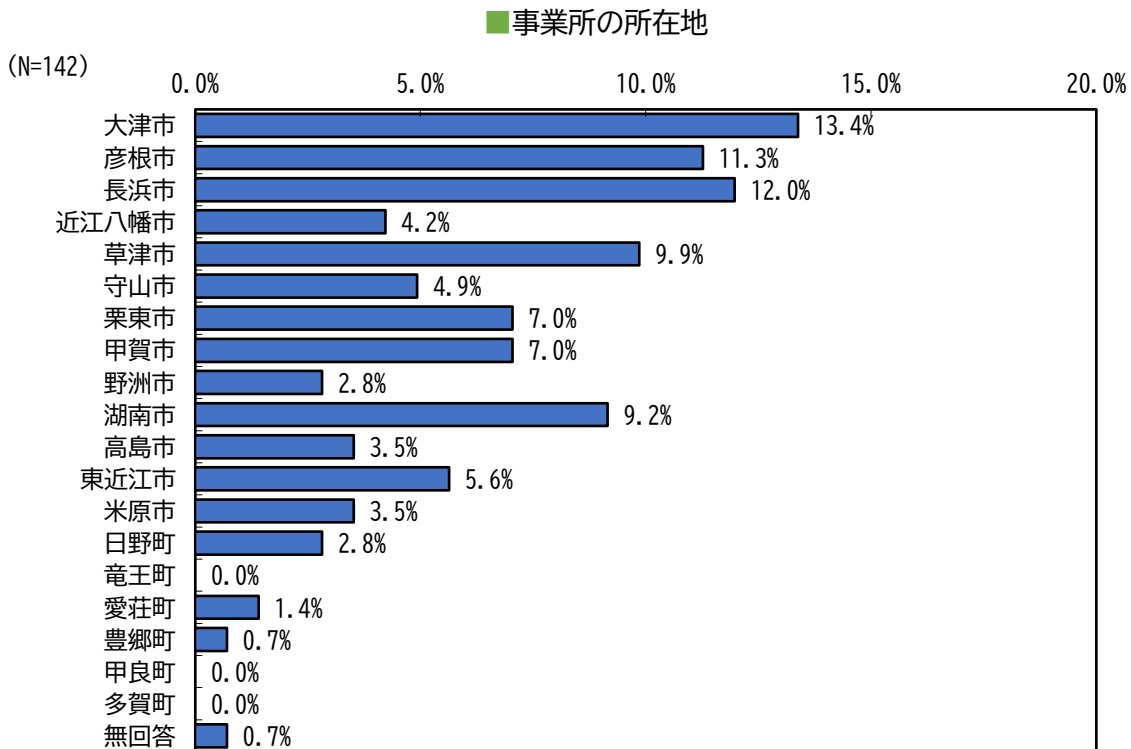
## 第6章 調査結果「E 事業所」

### 1. 事業所の属性・外国人従業員の雇用状況

#### (1) 事業所の所在地

問2 貴事業所の所在地の市町名をお答えください。

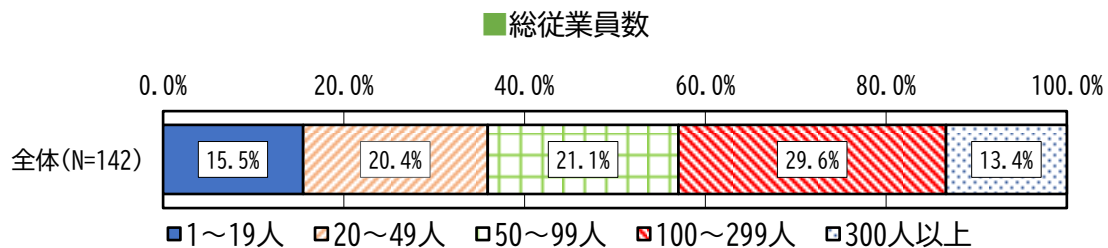
「大津市（13.4%）が最も多く、次いで「長浜市」（12.0%）、「彦根市」（11.3%）となっている。



#### (2) 総従業員数

問5 貴事業所の総従業員数（パート、派遣労働者を含む）をお答えください。

「100～299人」（29.6%）が最も多く、次いで「50～99人」（21.1%）、「20～49人」（20.4%）となっている。

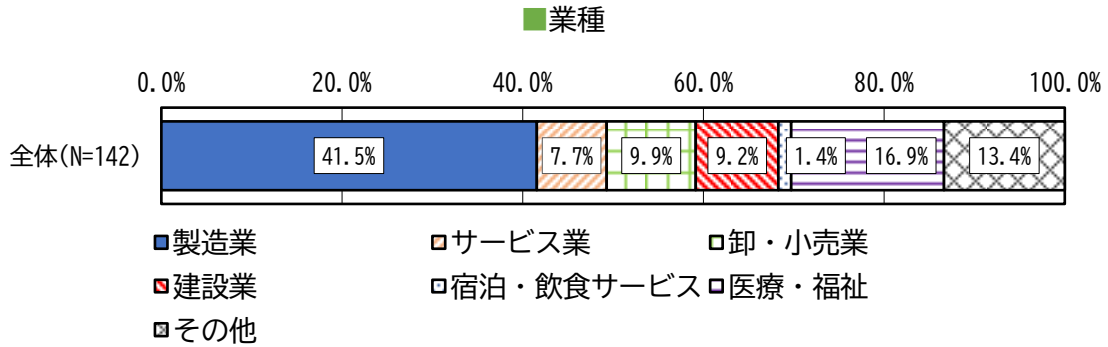


### (3) 業種

問6 貴事業所の業種をお答えください。

「製造業」(41.5%)が最も多く、次いで「医療・福祉」(16.9%)、「その他」(13.4%)となっている。

「その他」自由記述には、13事業所から、延べ13件の回答を得た。



■業種：「その他」自由記述

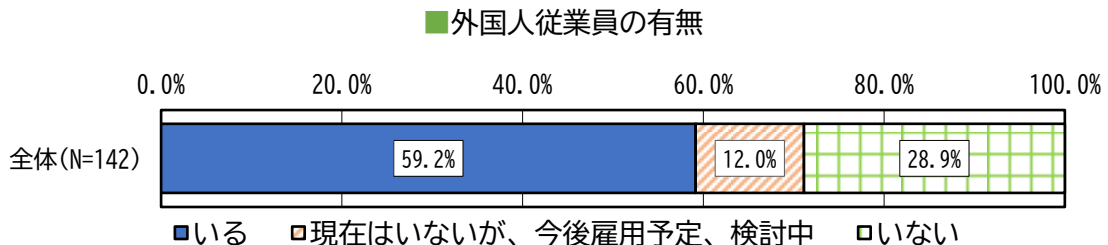
整理番号	「その他」	件数
1	協同組合・事業協同組合・中小企業団体	6
2	監理団体（技能実習生監理団体）	4
3	農業	2
4	有料人材紹介	1

※記述内容の一部抜粋

### (4) 外国人従業員の有無

問7 貴事業所では現在外国人従業員が働いていますか。

「いる」が59.2%となっている。また、「現在はいないが、今後雇用予定、検討中」は12.0%となっている。

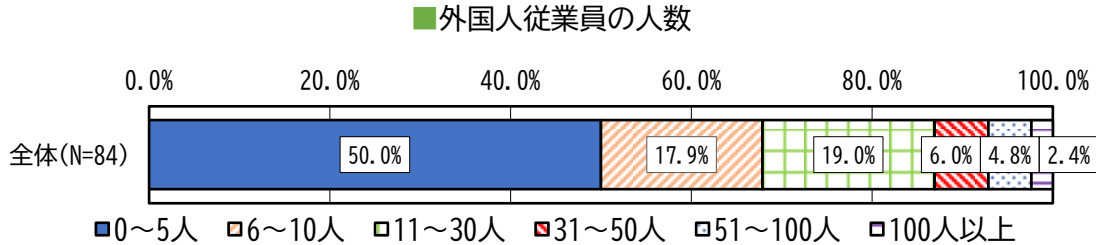


### (5) 外国人従業員の人数

問7で1（いる）と回答された方は、以降の設問にお答えください。

問8 外国人従業員の人数を教えてください。

「0～5人」（50.0%）が最も多く、次いで「11～30人」（19.0%）、「6～10人」（17.9%）となっている。

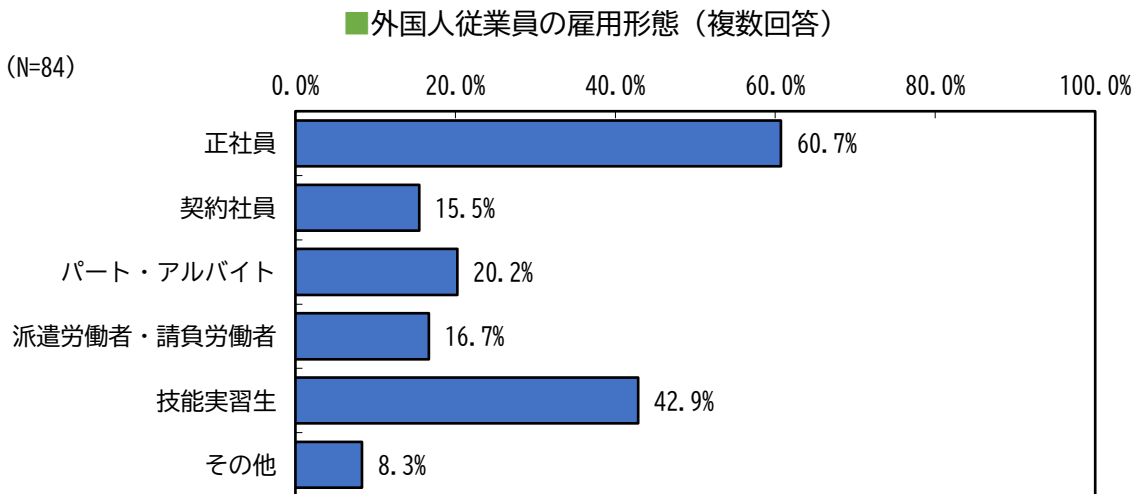


### (6) 外国人従業員の雇用形態

問9 外国人従業員の雇用形態を教えてください。（複数回答可）

「正社員」（60.7%）が最も多く、次いで「技能実習生」（42.9%）、「パート・アルバイト」（20.2%）となっている。

「その他」自由記述には、7事業所から、延べ7件の回答を得た。



■外国人従業員の雇用形態：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	特定技能	6
2	EPA 介護福祉士候補者	1

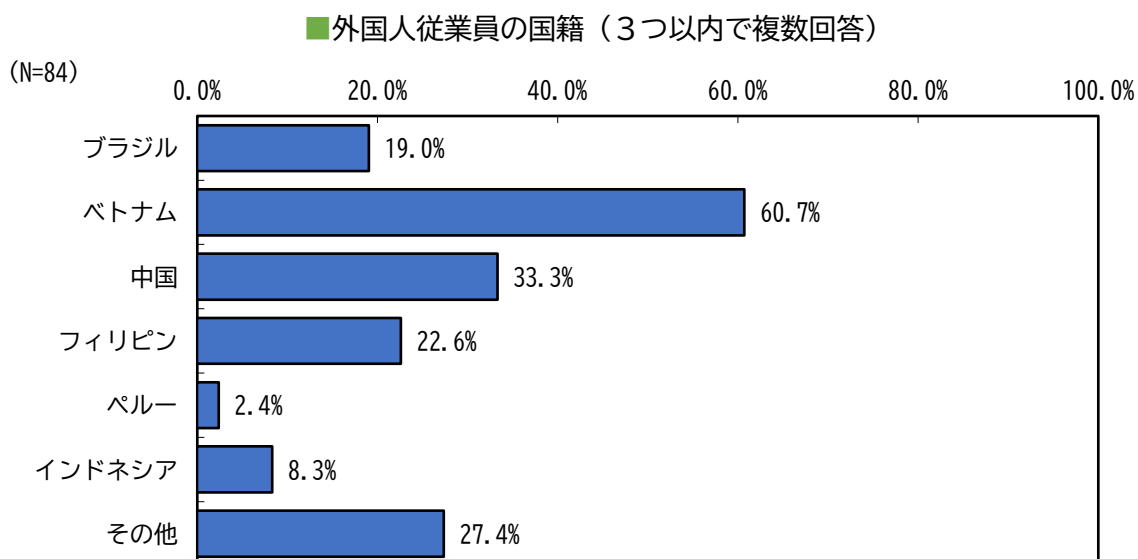
※記述内容の一部抜粋

## (7) 外国人従業員の国籍

問10 貴事業所で働く外国人について、上位3位までの国籍をお答えください。

「ベトナム」(60.7%)が最も多く、次いで「中国」(33.3%)、「その他」(27.4%)となっている。

「その他」自由記述には、22事業所から、延べ24件の回答を得た。



■外国人従業員の国籍：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	ネパール	5
2	ミャンマー	5
3	台湾	3
4	タイ	2
5	マレーシア	2
6	韓国	1
7	エチオピア	1
8	カンボジア	1
9	ケニア	1
10	スリランカ	1
11	スロバキア	1
12	ハンガリー	1

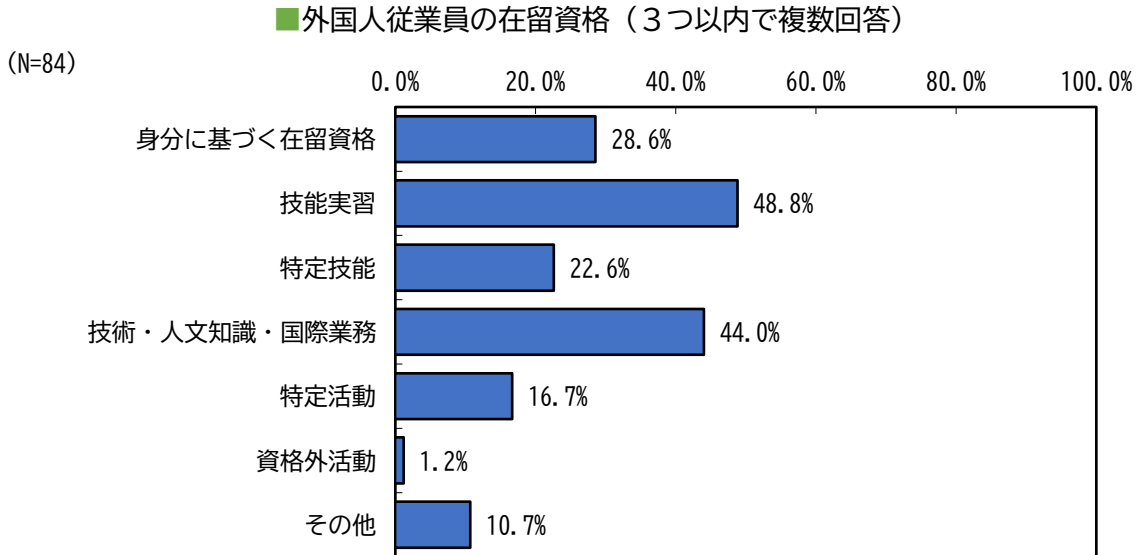
※記述内容の一部抜粋

**(8) 外国人従業員の在留資格**

問 11 貴事業所で働く外国人の在留資格について、上位3位までお答えください。

「技能実習」(48.8%)が最も多く、次いで「技術・人文知識・国際業務」(44.0%)、「身分に基づく在留資格」(28.6%)となっている。

「その他」自由記述には、7事業所から、延べ7件の回答を得た。



■外国人従業員の在留資格：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	永住者・配偶者（身分に基づく在留資格）	4
2	留学	2
3	介護	1

※記述内容の一部抜粋

## 2. 外国人従業員の日本語能力について

### (1) 外国人従業員の採用時にチェックする日本語能力

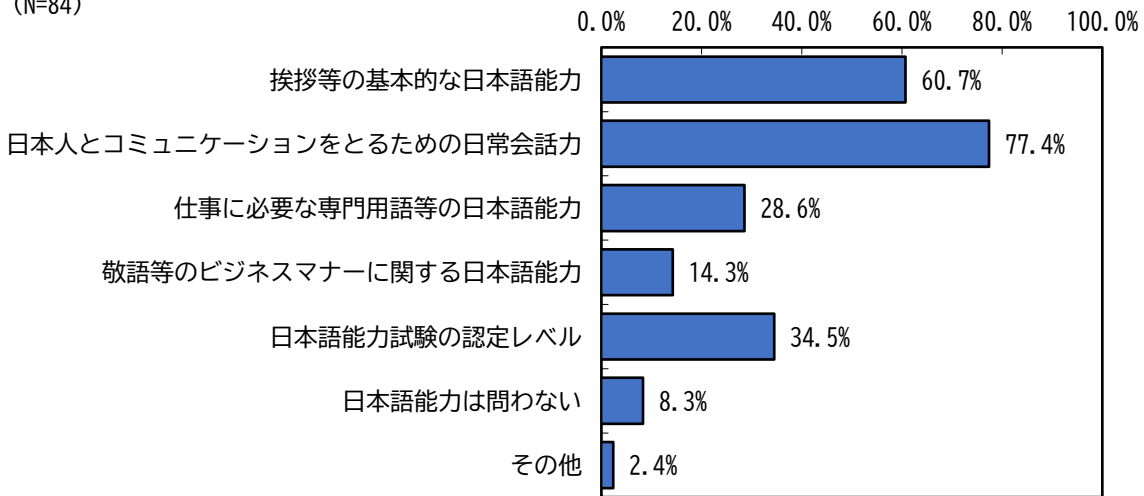
問12 外国人従業員の採用時に、どのような日本語能力をチェックしていますか。  
(複数回答可)

「日本人とコミュニケーションをとるための日常会話力」(77.4%)が最も多く、次いで「挨拶等の基本的な日本語能力」(60.7%)、「日本語能力試験の認定レベル」(34.5%)となっている。

「その他」自由記述には、2事業所から、延べ2件の回答を得た。

#### ■外国人従業員の採用時にチェックする日本語能力(複数回答)

(N=84)



#### ■外国人従業員の採用時にチェックする日本語能力：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	実習生で入国する場合はN4程度の日本語を学習済み	1
2	技能実習生は採用を決めてから日本語教育	1

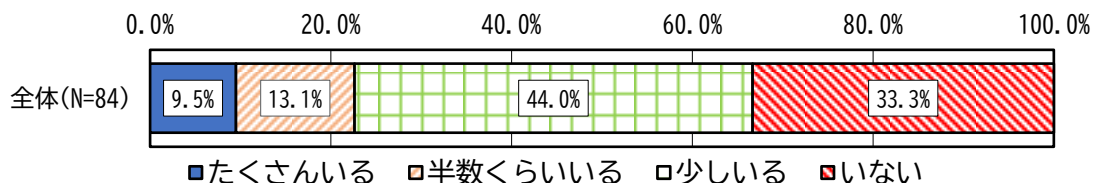
※記述内容の一部抜粋

### (2) 日常会話レベルの日本語能力が不十分な外国人従業員の有無

問13 貴事業所で働く外国人従業員の中に、日常会話レベルでの日本語能力が不十分だと思われる方はいますか。

「少しいる」(44.0%)が最も多く、次いで「いない」(33.3%)、「半数くらいいる」(13.1%)となっている。

#### ■日常会話レベルの日本語能力が不十分な外国人従業員の有無

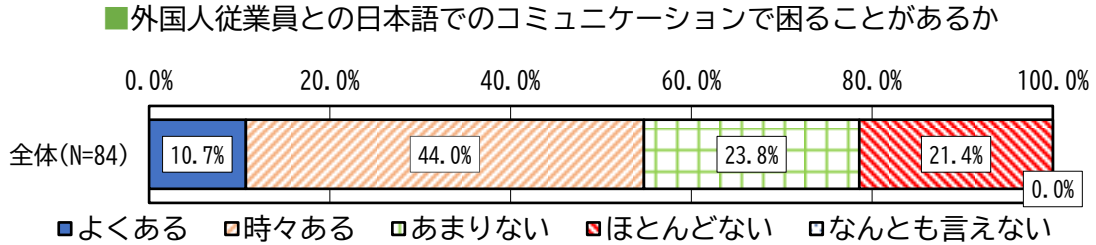




### (3) 外国人従業員との日本語でのコミュニケーションで困ることがあるか

問 14 外国人従業員との日本語でのコミュニケーションにおいて、困ることはありますか。

「時々ある」(44.0%)が最も多く、次いで「あまりない」(23.8%)、「ほとんどない」(21.4%)となっている。



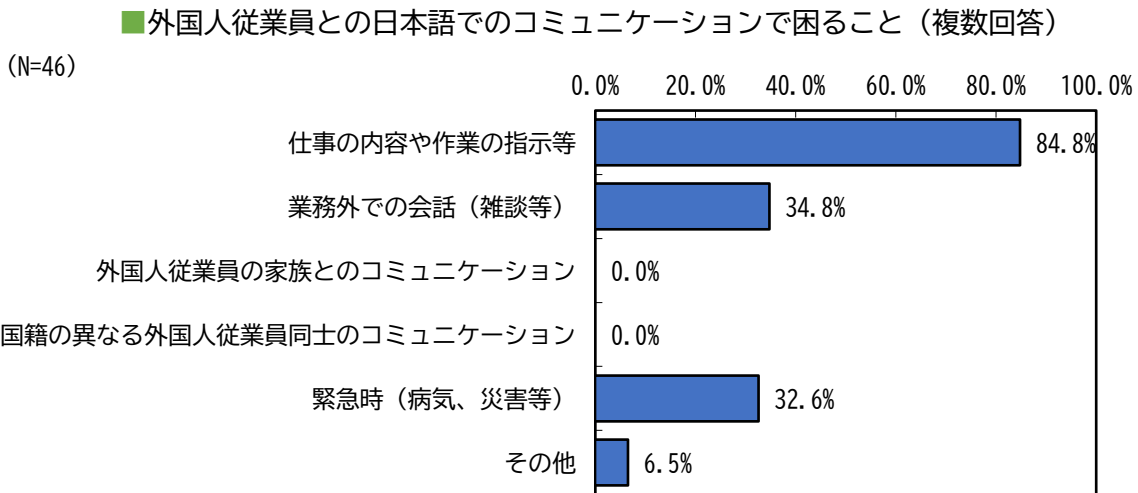
### (4) 外国人従業員との日本語でのコミュニケーションで困ること

問 14 で 1 (よくある) または 2 (時々ある) と回答された方にお聞きします。

問 15 外国人従業員との日本語でのコミュニケーションにおいて、どのような場面で困ることがありますか。(複数回答可)

「仕事の内容や作業の指示等」(84.8%)が最も多く、次いで「業務外での会話」(34.8%)、「緊急時」(32.6%)となっている。

「その他」自由記述には、3事業所から、延べ3件の回答を得た。



■外国人従業員との日本語でのコミュニケーションで困ること：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	必要な書類の記入等	1
2	生活習慣についての理解	1
3	こちら側の質問に対して、間違った理解・認識をしている時がある	1

※記述内容の一部抜粋

**(5) 外国人従業員との日本語でのコミュニケーションで困る理由**

問 14 で1（よくある）または2（時々ある）と回答された方にお聞きします。

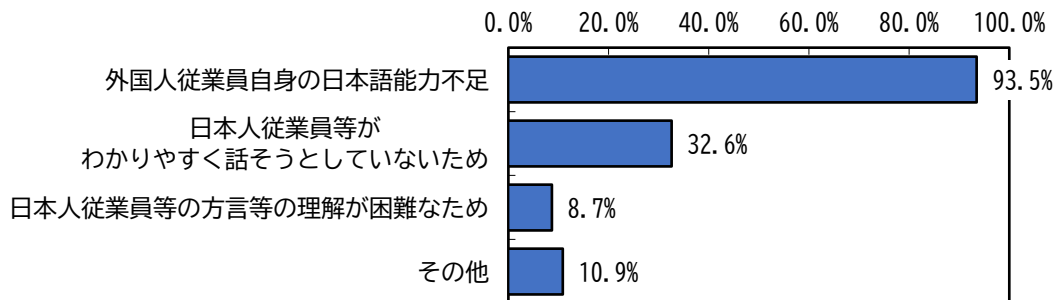
問 16 外国人従業員との日本語でのコミュニケーションにおいて困ることのある、理由は何だと思えますか。（複数回答可）

「外国人従業員自身の日本語能力不足」（93.5%）が最も多く、次いで「日本人従業員等がわかりやすく話そうとしていないため」（32.6%）、「その他」（10.9%）となっている。

「その他」自由記述には、5事業所から、延べ5件の回答を得た。

■外国人従業員との日本語でのコミュニケーションで困る理由（複数回答）

(N=46)



■外国人従業員との日本語でのコミュニケーションで困る理由：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	双方の能力不足	1
2	日本人従業員の語学力	1
3	資格関係の日本人でも理解が難しい話	1
4	国籍間の感覚の問題	1
5	稀にそもそも日本語を覚える気のない外国人従業員もいる	1

※記述内容の一部抜粋

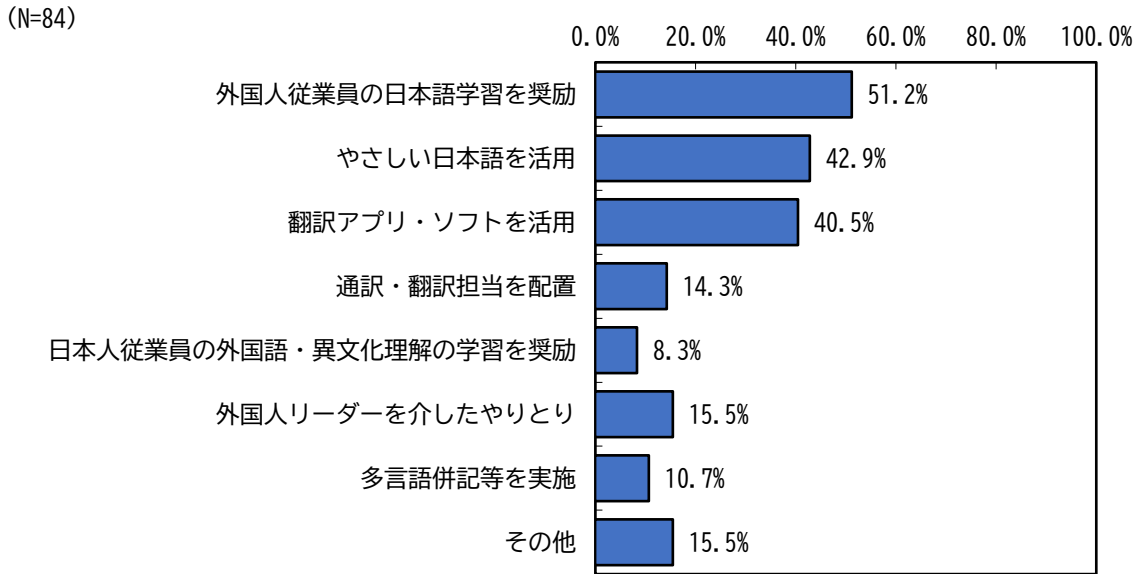
(6) 外国人従業員とのコミュニケーションの工夫

問 17 外国人従業員とのコミュニケーションの工夫についてどのようなことを行っていますか。(複数回答可)

「外国人従業員の日本語学習を奨励」(51.2%)が最も多く、次いで「やさしい日本語を活用」(42.9%)、「翻訳アプリ・ソフトを活用」(40.5%)となっている。

「その他」自由記述には、13事業所から、延べ14件の回答を得た。

■外国人従業員とのコミュニケーションの工夫(複数回答)



■外国人従業員とのコミュニケーションの工夫：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	外部の通訳を依頼	4
	派遣責任者が通訳としてコミュニケーションを取る	
	海外工場通訳とのWEB会議	
2	コミュニケーションの得意な従業員の配置	2
	社員として長年日本に在住の日系ブラジル人	
	関連会社の中国赴任者がいる	
3	話す機会を増やす	2
4	返事ではなく内容の復唱による理解度確認	1
5	奨励金制度による日本語能力試験の推進	1
6	コミュニケーションには困っていない	4
	通訳のためコミュニケーションに工夫等が必要なレベルではない	
	日本語が堪能なので特になにもしていない	

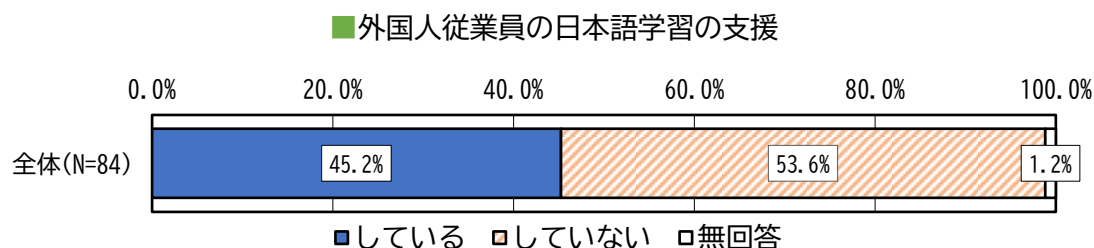
※記述内容の一部抜粋

### 3. 外国人従業員に対する日本語学習の支援について

#### (1) 外国人従業員の日本語学習の支援

問18 貴事業所では、外国人従業員の日本語学習に対して、何らかの支援を行っていますか。

「している」が45.2%となっている。



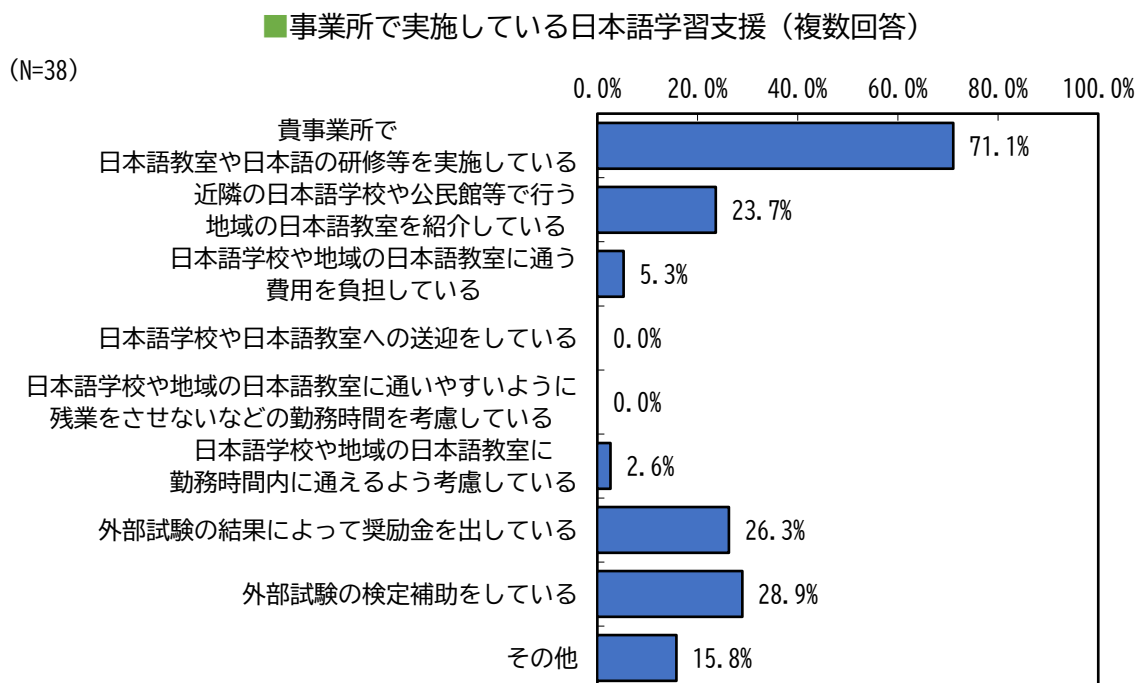
#### (2) 事業所で実施している日本語学習支援

問18で1（している）と回答された方にお聞きします。

問19 貴事業所での日本語学習支援はどのように実施していますか。（複数回答可）

「貴事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している」（71.1%）が最も多く、次いで「外部試験の検定補助をしている」（28.9%）、「外部試験の結果によって奨励金を出している」（26.3%）となっている。

「その他」自由記述には、7事業所から、延べ7件の回答を得た。



■事業所で実施している日本語学習支援：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	日本語研修を実施していたが、コロナ禍のため技能実習生と日記のやりとりを行っている	1
2	参考図書を購入費用の支援	1
3	インターネットでの日本語学習サイトの紹介	1
4	日本人職員との懇談会開催	1
5	実習生受入れ前の現地日本語教育	1
6	日本語能力者を採用している	1
7	外部試験の試験費用負担	1

※記述内容の一部抜粋

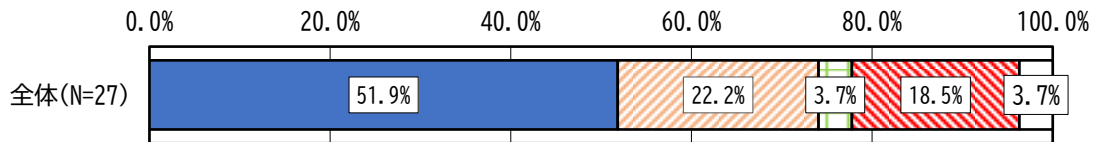
(3) 事業所での日本語教室等の実施方法

問 19 で 1（貴事業所で日本語教室や日本語研修等を実施している）と回答された方にお聞きます。  
 問 20 貴事業所の日本語教室や日本語研修（以下、「日本語教室等」という）はどのように実施していますか。

「事業所内で対応」（51.9%）が最も多く、次いで「外部に委託し、事業所内の会議室等で実施」（22.2%）、「その他」（18.5%）となっている。

「その他」自由記述には、2事業所から、延べ2件の回答を得た。

■事業所での日本語教室等の実施方法



- 事業所内で対応（社員が日本語を教えている）
- 外部に委託し、事業所内の会議室等で実施
- 外部に委託し、事業所外で実施
- その他
- 無回答

■事業所での日本語教室等の実施方法：「その他」自由記述

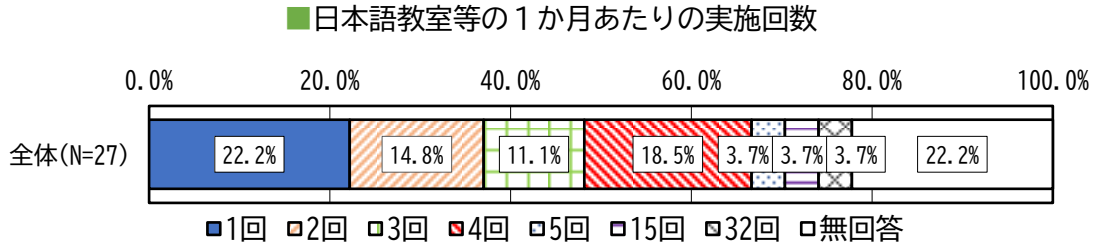
整理番号	「その他」	件数
1	外部委託と社内学習の併用	1
2	ボランティアの利用	1

※記述内容の一部抜粋

**(4) 日本語教室等の1か月あたりの実施回数**

問 21 貴事業所の日本語教室等の1か月あたりの実施回数を教えてください。(自由記述)

「1回」(22.2%)が最も多く、次いで「4回」(18.5%)、「2回」(14.8%)となっている。



**(5) 日本語教室等の実施曜日・時間**

問 22 貴事業所の日本語教室等の実施曜日・時間を教えてください。(自由記述)

17事業所から、延べ17件の回答を得た。

■日本語教室等の実施曜日・時間

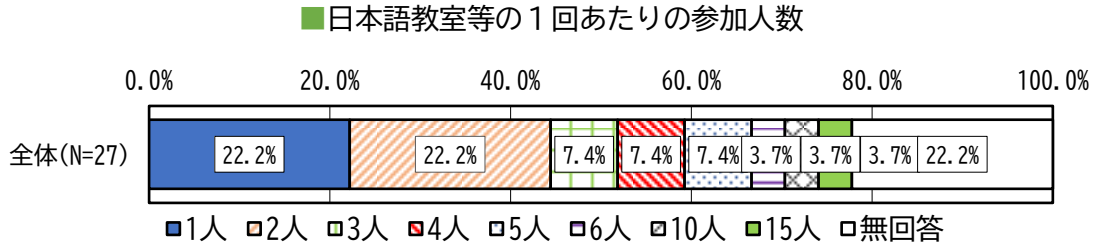
整理番号	曜日	時間	件数
1	月・火・水・木・土	150分	1
2	木もしくは金および出勤日の土	—	1
3	金	120分、時間帯12時～18時	2
4	第1・2・3火	150分、時間帯12時～18時	1
5	週1回	120分	1
6	月1回週末	90分	1
7	平日	時間内、勤務シフトを外して実施	2
8	平日	昼休みに熱心な者は同じ部署の日本人に都度質問。その他は夜に寮で日本語の指導	1
9	不定期、月ごとに変更	—	4
10	—	60分	1
11	—	30分	2

※記述内容の一部抜粋

(6) 日本語教室等の1回あたりの参加人数

問23 貴事業所の日本語教室等への1回あたりの参加人数を教えてください。(自由記述)

「1人」「2人」(ともに22.2%)が最も多く、次いで「3人」「4人」「5人」(それぞれ7.4%)となっている。

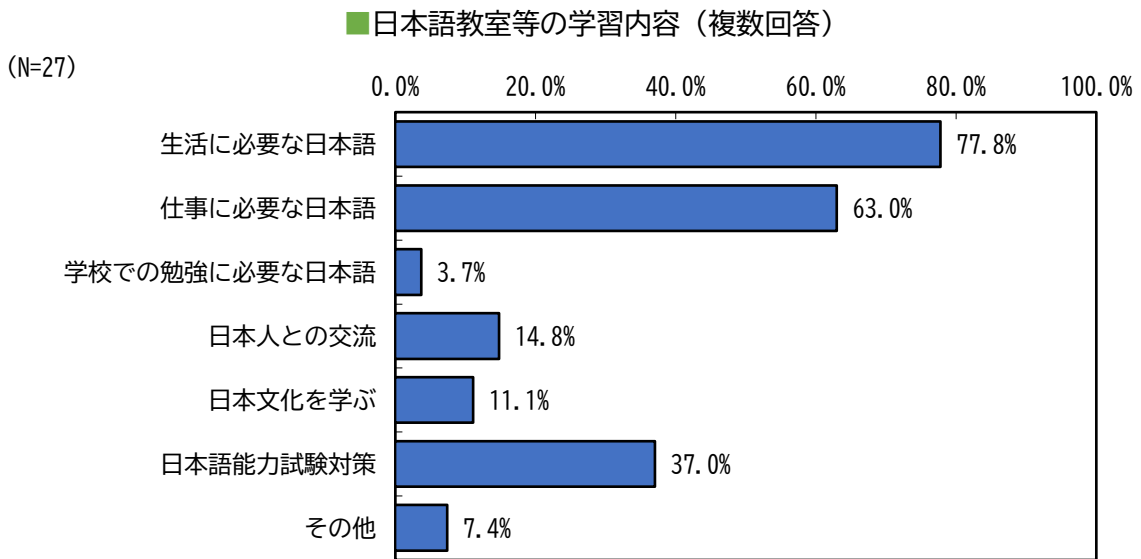


(7) 日本語教室等の学習内容

問24 貴事業所の日本語教室等での学習内容は何ですか。(複数回答可)

「生活に必要な日本語」(77.8%)が最も多く、次いで「仕事に必要な日本語」(63.0%)、「日本語能力試験対策」(37.0%)となっている。

「その他」自由記述には、2事業所から、延べ2件の回答を得た。



■日本語教室等の学習内容：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	資格試験対策、介護福祉士国家試験合格のため	2

※記述内容の一部抜粋

**(8) 日本語教室等で使用しているテキスト**

問 25 貴事業所の日本語教室等で使用しているテキスト名を教えてください。(自由記述)

12 事業所から、延べ 15 件の回答を得た。

## ■日本語教室等で使用しているテキスト

整理番号	日本語教室等で使用しているテキスト	件数
1	みんなの日本語	3
2	日本語検定、検定問題にて勉強	2
3	日本語能力試験、日本語能力試験完全模試、日本語能力試験直前対策	2
4	自社作成テキスト	2
5	介護の日本語	1
6	過去問	1
7	建設用語のため建設資格の教本など	1
8	国際厚生事業団からの配布テキスト	1
9	業務内容を日記に記載し、添削。日本での生活マナーの指導も一緒に行う	1
10	無し	1

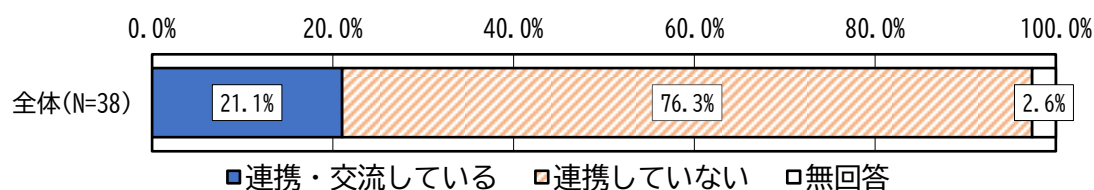
※記述内容の一部抜粋

**(9) 日本語教育に関する他の団体との連携・交流**

問 26 日本語教育に関して、他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等）と連携交流は行っていますか。（選択）

「連携・交流している」が 21.1%となっている。

## ■日本語教育に関する他の団体との連携・交流





**(10) 日本語教育に関する他の団体との連携・交流先**

問 26 で1（連携・交流している）と回答された方にお聞きします。

問 27 連携・交流先を教えてください。（自由記述）

6 事業所から、延べ6件の回答を得た。

## ■日本語教育に関する他の団体との連携・交流先

整理番号	連携・交流先	件数
1	市町の国際交流協会	2
2	専門学校で2年間日本語を勉強	1
3	特定の団体名	3

※記述内容の一部抜粋

**(11) 日本語教育に関する他の団体との連携・交流内容**

問 26 で1（連携・交流している）と回答された方にお聞きします。

問 28 連携・交流内容を教えてください。（自由記述）

5 事業所から、延べ5件の回答を得た。

## ■日本語教育に関する他の団体との連携・交流内容

整理番号	連携・交流内容	件数
1	子ども食堂などへのボランティア参加	1
2	地域の情報	1
3	行事への参加	1
4	オンライン日本語研修やライブ講義を看護師国家試験取得のために支援	1
5	月1回の通訳を交えての面談	1

※記述内容の一部抜粋

## (12) 日本語学習支援を行っていない理由

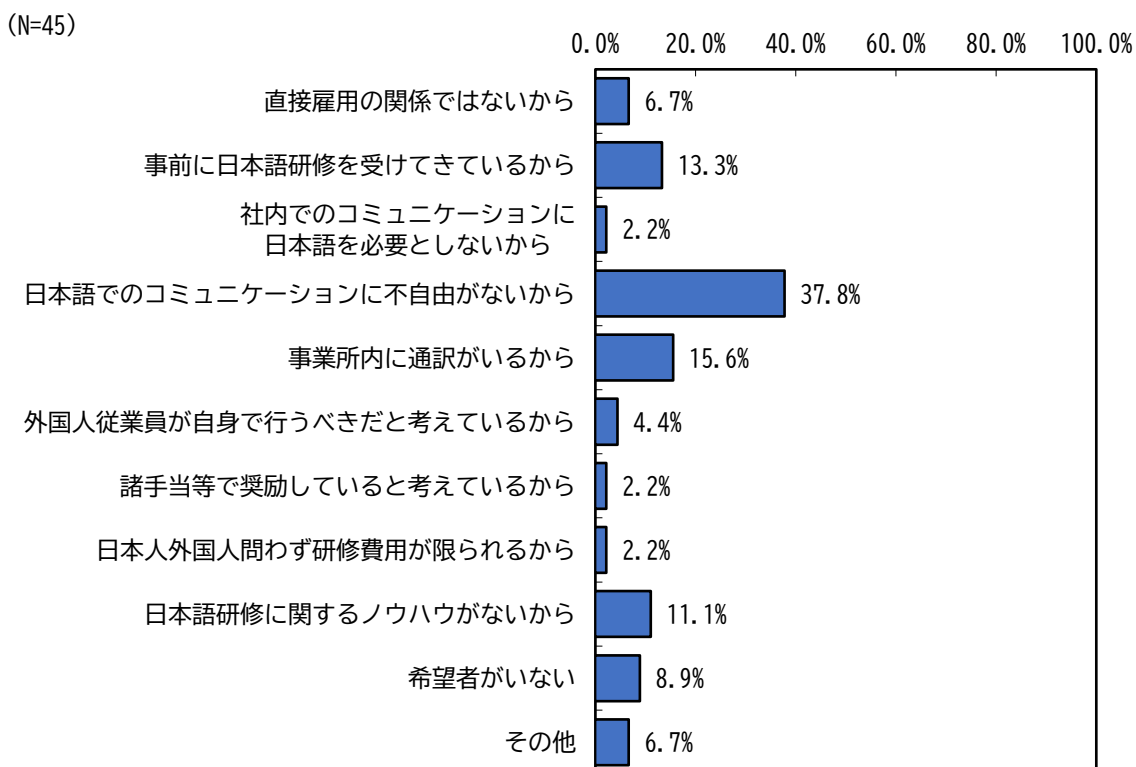
問 18 で日本語学習支援を行っていないと回答された方にお聞きします。

問 29 理由をお答えください。(複数回答可)

「日本語でのコミュニケーションに不自由がないから」(37.8%)が最も多く、次いで「事業所内に通訳がいるから」(15.6%)、「事前に日本語研修を受けてきているから」(13.3%)となっている。

「その他」自由記述には、3事業所から、延べ3件の回答を得た。

■日本語学習支援を行っていない理由(複数回答)



■日本語学習支援を行っていない理由：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	組合に依頼しているため	1
2	国籍間の感覚の問題だから	1
3	個人でやっている	1

※記述内容の一部抜粋

## 4. 外国人従業員への日本語教育の将来について

### (1) 望ましい学習機会の形態

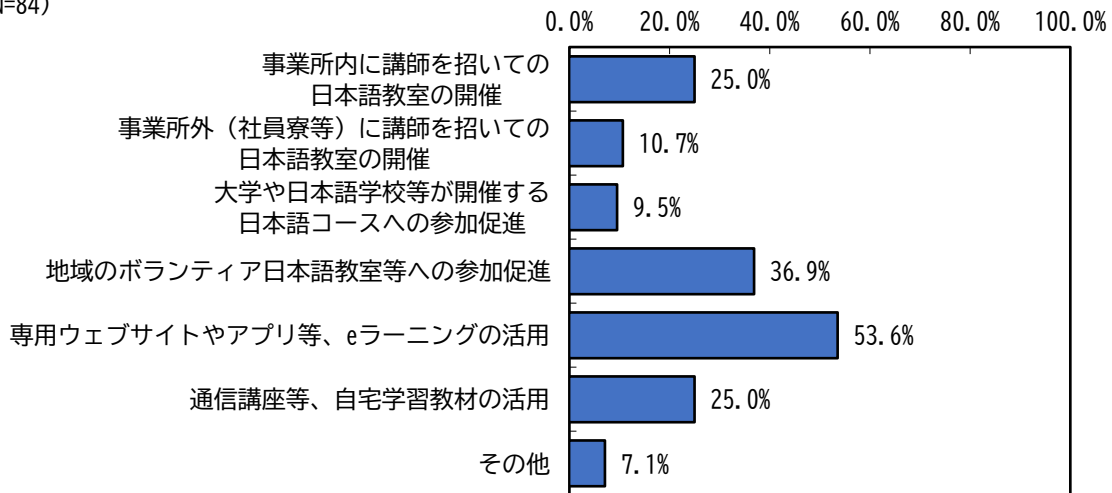
問30 今後、外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、どのような形態での学習機会があればよいと思いますか。（複数回答可）

「専用ウェブサイトやアプリ等、eラーニングの活用」（53.6%）が最も多く、次いで「地域のボランティア日本語教室等への参加促進」（36.9%）、「事業所内に講師を招いての日本語教室の開催」「通信講座等、自宅学習教材の活用」（ともに25.0%）となっている。

「その他」自由記述には、6事業所から、延べ6件の回答を得た。

#### ■望ましい学習機会の形態（複数回答）

(N=84)



#### ■望ましい学習機会の形態：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	実務を通じた訓練	3
	OJT（現任訓練）による教育	
	先輩社員とマンツーマン	
	日本人社員との積極的コミュニケーション	
2	事業所内での勉強会、研修参加	1
3	今の時世インターネットでの学習が一番効率的	1
4	雇用する従業員は通訳スタッフなので、日本語での実践会話の機会を増やす	1

※記述内容の一部抜粋

(2) 日本語教育の充実に事業所として協力できること

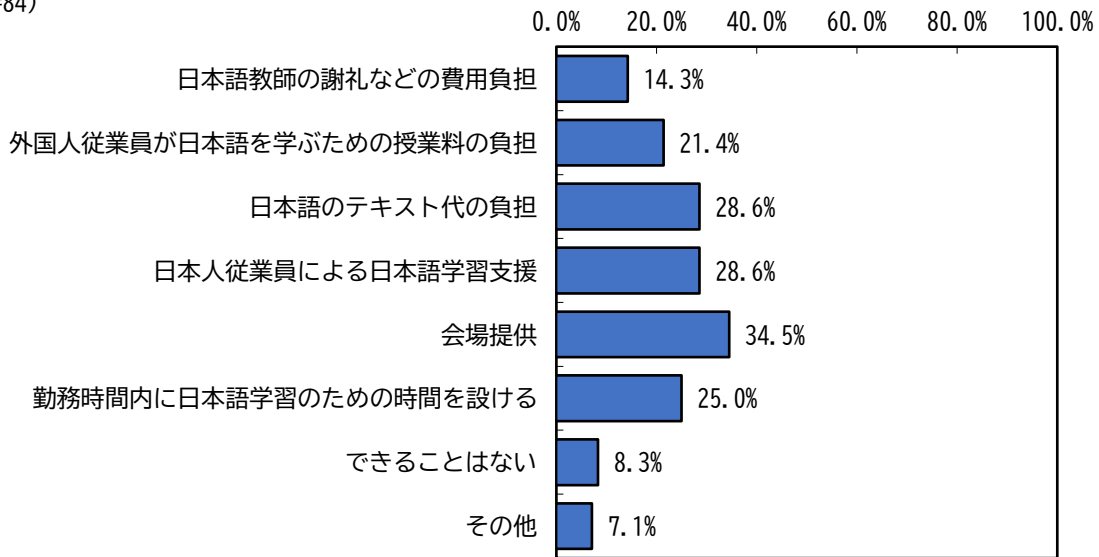
問 31 今後、外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、貴事業所として協力できると思われることは何ですか。（複数回答可）

「会場提供」（34.5%）が最も多く、次いで「日本語のテキスト代の負担」「日本人従業員による日本語学習支援」（ともに28.6%）となっている。また、「できることはない」は8.3%となっている。

「その他」自由記述には、6事業所から、延べ6件の回答を得た。

■日本語教育の充実に事業所として協力できること（複数回答）

(N=84)



■日本語教育の充実に事業所として協力できること：「その他」自由記述

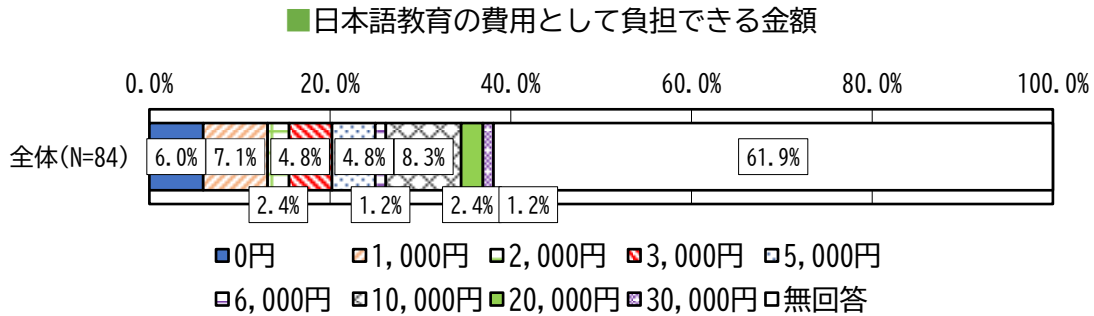
整理番号	「その他」	件数
1	交流協会の活用	1
2	お互いのコミュニケーションの充実	1
3	一部介助	1
4	日本人との実践会話の機会提供	1
5	監理団体と連携して学習環境を整える	1
6	費用負担して勤務時間内で実施済	1

※記述内容の一部抜粋

**(3) 日本語教育の費用として負担できる金額**

問 32 外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、日本語教育にかかる費用として、どの程度なら負担できますか。(自由記述)

「10,000円/月」(8.3%)が最も多く、次いで「1,000円/月」(7.1%)、「0円/月」(6.0%)となっている。

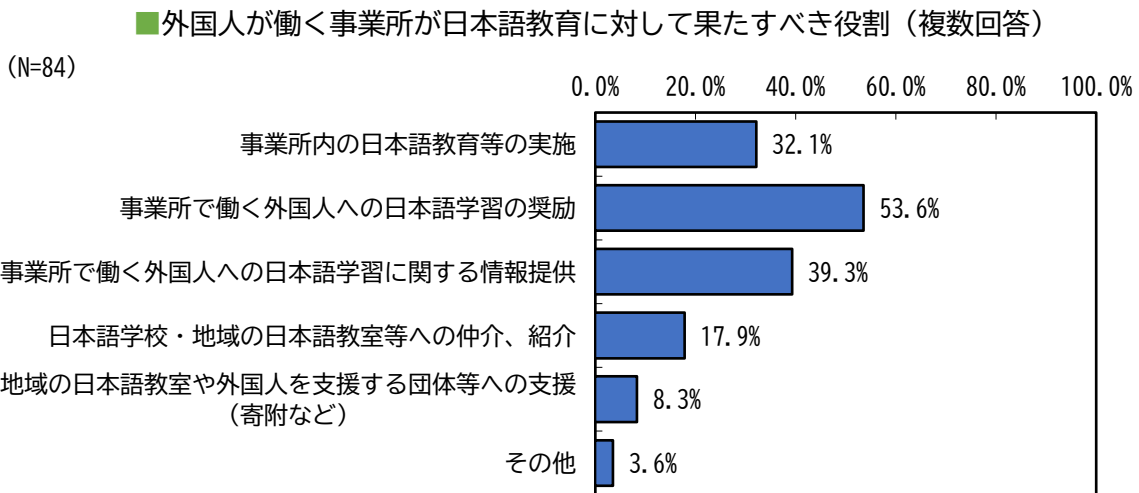


**(4) 外国人が働く事業所が日本語教育に対して果たすべき役割**

問 33 外国人が働く事業所は、日本語教育に対してどのような役割を果たすべきだと考えますか。(複数回答可)

「事業所で働く外国人への日本語学習の奨励」(53.6%)が最も多く、次いで「事業所で働く外国人への日本語学習に関する情報提供」(39.3%)、「事業所内の日本語教育等の実施」(32.1%)となっている。

「その他」自由記述には、3事業所から、延べ3件の回答を得た。



■外国人が働く事業所が日本語教育に対して果たすべき役割：「その他」自由記述

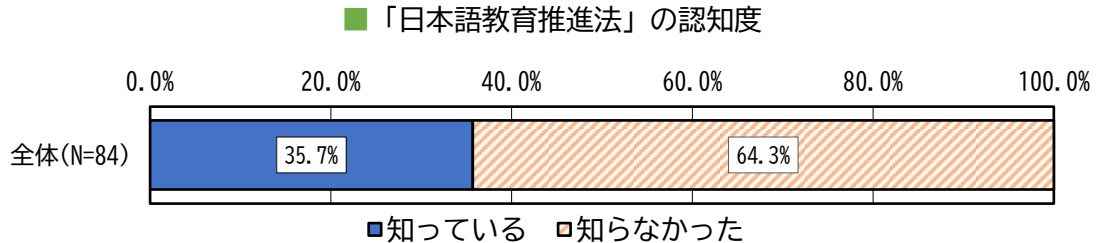
整理番号	「その他」	件数
1	外国人も含め誰もが働きやすい職場環境づくり	1
2	語学力が低い人はそもそも採用しない	1
3	会社に情報提供等を強制するような法律を施行すべきでない	1

※記述内容の一部抜粋

(5) 「日本語教育推進法」の認知度

問 34 「日本語教育推進法」において、企業は雇用する外国人やその家族に対する日本語学習の機会の提供その他の日本語学習に関する支援に努める責務があると定められていることを知っていますか。

「知っている」が35.7%となっている。

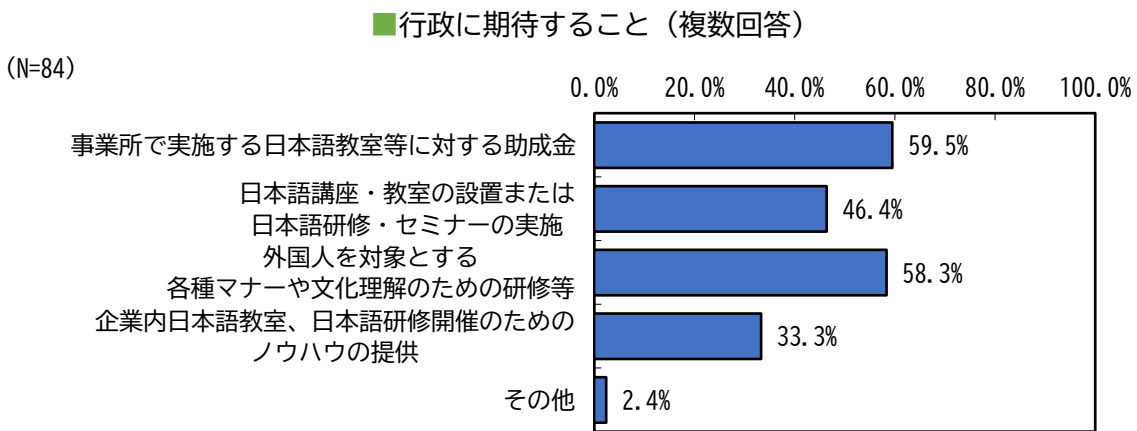


(6) 行政に期待すること

問 35 行政に期待することは何ですか。(複数回答可)

「事業所で実施する日本語教室等に対する助成金」(59.5%)が最も多く、次いで「外国人を対象とする各種マナーや文化理解のための研修等」(58.3%)、「日本語講座・教室の設置または日本語研修・セミナーの実施」(46.4%)となっている。

「その他」自由記述には、2事業所から、延べ2件の回答を得た。



■ 行政に期待すること：「その他」自由記述

整理番号	「その他」	件数
1	支援金と支援情報の提供	1
2	選択肢以外の外国人関連の対応力の向上。わからない等が多すぎる	1

※記述内容の一部抜粋

(7) 日本語教育事業に関する自由意見

問 36 その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。(自由記述)

21 事業所から、「特になし」など5件を除き、延べ16件の回答を得た。

■日本語教育事業に関する自由意見

整理番号	「その他」	件数
1	<p>県への意見・提案</p> <p>地域にもっと集える教室的なものを充実すべき。意見交換・聴取することで問題点や課題も見えてくる。それがその先の取組みにつながる。</p> <p>学習意欲のある人への、交流会等の開催。</p> <p>各地域で働く外国人同士の交流の場・機会はあるのか。</p> <p>受入の際に、支援制度の提示等がわかればよい。</p> <p>出身国は関係なく支援してもらえるのか。どのくらい滋賀県に在住していれば支援の対象なのか。</p> <p>日本語教育事業について、広報を強化してほしい。</p> <p>各業種別で日本語(専門用語)学習を希望するか否か留学生にアンケート。希望があれば業種別に募集すると、進みたい業種がわかり学生も企業もマッチングしやすい。</p> <p>日本語研修の講師を企業に派遣してほしい。</p> <p>雇用後の就業者本人も含めた総合的なサポートをワンストップで、無料で相談できる窓口がほしい。できれば会社に訪問して面談してほしい。</p> <p>日本語習得も大切だが、互いの文化を理解しあえる機会を増やしてほしい。</p>	10
2	<p>制度整備の要望</p> <p>日本語の熟練具合によって、労働できる環境を提供すればよいと思う。日本語理解度が未熟でも特定技能へ移行できる環境はおかしいと思う。企業も外国人も日本語を理解する必要性が低いので、厳格化されれば指導も強化されるし、外国人も熱心に勉強するようになる</p> <p>技能実習資格者なら組合、特定技能資格者及びその他の在留資格者は各々の労働者区分で日本語を学ばばよいと思う。会社になんでも押し付けるのは間違っている。会社は慈善団体ではない。</p> <p>5年10年先の外国人材の増加数を想定して、早めの仕組みづくり。</p> <p>米国では無料で誰でも参加できる英会話クラスが充実。移民を積極的に国力として活用できる仕組みを望む。</p>	4
3	<p>事業者の現状</p> <p>勤務する外国籍の人の日本語力は問題ない。ただ、日本人の考え方で常識といわれる部分の感覚のズレが多いため、OJTで教育、指導している。</p> <p>派遣会社に頼っているのが現状。外国人の採用に関して、社会保険の取り扱いに悩まされている。今後、労働者不足が考えられ、正規での雇用について法整備を勉強していきたい。</p>	2

※記述内容の一部抜粋

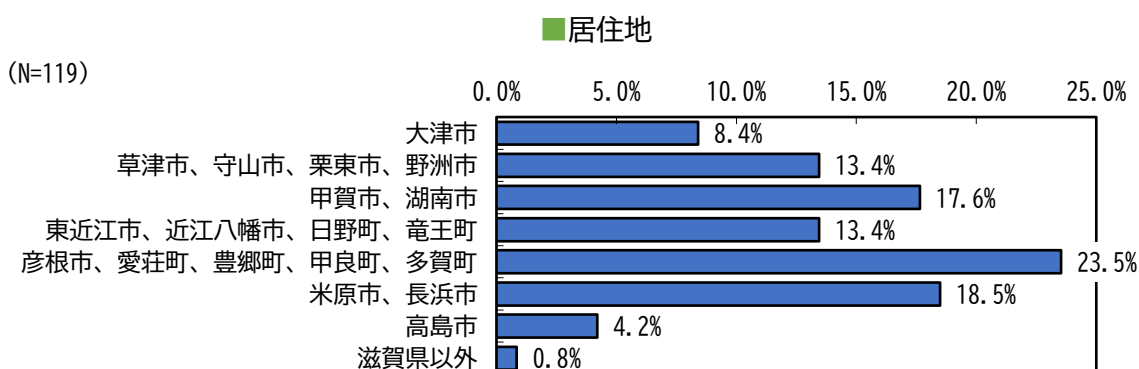
## 第7章 調査結果「F 外国人県民等」

### 1. 属性

#### (1) 居住地

問1 あなたはどこに住んでいますか。

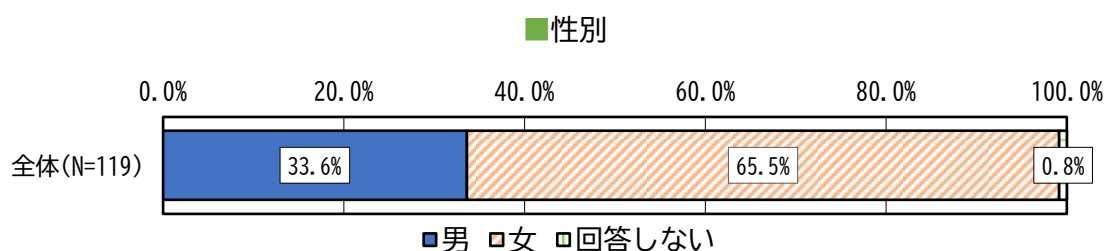
「彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町」(23.5%)が最も多く、次いで「米原市、長浜市」(18.5%)、「甲賀市、湖南市」(17.6%)となっている。



#### (2) 性別

問2 あなたの性別は次のどれですか。

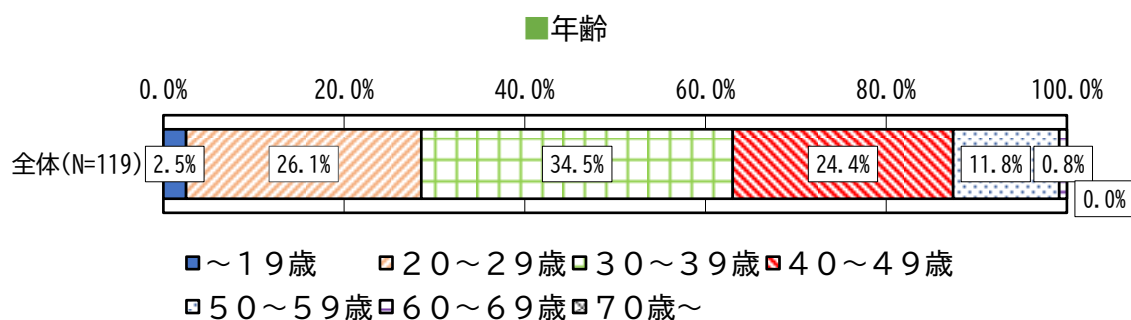
「男」が33.6%、「女」が65.5%、「回答しない」が0.8%となっている。



#### (3) 年齢

問3 あなたの年齢は次のどれですか。

「30～39歳」(34.5%)が最も多く、次いで「20～29歳」(26.1%)、「40～49歳」(24.4%)となっている。



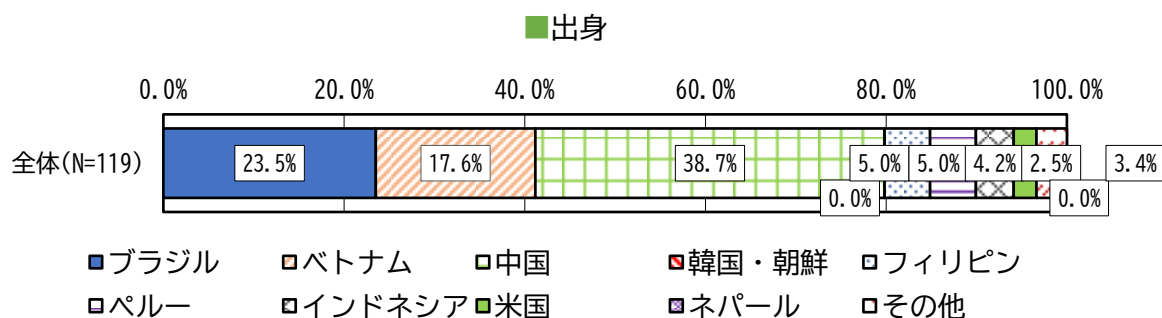


#### (4) 出身

問4 あなたの出身は次のどれですか。

「中国」(38.7%)が最も多く、次いで「ブラジル」(23.5%)、「ベトナム」(17.6%)となっている。

なお、「その他」について、「アルゼンチン」(スペイン語回答フォーム)、「ジンバブエ」「タイ」「バングラデシュ」(英語回答フォーム)との各1件の記述があった。

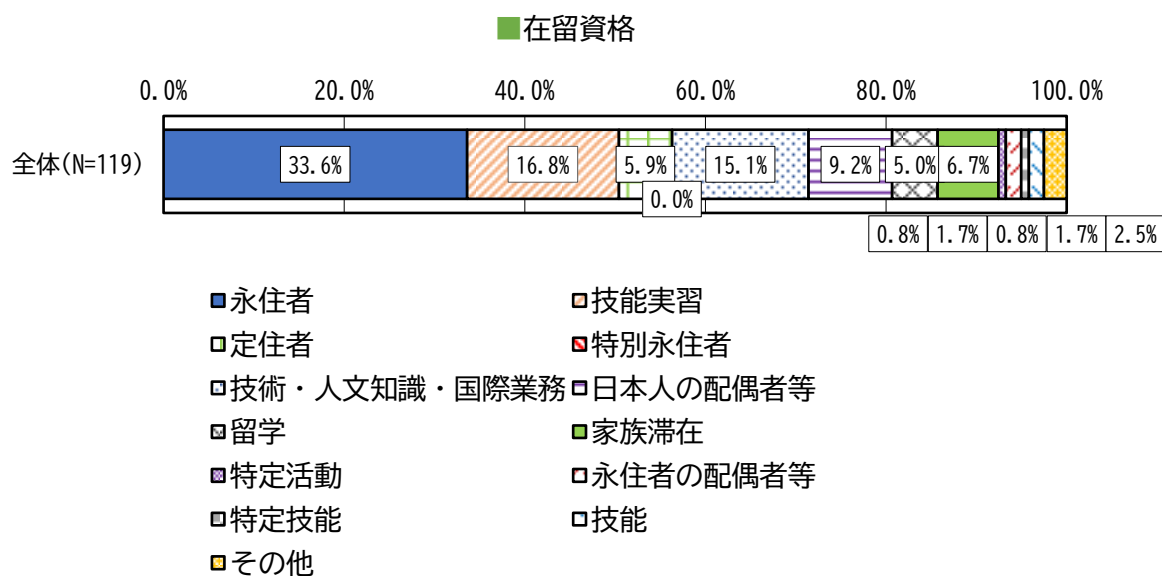


#### (5) 在留資格

問5 あなたの在留資格は次のどれですか。

「永住者」(33.6%)が最も多く、次いで「技能実習」(16.8%)、「技術・人文知識・国際業務」(15.1%)となっている。

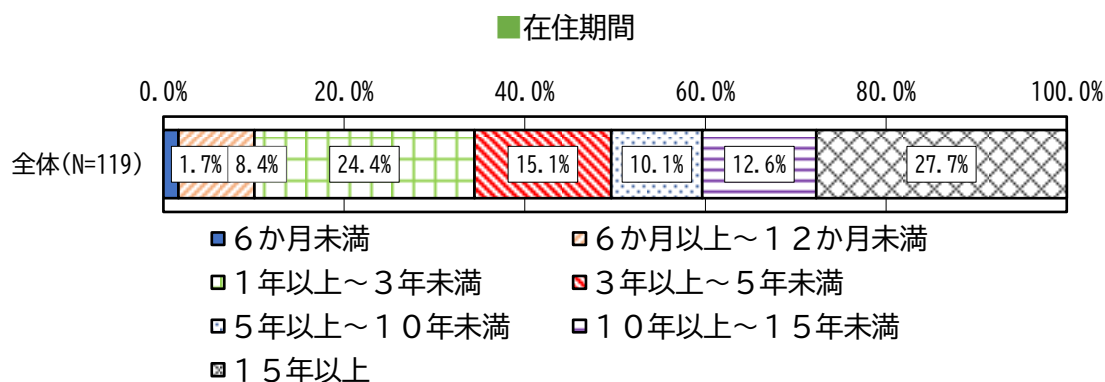
なお、「その他」について、「二重国籍」(日本語回答フォーム)、「離婚」(ポルトガル語回答フォーム)、「帰化」(中国語回答フォーム)との各1件の記述があった。



### (6) 在住期間

問6 あなたはどのくらい日本で生活していますか。

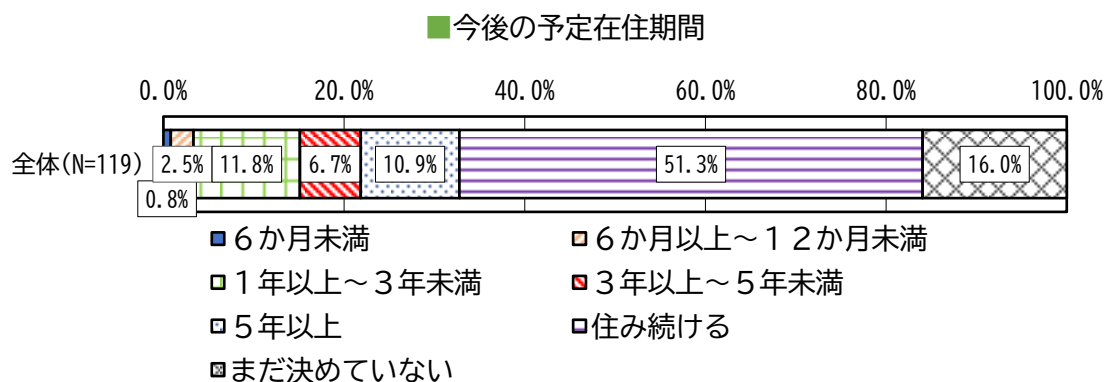
「15年以上」(27.7%)が最も多く、次いで「1年以上～3年未満」(24.4%)、「3年以上～5年未満」(15.1%)となっている。



### (7) 今後の予定在住期間

問7 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。

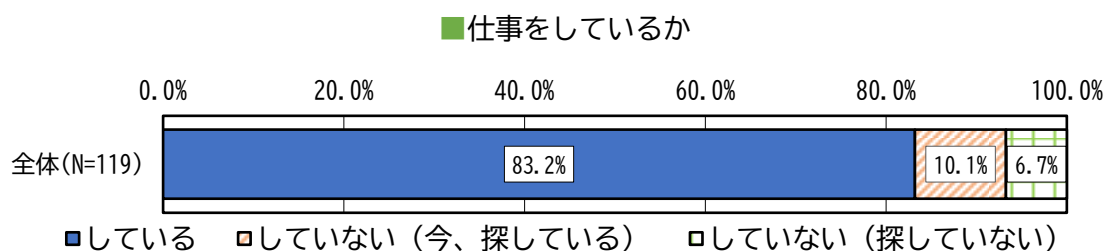
「住み続ける」(51.3%)が最も多く、次いで「まだ決めていない」(16.0%)、「1年以上～3年未満」(11.8%)となっている。



### (8) 仕事をしているか

問8 仕事をしていますか。

「している」が83.2%となっている。また、「していない(今、探している)」は10.1%となっている。

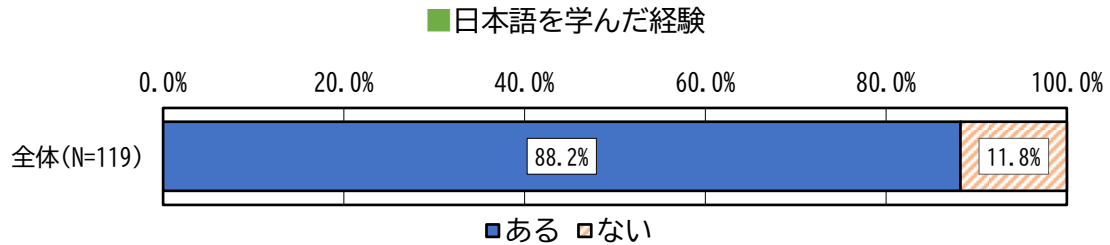


## 2. 日本語学習に関する項目

### (1) 日本語を学んだ経験

問9 あなたは日本語を学んだことがありますか。

「ある」が88.2%、「ない」が11.8%となっている。

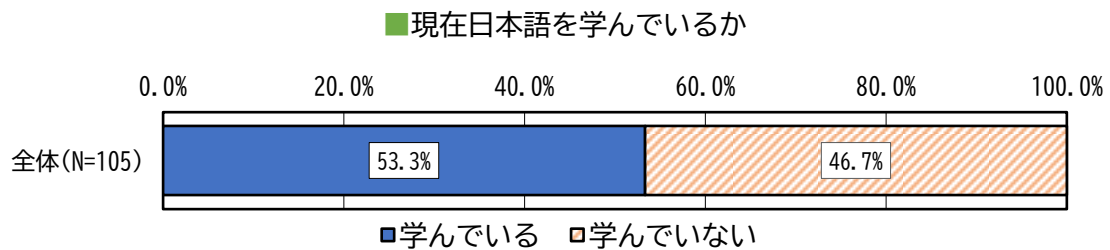


### (2) 現在日本語を学んでいるか

(問9で1と答えた方)

問10 あなたは、今、日本語を学んでいますか。

「学んでいる」が53.3%、「学んでいない」が46.7%となっている。



### (3) 日本語学習の方法

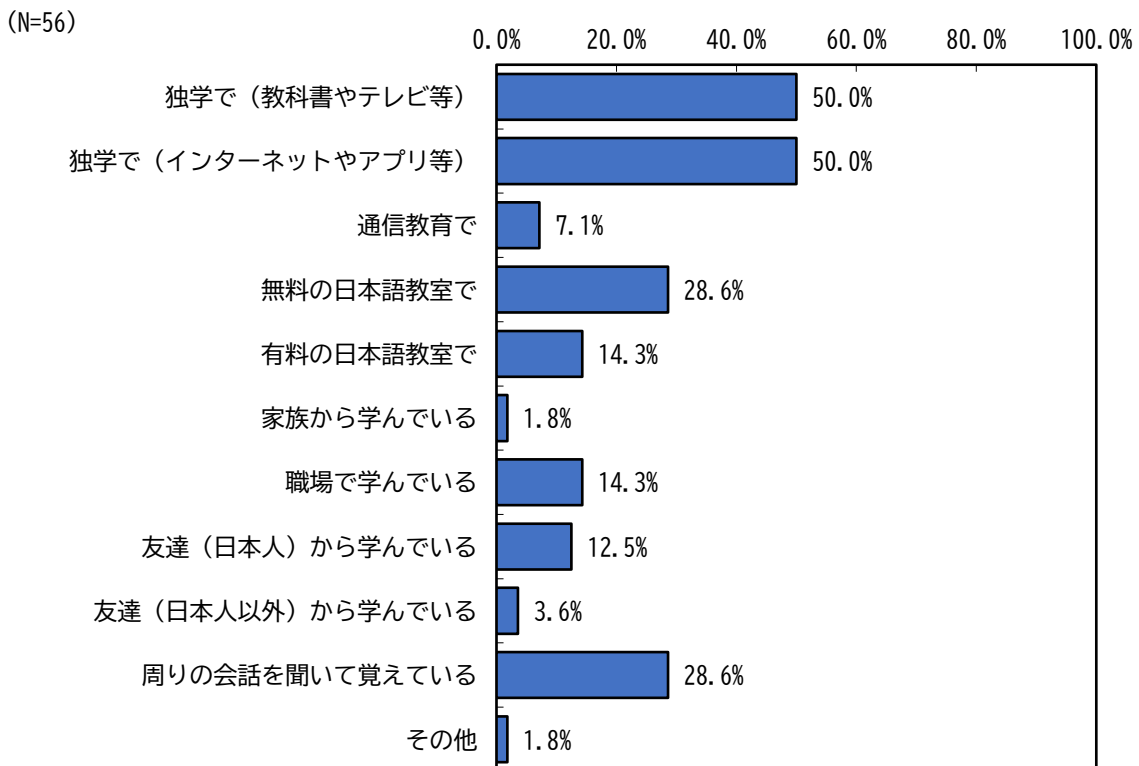
(問10で1と答えた方)

問11 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。(複数回答可)

「独学で(教科書やテレビ等)」「独学で(インターネットやアプリ等)」(ともに50.0%)が最も多く、次いで「無料の日本語教室で」「周りの会話を聞いて覚えている」(ともに28.6%)となっている。

なお、「その他」について、「中国の学校」(日本語回答フォーム)との1件の記述があった。

■日本語学習の方法(複数回答)



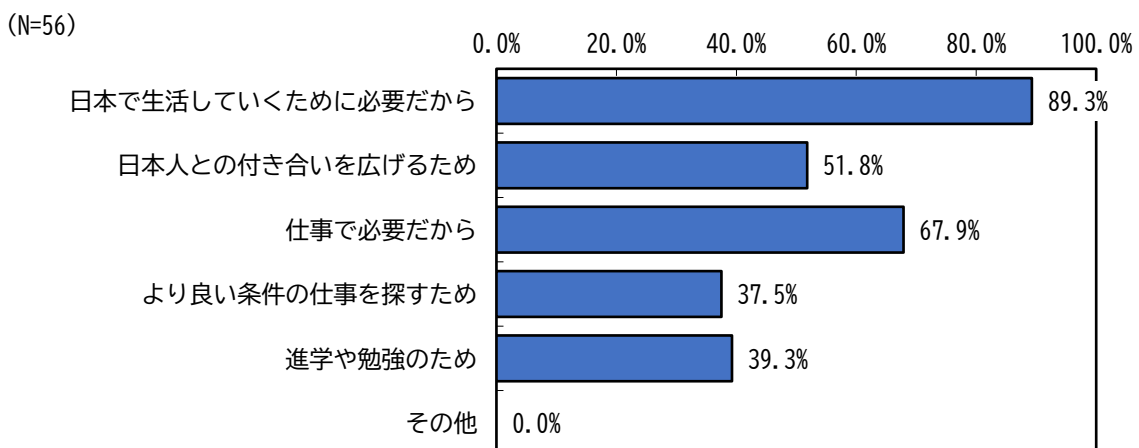
### (4) 日本語を学ぶ目的

(問10で1と答えた方)

問12 あなたは何のために日本語を学んでいますか。(複数回答可)

「日本で生活していくために必要だから」(89.3%)が最も多く、次いで「仕事で必要だから」(67.9%)、「進学や勉強のため」(39.3%)となっている。

■日本語を学ぶ目的(複数回答)



### (5) 現在日本語を学んでいない理由

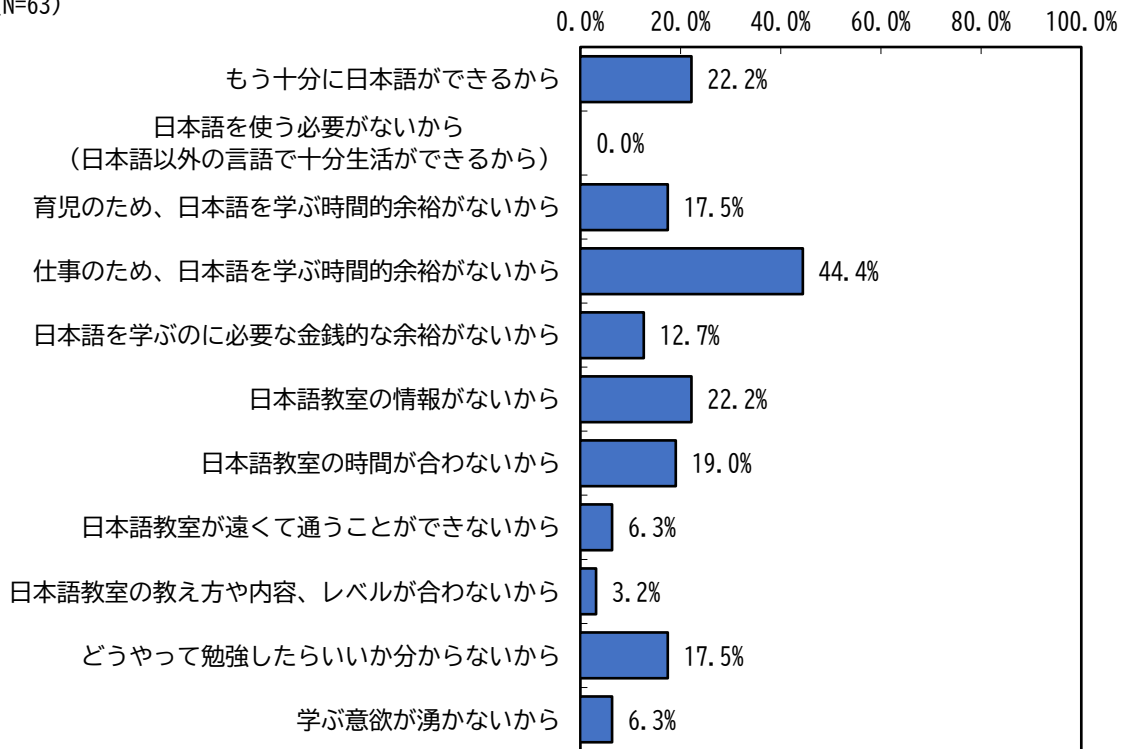
(問9で2と答えた方、問10で2と答えた方)

問13 現在日本語を学んでいないのはなぜですか。(複数回答可)

「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」(44.4%)が最も多く、次いで「もう十分に日本語ができるから」「日本語教室の情報がないから」(ともに22.2%)となっている。

■現在日本語を学んでいない理由(複数回答)

(N=63)



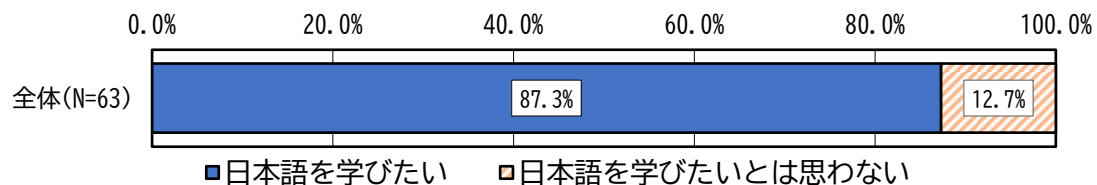
### (6) 日本語学習の希望

(問9で2と答えた方、問10で2と答えた方)

問14 日本語を学びたいですか。

「日本語を学びたい」が87.3%となっている。

■日本語学習の希望



### (7) どのような環境があれば日本語を学びたいか

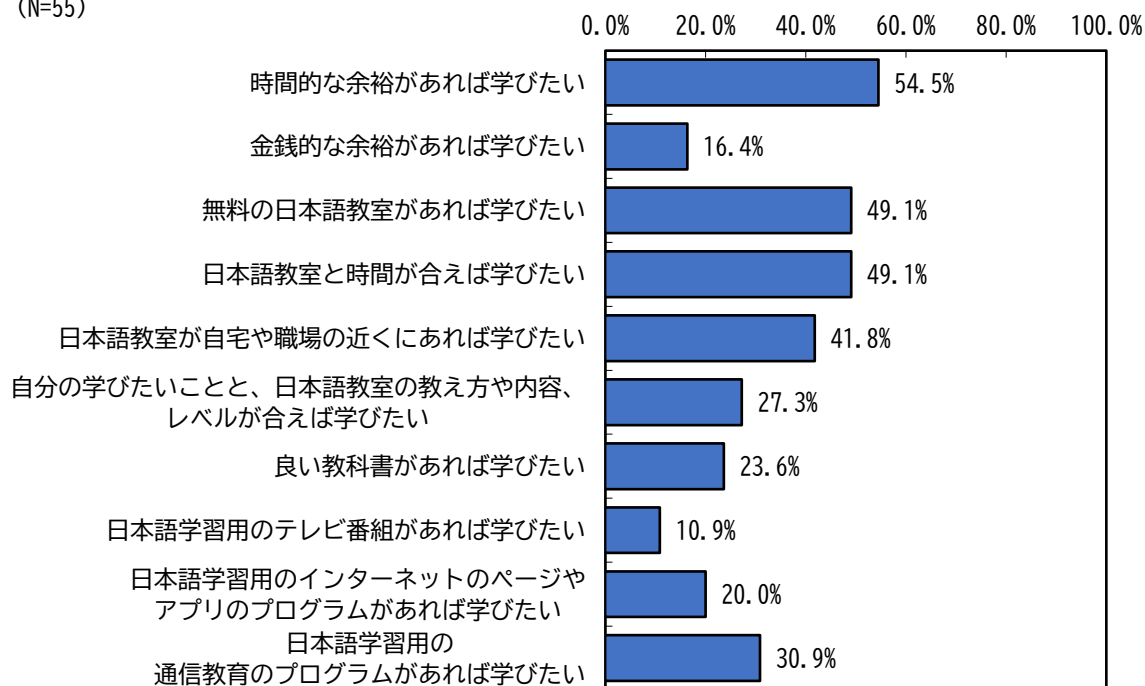
(問14で1と答えた方)

問15 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。(複数回答可)

「時間的な余裕があれば学びたい」(54.5%)が最も多く、次いで「無料の日本語教室があれば学びたい」「日本語教室と時間が合えば学びたい」(ともに49.1%)となっている。

#### ■ どのような環境があれば日本語を学びたいか (複数回答)

(N=55)



### (8) 日本語を学びたい場所

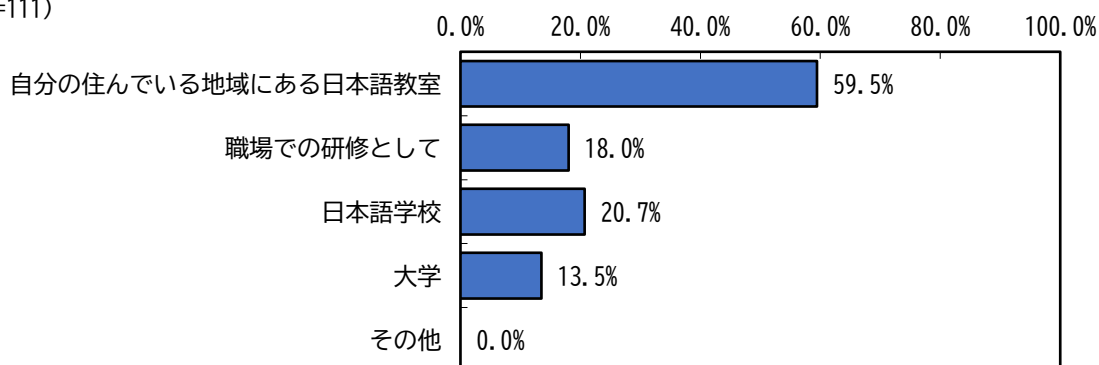
(問10で1と答えた方、問14で1と答えた方)

問16 どのような場所で日本語を学びたいですか。

「自分の住んでいる地域にある日本語教室」(59.5%)が最も多く、次いで「日本語学校」(20.7%)、「職場での研修として」(18.0%)となっている。

#### ■ 日本語を学びたい場所 (複数回答)

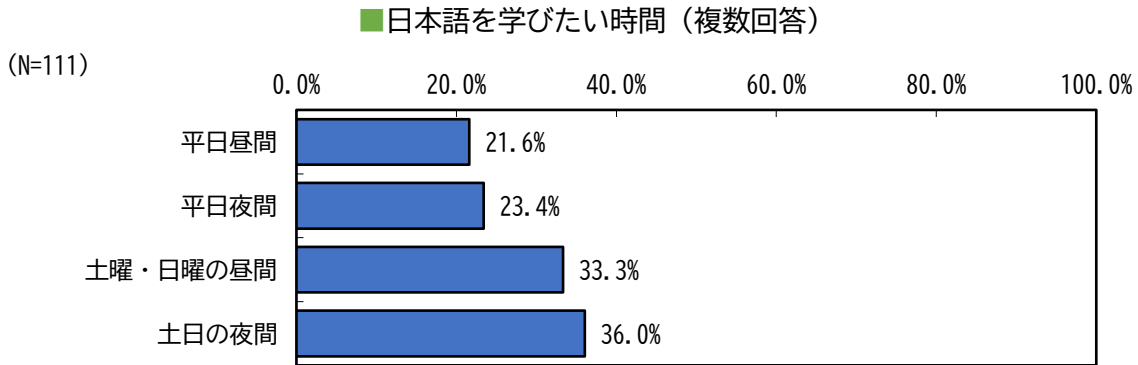
(N=111)



### (9) 日本語を学びたい時間

(問10で1と答えた方、問14で1と答えた方)  
問17 どのような時間に日本語を学びたいですか。

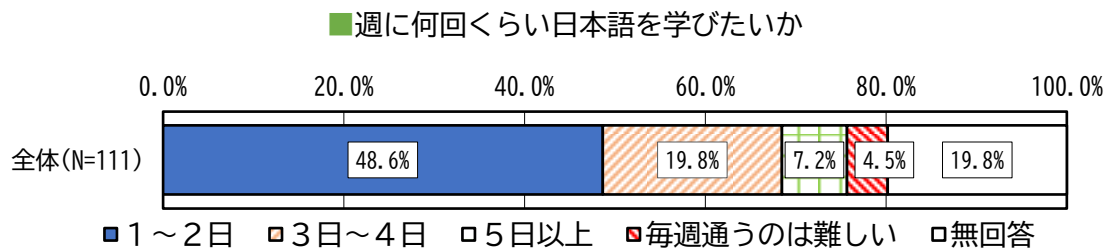
「土日の夜間」(36.0%)が最も多く、次いで「土曜・日曜の昼間」(33.3%)、「平日夜間」(23.4%)となっている。



### (10) 週に何回くらい日本語を学びたいか

(問10で1と答えた方、問14で1と答えた方)  
問18 1週間に何回くらい通いたいですか。

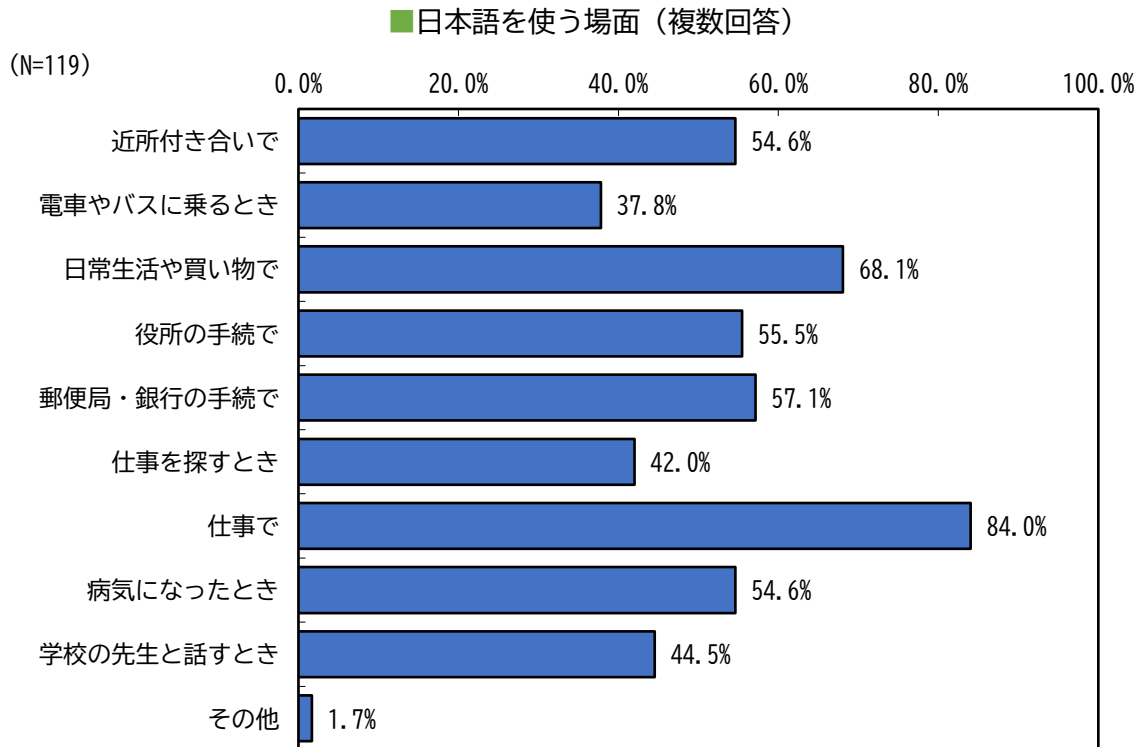
「1～2日」(48.6%)が最も多く、次いで「3日～4日」(19.8%)、「5日以上」(7.2%)となっている。



## (11) 日本語を使う場面

問19 次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。（複数回答可）

「仕事で」（84.0%）が最も多く、次いで「日常生活や買い物で」（68.1%）、「郵便局・銀行の手続きで」（57.1%）となっている。



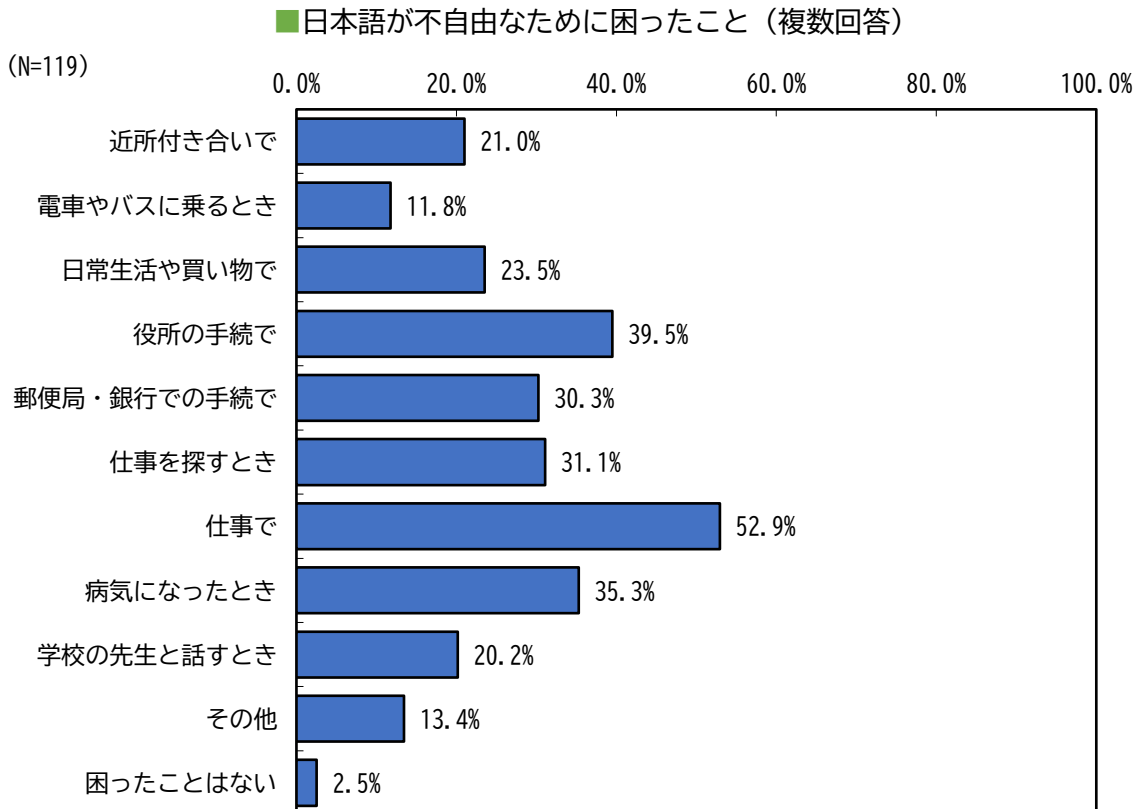


## (12) 日本語が不自由なために困ったこと

問 20 次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。最近1年間に困った経験があるものを選んでください。（複数回答可）

「仕事で」（52.9%）が最も多く、次いで「役所の手続き」（39.5%）、「病気になったとき」（35.3%）となっている。

なお、「その他」について、「ときどき日常生活で」（ポルトガル語回答フォーム）との1件の記述があった。



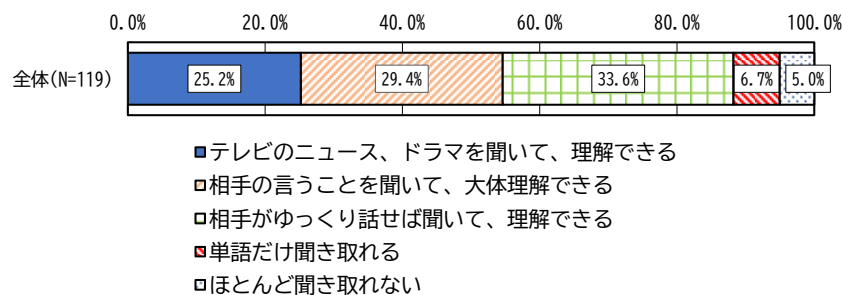
### 3. 日本語能力に関する項目

#### (1) 日本語能力

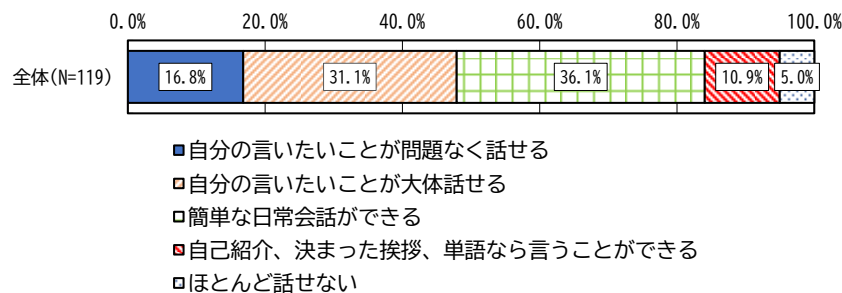
問21 あなたは日本語がどのくらいできますか。

[聞く] 能力では「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」(33.6%)が、[話す] 能力では「簡単な日常会話ができる」(36.1%)が、[読む] 能力では「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」(24.4%)が、[書く] 能力では「職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる」(37.0%)がそれぞれ最も多い。

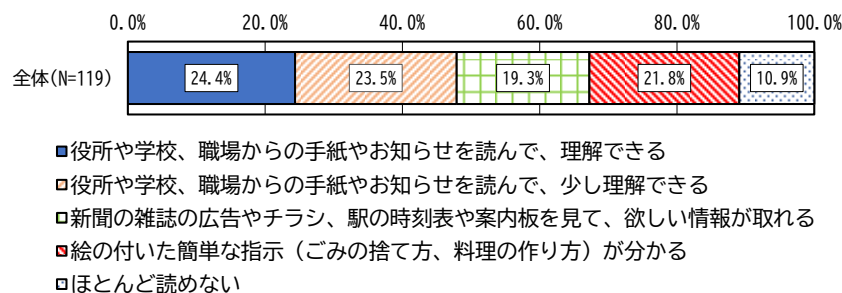
##### ■日本語能力 [聞く]



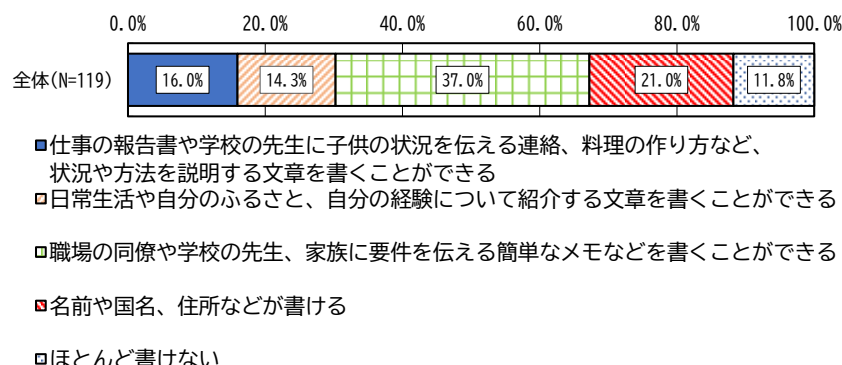
##### ■日本語能力 [話す]



##### ■日本語能力 [読む]



##### ■日本語能力 [書く]



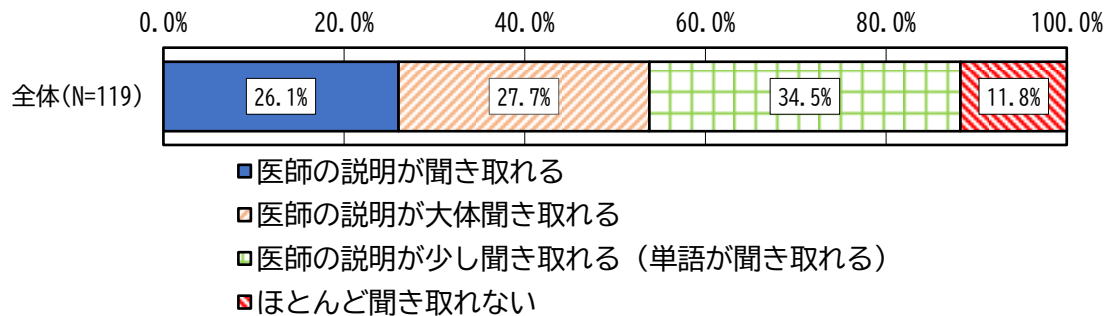
(2-1) 病気になった際に病院での日本語コミュニケーション

問22 それぞれの場面で、日本語がどれくらいできますか。

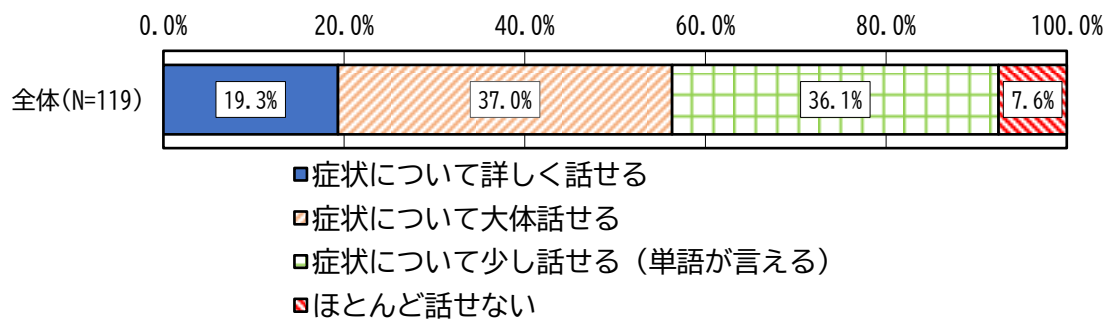
①病気になったときに、病院で

〔聞く〕場面では「医師の説明が少し聞き取れる」(34.5%)が、〔話す〕場面では「症状について大体話せる」(37.0%)が、〔読む〕場面では「問診票が読める」(27.7%)が、〔書く〕場面では「問診票が書ける」(35.3%)がそれぞれ最も多い。

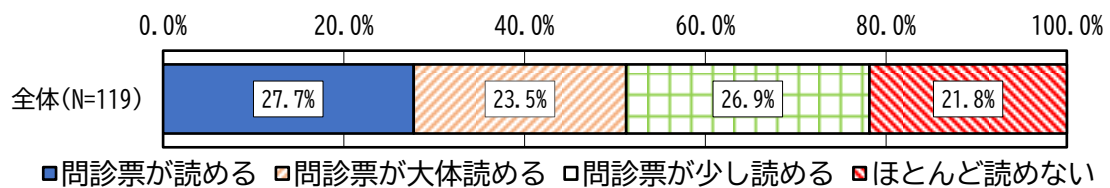
■病気になった際に病院での日本語コミュニケーション〔聞く〕



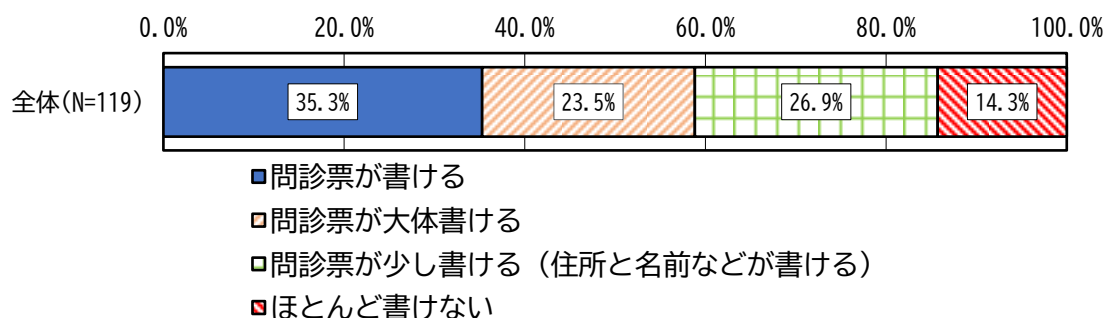
■病気になった際に病院での日本語コミュニケーション〔話す〕



■病気になった際に病院での日本語コミュニケーション〔読む〕



■病気になった際に病院での日本語コミュニケーション〔書く〕



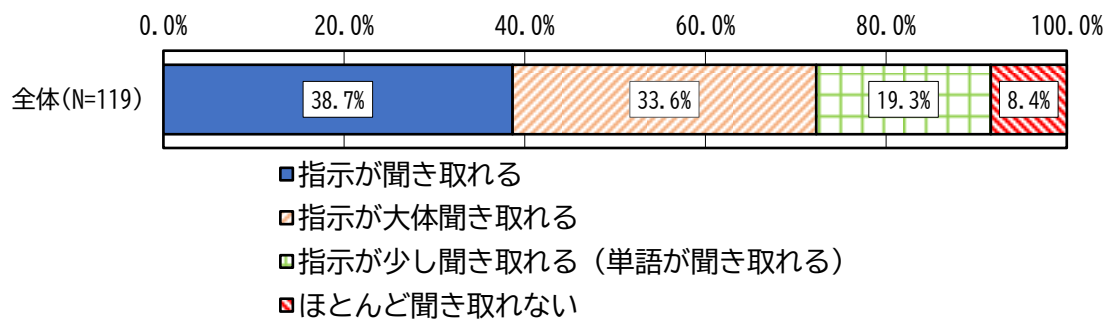
## (2-2) 職場での日本語コミュニケーション

問23 それぞれの場面で、日本語がどれくらいできますか。

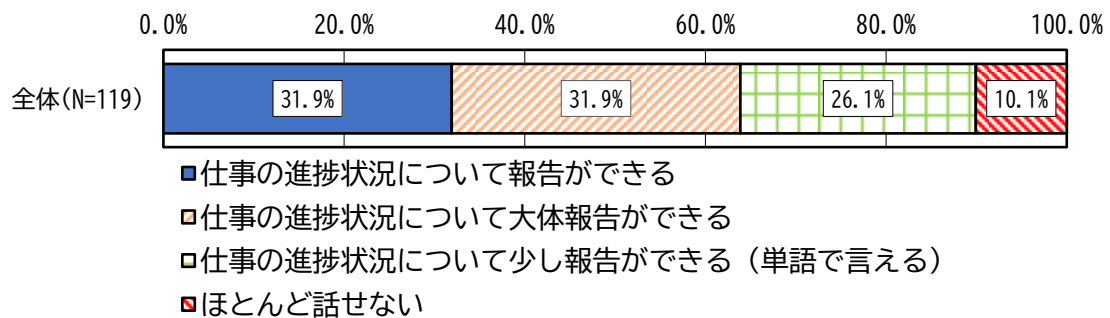
②職場で

〔聞く〕場面では「指示が聞き取れる」(38.7%)が、〔話す〕場面では「仕事の進捗状況について報告ができる」「仕事の進捗状況について大体報告ができる」(ともに31.9%)が、〔読む〕場面では「作業指示書が読める」「作業指示書が大体読める」(29.4%)が、〔書く〕場面では「仕事の報告書が少し書ける」(31.1%)がそれぞれ最も多い。

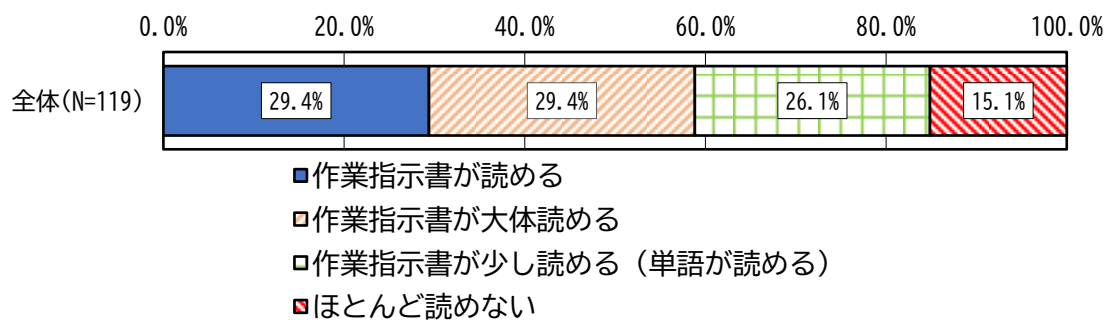
■ 職場での日本語コミュニケーション〔聞く〕



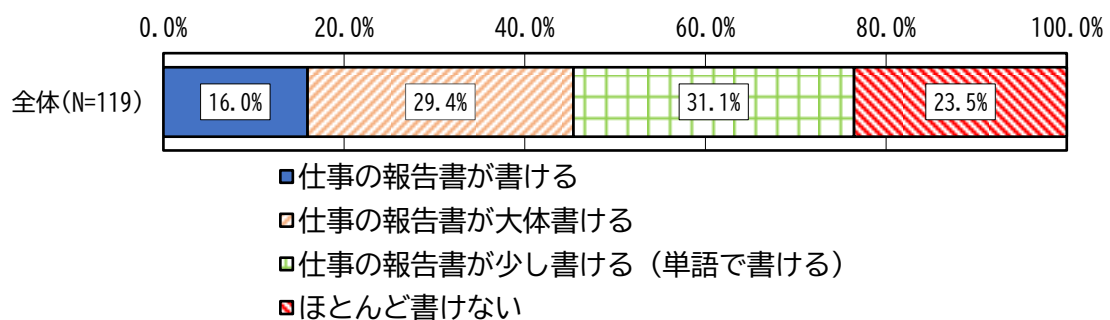
■ 職場での日本語コミュニケーション〔話す〕



■ 職場での日本語コミュニケーション〔読む〕



■ 職場での日本語コミュニケーション〔書く〕



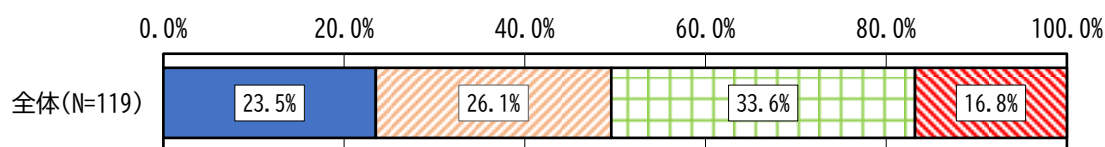
### (2-3) 役所の手続きにおける日本語コミュニケーション

問24 それぞれの場面で、日本語がどれくらいできますか。

#### ③役所の手続きで

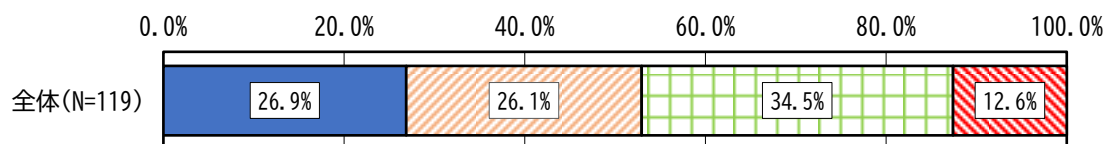
「聞く」場面では「手続きの内容について少し聞き取れる」(33.6%)が、「話す」場面では「役所で要件を少し説明することができる」(34.5%)が、「読む」場面では「役所からの手紙が少し読める」(31.1%)が、「書く」場面では「住民票などの申請に必要な書類が漢字交じりで書ける」(37.8%)がそれぞれ最も多い。

#### ■役所の手続きにおける日本語コミュニケーション [聞く]



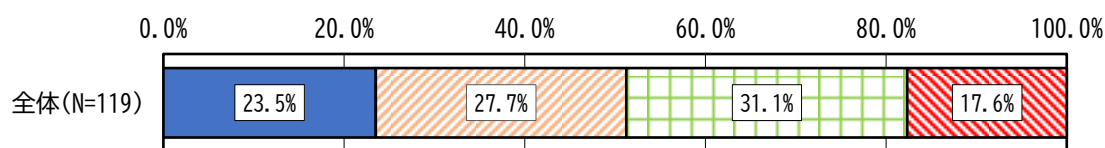
- 手続きの内容について聞き取れる
- 手続きの内容について大体聞き取れる
- 手続きの内容について少し聞き取れる
- ほとんど聞き取れない

#### ■役所の手続きにおける日本語コミュニケーション [話す]



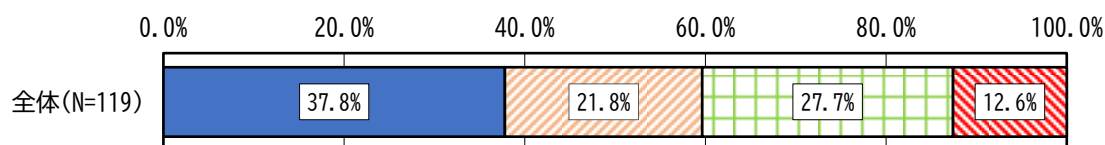
- 役所で要件を説明することができる
- 役所で要件を大体説明することができる
- 役所で要件を少し説明することができる(単語で言える)
- ほとんど話せない

#### ■役所の手続きにおける日本語コミュニケーション [読む]



- 役所からの手紙が読める
- 役所からの手紙が大体読める
- 役所からの手紙が少し読める(単語が分かる)
- ほとんど読めない

#### ■役所の手続きにおける日本語コミュニケーション [書く]



- 住民票などの申請に必要な書類が漢字交じりで書ける
- 住民票などの申請に必要な書類が仮名で書ける
- 住民票などの申請に必要な書類が名前と住所が仮名で書ける
- ほとんど書けない

# 参考資料「調査票」

## A 市町用調査票

問3 貴市町における日本語教育に関する事業（学校教育課程外）の財源。（複数回答可）

- 1 自主財源
- 2 県からの交付金
- 3 国からの委託
- 4 国からの補助金
- 5 その他（ ）

【回答欄：問3（複数回答可）】

--	--	--	--

【回答欄：問3「5 その他」(自由記述)】

問4 貴市町における日本語教育に関する事業（学校教育課程外）の予算規模。

- 1 ～50万円
- 2 51万円～100万円
- 3 101万円～300万円
- 4 301万円～500万円
- 5 501万円以上

【回答欄：問4（単数回答）】

【実施体制】

問5 貴市町には日本語教育コーディネーター、もしくはそのような業務を担当されている方はいますか。

- 1 日本語教育コーディネーターがいる。
- 2 日本語教育コーディネーターではないが、類似業務を担当しているものがある。
- 3 いない

【回答欄：問5（単数回答）】

問6 問5で1、2と回答された方にお聞きします。業務の内容を教えてください。（複数回答可）

- 1 日本語教育プログラムの策定・実施・運営および改善
- 2 日本語学習支援者に対する指導・助言
- 3 日本語学習支援者との学習者のマッチング
- 4 日本語学習支援者の養成や研修の企画・実施等
- 5 他団体との連携や協働を図る活動

【回答欄：問6（複数回答可）】

--	--	--	--

## 滋賀県地域日本語教育実態調査 A 市町用調査票

- 【回答の方法】
- それぞれの質問の下に、回答欄を設定してありますので、それぞれ入力をお願いします。
  - 数字選択式の質問は、回答欄に、あてはまる選択肢の数字を入力してください。
  - 選択肢「その他」などの自由記述を選んだ方は、回答欄に、具体的な内容を入力してください。
  - わかりにくい用語については、調査票ファイルの最後に、用語の定義について掲載しています。
  - この調査票ファイルでは、令和3年11月1日現在の内容でお答えください。

【回答者の属性】  
最初に、回答される方についてご記入をお願いします。

1. 機関・団体名	
2. 担当部署	
3. 回答者氏名	
4. 連絡先	
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	

【日本語教育事業の実施状況】

問1 貴市町において、行政として外国人住民に対する日本語教育に関連した事業を実施していますか。

- 1 実施している
- 2 実施していない

【回答欄：問1（単数回答）】

問2

問1で1（実施している）と回答された方にお聞きします。貴市町では、令和3年度に、日本語教育に関し、どのような事業を実施していますか。（教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く。）（複数回答可）

- 1 日本語教室の開催（委託事業含む）
- 2 地域の日本語教室への助成（補助金交付）
- 3 日本語教室への会場の無償提供や無償制度の実施
- 4 日本語教師、日本語学習支援者の養成講座・研修等の実施
- 5 日本語学習支援者（日本語ボランティア）として活動したい方の登録制度
- 6 日本語教室へのアドバイザーの派遣
- 7 オリジナルの日本語学習教材の作成や無料配布
- 8 オリジナルの日本語学習用のテキストや教材の貸出
- 9 その他（ ）

【回答欄：問2（複数回答可）】

--	--	--	--

【回答欄：問2「9 その他」(自由記述)】

問7  
日本語教育に関して他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NP0、日本語学校、日本語教室等）と連携、交流を行っていますか。

1 連携・交流している  
(連携先 )  
(連携内容 )

2 連携していない

【回答欄：問7（単数回答）】

【回答欄：問7「1 連携・交流している」連携先（自由記述）】

【回答欄：問7「1 連携・交流している」連携内容（自由記述）】

【役割についての考え】

問8  
在任外国人に対する日本語教育における市町の役割にはどのようなものがあると考えますか。  
【複数回答可】

1 日本語教室の設置（直営または委託）  
2 教室を設置する団体等への助成金や補助金の交付  
3 教室を設置する団体等への運営サポート（広報、会場確保、指導者の紹介等）  
4 学習希望者への教室や学習方法の紹介  
5 日本語教室を運営する人材（日本語教師、学習支援者の養成）  
6 その他（ ）

【回答欄：問8（複数回答可）】

【回答欄：問8「6 その他」（自由記述）】

問9  
地域の日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。（複数回答可）

1 外国人住民の日常生活に必要な日本語能力の習得  
2 外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語能力の習得  
3 外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得  
4 外国人住民の居場所づくり  
5 日本人住民と外国人住民の交流  
6 日本人住民の地域活動参加の機会提供  
7 その他（ ）

【回答欄：問9（複数回答可）】

【回答欄：問9「7 その他」（自由記述）】

【課題、ニーズ等】

問10  
地域の日本語教室の運営者からの相談にはどのようなものがありますか。（複数回答可）

1 生徒の募集や告知方法がわからない  
2 広報をしてほしい  
3 外国人の学習ニーズを知りたい  
4 学習プログラム（教室運営、講座内容）の作成方法を知りたい  
5 どのような教材を使えばいいのかわかりたい  
6 日本語教師や日本語学習支援者が不足している  
7 助成金や補助金について知りたい  
8 会場がない  
9 その他（ ）  
10 特に相談はない

【回答欄：問10（複数回答可）】

【回答欄：問10「9 その他」（自由記述）】

問11  
外国人住民（大人）からの日本語教育に関する相談にはどのようなものがありますか。  
【複数回答可】

1 日本語教室に通いたいが、どこにどんな教室があるのかわからない  
2 挨拶等の基本的な日本語のコミュニケーションを学びたい  
3 日本語の読み書きを学びたい  
4 日本語能力試験の勉強をしたい  
5 個人的に日本語を覚えてくれる人を紹介してほしい  
6 就職のための日本語を学びたい  
7 その他（ ）  
8 日本語教育に関する相談はあまり聞いたことがない

【回答欄：問11（複数回答可）】

【回答欄：問11「7 その他」（自由記述）】



問 12 貴市町における日本語教育の問題点・課題にどのようなものがあると考えますか。(複数回答可)

- 1 日本語教室がない
- 2 日本語教室が不足している
- 3 日本語教育コーディネーターがいらない(日本語教育について施策立案できる人材がいらないため、日本語教育コーディネーターや日本語学習プログラムの作成方法等が分からない)
- 4 日本語教室の運営方法や日本語教育に対するニーズが把握できていない
- 5 外国人住民の日本語教育に対するニーズが把握できていない
- 6 市町、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会、学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない
- 7 日本語教育を実施する関係機関の連携ができていない
- 8 日本語教育にかかる予算を確保できない、または十分に確保できない
- 9 その他( )
- 10 特になし

【回答欄：問 12 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問 12 「8 その他」(自由記述)】

問 13 貴市町として教室の開設(増設)の必要性と今後の予定について教えてください。

- 1 開設(増設)する必要性を認識しており、その予定もある(検討している)
- 2 開設(増設)する必要性を認識していないが、その予定がある(検討している)
- 3 開設(増設)する必要性は認識していないが、その予定はない
- 4 開設(増設)する必要性は認識しておらず、その予定もない

【回答欄：問 13 (単数回答)】

問 14 貴市町が教室開設(増設)を検討すると仮定した場合の課題は何ですか。(複数回答可)

- 1 開設(増設)するためのノウハウがない
- 2 開設(増設)に必要な人材(指導者等)がいらない
- 3 外国人住民のニーズが把握できていない
- 4 開設(増設)に必要な予算が確保できない
- 5 その他( )

【回答欄：問 14 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問 14 「5 その他」(自由記述)】

問 15 今後の貴市町における日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からのどのような支援があるかと考えていますか。(複数回答可)

- 1 日本語教室の企画・立案
- 2 関係団体等とのネットワーク
- 3 日本語学習ニーズの把握
- 4 日本語能力の把握
- 5 日本語指導者の募集・育成
- 6 外国人への教室の周知
- 7 日本語教材の選定・活用方法
- 8 外国人日本語教育施策・法律の照会
- 9 ICT・通信教育等教室以外の学習機会の提供
- 10 他教室等の先行事例等の紹介
- 11 財政的支援・外部資金の情報提供
- 12 その他( )

【回答欄：問 15 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問 15 「12 その他」(自由記述)】

問 16 その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。(自由記述)

【回答欄：問 16 (自由記述)】

日本語教室を直営で開催されている市町はC日本語教室用の調査票への回答もお願いします。



滋賀県地域日本語教育実態調査 B 国際交流協会用

【回答の方法】

- それぞれの質問の下に、回答欄を設定しておりますので、それぞれ入力をお願いいたします。
- 数字選択式の質問は、回答欄に、あてはまる選択肢の数字を入力してください。
- 選択肢「その他」などの自由記述を選んだ方は、回答欄に、具体的な内容を入力してください。
- わかりにくい用語については、調査票ファイルの最後に、用語の定義について掲載しています。
- この調査票ファイルでは、令和3年11月1日現在の内容でお答えください。

【回答者の属性】

最初に、回答される方についてご記入をお願いします。

1. 機関・団体名	
2. 担当部署	
3. 回答者氏名	
4. 連絡先	
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	

【日本語教育事業の実施状況】

問1

貴団体では、令和3年度に日本語教育に関し、どのような事業を実施していますか。(一時休止中も含む。)(複数回答可)

(教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く。)

- 1 日本語教室の開催
- 2 地域の日本語教室への助成金の交付
- 3 日本語学習支援者の養成講座・研修等の実施
- 4 日本語教室へのアドバイザーの派遣
- 5 その他 ( )
- 6 実施していない

【回答欄：問1 (複数回答可)】

--	--	--	--	--

【回答欄：問1「5 その他」(自由記述)】

--

B 国際交流協会用調査票

問2

貴団体における日本語教育に関する事業(学校教育課程外)の財源。(複数回答可)

- 1 自主財源
- 2 市町からの委託
- 3 市町からの補助金
- 4 国からの委託
- 5 国からの補助金
- 6 外部団体等からの助成金
- 7 会員会費
- 8 企業などからの寄付
- 9 その他 ( )

【回答欄：問2 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問2「9 その他」(自由記述)】

--

問3

貴団体における日本語教育に関する事業(学校教育課程外)の予算規模。

- 1 1~50万円
- 2 51万円~100万円
- 3 101万円~300万円
- 4 301万円~500万円
- 5 501万円以上

【回答欄：問3 (単数回答)】

--

問4

日本語教育に関して他の団体(県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等)と連携・交流を行っていますか。

- 1 連携・交流している

(連携先 )

(連携内容 )

- 2 連携していない

【回答欄：問4 (単数回答)】

--

【回答欄：問4「1 連携・交流している」連携先 (自由記述)】

--

【回答欄：問4「1 連携・交流している」連携内容 (自由記述)】

--

【課題、ニーズ等】

問5

地域の日本語教室の運営者からの相談にはどのようなものがありますか。(複数回答可)

- 1 生徒の募集や告知方法がわからない
- 2 広報をしてほしい
- 3 外国人の学習ニーズを知りたい
- 4 学習プログラム(教室運営、講義内容)の作成方法を知りたい
- 5 どのような教材を使えばいいのかわかりたい
- 6 日本語教師や日本語学習支援者が不足している
- 7 助成金や補助金について知りたい
- 8 会場がない
- 9 その他( )
- 10 特に相談はない

【回答欄：問5 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問5「9 その他」(自由記述)】

問6

外国人住民(大人)からの日本語教育に関する相談にはどのようなものがありますか。(複数回答可)

- 1 日本語教室に通いたいがいかが、どこにどんな教室があるのか分からない
- 2 挨拶等の基本的な日本語のコミュニケーションを学びたい
- 3 日本語の読み書きを学びたい
- 4 日本語能力試験の勉強をしたい
- 5 個人的に日本語を教えてくれる人を紹介してほしい
- 6 就職のための日本語を学びたい
- 7 その他( )
- 8 日本語教育に関する相談はあまり聞いたことがない

【回答欄：問6 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問6「7 その他」(自由記述)】

問7

貴団体が活動される市町における日本語教育の問題点・課題にはどのようなものがあると考えますか。(複数回答可)

- 1 日本語教室がない
- 2 日本語教室が不足している
- 3 日本語教育コーディネーターがいらない(日本語教育について施設立案できる人材がいらないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない)
- 4 外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない
- 5 市町、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会、学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない
- 6 日本語教育を実施する関係機関の連携ができていない
- 7 日本語教育にかかるとする予算を確保できない、または十分に確保できない
- 8 その他( )
- 9 特にない

【回答欄：問7 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問7「8 その他」(自由記述)】

問8

貴団体として教室の開設(増設)の必要性と今後の予定について教えてください。

- 1 開設(増設)する必要性を認識しており、その予定もある(検討している)
- 2 開設(増設)する必要性を認識していないが、その予定がある(検討している)
- 3 開設(増設)する必要性は認識しているが、その予定はない
- 4 開設(増設)する必要性は認識しておらず、その予定もない

【回答欄：問8 (単数回答)】

問9

地域の日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。(複数回答可)

- 1 外国人住民の日常生活に必要な日本語能力の習得
- 2 外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語能力の習得
- 3 外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得
- 4 外国人住民の居場所づくり
- 5 日本人住民と外国人住民の交流
- 6 日本人住民の地域活動参加の機会提供
- 7 その他( )

【回答欄：問9 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問9「7 その他」(自由記述)】

問 10

今後の貴団体における日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのような支援があるかとよいと考えていますか。(複数回答可)

- |    |                       |
|----|-----------------------|
| 1  | 日本語教室の企画・立案           |
| 2  | 関係団体等とのネットワーキング       |
| 3  | 日本語学習ニーズの把握           |
| 4  | 日本語能力の把握              |
| 5  | 日本語教師の募集・育成           |
| 6  | 外国人への教室の周知            |
| 7  | 日本語教師の選定・活用方法         |
| 8  | 国の日本語教育施策・法律の紹介       |
| 9  | ICT・通信教育等教室以外の学習機会の提供 |
| 10 | 他教室等の先行事例等の照会         |
| 11 | 財政的支援・外部資金の情報提供       |
| 12 | その他( )                |

【回答欄：問 10 (複数回答可)】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

【回答欄：問 10 「12 その他」(自由記述)】

--

問 11

その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。(自由記述)

【回答欄：問 11 (自由記述)】

--

日本語教室を開催されている国際交流協会はC日本語教室用の調査票への回答もお願いします。

C 日本語教室用調査票

問3 教室運営のための財源を教えてください。(複数回答可)

- 1 学習者からの参加費
- 2 主催団体の自主財源
- 3 参加ボランティアの拠出金
- 4 市町からの委託
- 5 市町からの補助金
- 6 国際交流協会からの助成金
- 7 外部団体等からの助成金
- 8 会費
- 9 企業などからの寄付
- 10 その他 ( )

【回答欄：問3 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問2「10 その他」(自由記述)】

問4 教室の年間運営費を教えてください。(おおよそで結構です)

【回答欄：問4 (自由記述)】

年間  円

問5 教室の定員はありますか。

【回答欄：問5 (単数回答)】

1 有 ( ) 人      2 無

【回答欄：問5 (単数回答)】

【回答欄：問5「1 有」定員数 (自由記述)】

人

問6 教室の開催曜日・時間を教えてください。

【回答欄：問6 (自由記述)】

曜日	時間

滋賀県地域日本語教育実態調査 C 日本語教室用

【回答の方法】

- それぞれの質問の下に、回答欄を設定してありますので、それぞれ入力をお願いします。
- 数字選択式の質問は、回答欄に、あてはまる選択肢の数字を入力してください。
- 選択肢「その他」などの自由記述を選んだ方は、回答欄に、具体的な内容を入力してください。
- わかりにくい用語については、調査票ファイルの最後に、用語の定義について掲載しています。
- この調査票ファイルでは、令和3年11月1日現在の内容でお答えください。

【日本語教室の概要について】

最初に、回答される方にご記入をお願いします。

1. 団体名	TEL/FAX
2. 連絡先住所	E-mail
	URL
3. 代表者氏名	
4. 調査票記入者氏名	
5. 教室名	
6. 教室の開催場所	

【教室の活動について】

問1 教室の主催団体を教えてください。

- 1 市町
- 2 国際交流協会
- 3 NPO法人
- 4 民間団体・ボランティアグループ
- 5 会社
- 6 その他 ( )

【回答欄：問1 (単数回答)】

【回答欄：問1「6 その他」(自由記述)】

問2 教室活動の目的について教えてください。(複数回答可)

- 1 外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得
- 2 外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得
- 3 外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得
- 4 外国人住民の居場所づくり
- 5 日本人住民と外国人住民の交流
- 6 日本人住民の地域活動参加の機会提供
- 7 その他 ( )

【回答欄：問2 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問2「7 その他」(自由記述)】

問7  
対象とする学習者について教えてください。  
1 誰でも参加できる  
2 参加条件がある (参加条件の内容: )  
【回答欄: 問7 (単数回答)】

【回答欄: 問7「2. 参加条件がある」参加条件の内容 (自由記述)】

問8  
問3で1 (学習者からの参加費) と回答した方にお聞きします。  
参加費はいくらですか。(自由記述)  
【回答欄: 問8 (自由記述)】  
1人当たり 円

問9  
学習者の募集方法を教えてください。(複数回答可)  
1 教室のインターネット媒体 (ウェブサイト、SNS等) 2 自治体の広報紙やHP  
3 国際交流協会の広報紙やHP 4 チラシ配布  
5 地域のコミュニティセンターなどでのチラシ設置 6 外国人がよく行くスーパーや飲食店などのチラシ設置  
7 外国人を雇用している企業等へのチラシ配布 8 学習者からの紹介  
9 口コミ 10 その他 ( )  
【回答欄: 問9 (複数回答可)】

【回答欄: 問9「10 その他」(自由記述)】

【日本語教育コーディネーターについて】  
問10  
貴教室には日本語教育コーディネーター、もしくはそのような業務を担当されている方はいますか。  
1 日本語教育コーディネーターがいる ( )人  
2 日本語教育コーディネーターではないが、類似業務を担当しているものがある ( )人  
3 いない  
【回答欄: 問10 (単数回答)】

【回答欄: 問10「1 日本語教育コーディネーターがいる」人数 (自由記述)】

人

【回答欄: 問10「2 類似業務を担当しているものがある」人数 (自由記述)】

人

問11  
問10で1、2と回答された方にお聞きします。  
どのような方が担当されていますか。(複数回答可)  
1 教室の代表者 2 日本語教育委員会の職員 (市、区、区民会、同法人、会社等)  
3 日本語教育有資格者 4 文化庁日本語教育コーディネーター研修修了者  
5 日本語学習支援者 6 その他 ( )  
【回答欄: 問11 (複数回答可)】

【回答欄: 問11「6 その他」(自由記述)】

問12  
業務の内容を教えてください。(複数回答可)  
1 日本語教育プログラムの策定・実施・運営および改善 2 日本語学習支援者に対する指導・助言  
3 日本語学習支援者との学習者のマッチング 4 日本語学習支援者の養成や研修の企画・実施等  
5 他団体との連携や協働を図る活動  
【回答欄: 問12 (複数回答可)】

【日本語教師、日本語学習支援者 (ボランティア) について】  
問13  
貴教室には、日本語教育有資格者はおられますか。(人数は分かれば御記載ください。)  
1 いる (〇)人、うち、有償〇人 2 いない  
3 分からない  
【回答欄: 問13 (単数回答)】

【回答欄: 問13「1 いる」有資格者数 (自由記述)】

人 うち、有償 人

問 14  
日本語学習支援者（ボランティア）登録者数を教えてください。（日本語教育有資格者除く）  
【回答欄：問 14（自由記述）】

人 うち、実質活動者数 人

問 15  
日本語学習支援者謝金を教えてください。  
1 有 2 無し  
3 その他（ ）  
【回答欄：問 15（単数回答）】

【回答欄：問 15「3 その他」（自由記述）】

問 16  
日本語学習支援者の年代として、多いと思う年代を上位5つまで多いと思う順に回答してください。  
1 1～20 歳代 2 30 歳代  
3 40 歳代 4 50 歳代  
5 60 歳代 6 70 歳代～  
7 不明  
【回答欄：問 16（複数回答）】

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
-----	-----	-----	-----	-----

問 17  
日本語学習支援者の経験年数として、多いと思う経験年数を上位5つまで多いと思う順に回答してください。  
1 1 年以下 2 2～5 年  
3 6～10 年 4 11～15 年  
5 16～20 年 6 21 年以上  
7 不明  
【回答欄：問 17（複数回答）】

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
-----	-----	-----	-----	-----

問 18  
日本語学習支援者の人材育成のために教室として行っていることがあれば教えてください。  
（複数回答可）  
1 研修の開催 2 市町や市町国際交流協会が開催する養成講座を活用  
3 びわこ日本語ネットワークが開催する養成講座を活用 4 その他（ ）  
5 実施していない  
【回答欄：問 18（複数回答可）】

問 19  
日本語学習支援者のスキルアップのためにあると望ましいと思うものはありますか。  
（複数回答可）  
1 スタッフ研修用の教材、マニュアル  
2 行政または国際交流協会主催の研修  
3 他団体等（他日本語教室、大学、日本語学校、専門家等）との連携や他団体等からの支援  
（例：情報共有、講師やアドバイザーの派遣など）  
4 その他（ ）  
5 特にない  
【回答欄：問 19（複数回答可）】

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

【回答欄：問 19「4 その他」（自由記述）】

問 20  
日本語学習支援者に求める能力や姿勢などについて教えてください。（複数回答可）  
1 日本語学習支援者の資格 2 日本語を教えた経験の豊富さ  
3 外国人や多文化共生についての知識 4 日本語以外の語学力  
5 外国人との信頼関係が築ける態度 6 熱心さ  
7 オンライン授業等に対応できる IT スキル 8 長期間継続して参加できること  
9 その他（ ） 10 特にない  
【回答欄：問 20（複数回答可）】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

【回答欄：問 20「9 その他」（自由記述）】

問 21  
日本語指導で困っていることはありませんか。  
（例）学習者の日本語レベルに格差があり、どのように指導してよいか分からない。ゼロ初級レベルの学習者への指導が難しい。など（自由記述）  
【回答欄：問 21（自由記述）】

【日本語学習者について】

問 22

日本語学習者数を教えてください。

【回答欄：問 22 (自由記述)】

\_\_\_\_\_人

問 23

待機者数を教えてください。

【回答欄：問 23 (自由記述)】

\_\_\_\_\_人

問 24

学習者の主な国籍を教えてください。(多いと思われるもの上位5つまで、多い順に分からない場合には、回答欄「分からない」に数字の0 (ゼロ) を入力してください。

【回答欄：問 24 (自由記述)】

順位	国籍
1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

【回答欄：問 24 「分からない」 (単数回答)】

\_\_\_\_\_

問 25

学習者の主な在留資格を教えてください。(多いと思われるもの上位3つまで、分からない場合には、回答欄「分からない」に数字の0 (ゼロ) を入力してください。

【回答欄：問 25 (自由記述)】

順位	在留資格
1位	
2位	
3位	

【回答欄：問 25 「分からない」 (単数回答)】

\_\_\_\_\_

問 26

学習者の国籍や年代、職業、人数の増減の傾向について特徴があれば教えてください。その理由として考えておられることがあればお聞かせください。(自由記述)

【回答欄：問 26 (自由記述)】

\_\_\_\_\_

問 27

貴教室の学習者の日本語レベルは日本語能力試験でいうと、どの程度ですか。(多いと思われるもの上位5つまで、多い順に)

各レベルの人数のおおよその割合を教えてください。(自由記述)

【回答欄：問 27 (自由記述)】

- 1 ほぼゼロ～N5 程度
- 2 N4 程度
- 3 N3 程度
- 4 N2 程度
- 5 N1 程度

【回答欄：問 27 「番号」 (複数回答可) 「割合」 (自由記述)】

順位	番号	割合
1位		%
2位		%
3位		%
4位		%
5位		%

【学習方法や内容について】

問 28

授業の形式を教えてください。(複数回答可)

【回答欄：問 28 (複数回答可)】

- 1 マンツーマン
- 2 グループレッスン
- 3 講義形式 (日本語学習支援者1人 対 生徒大勢)
- 4 交流・参加型 (イベント・対話形式)
- 5 その他 ( )

【回答欄：問 28 (複数回答可)】

_____	_____	_____	_____
【回答欄：問 28 「5 その他」 (自由記述)】			

問 29

貴教室での学習内容として、多いものを3つまで選んでください。

- 1 生活に必要な日本語
- 2 仕事に必要な日本語
- 3 学校での勉強に必要な日本語
- 4 日本人との交流
- 5 日本文化を学ぶ
- 6 日本語能力試験対策
- 7 その他 ( )

【回答欄：問 29 (複数回答可)】

--	--	--	--

【回答欄：問 29 「7」 その他】 (自由記述)

--

問 30

貴教室ではどのような教材を使用していますか。

- 1 教室として統一した使用テキストや教材がある
- 2 教室として統一したテキストや教材はないが、主に使っている教材はある。
- 3 主に担当する指導者 (ポランティア) が自分で選んで用意している
- 4 主に学習者が持ってきたものを使っている
- 5 その他 ( )

【回答欄：問 30 (単数回答)】

--

【回答欄：問 30 「5」 その他】 (自由記述)

--

【地域の日本語教室の役割についての考え】

問 31

地域の日本語教室の役割とはどのようなものだと思いますか。(複数回答可)

- 1 外国人が身近に日本語を学べる場
- 2 外国人と地域社会との接点となる場
- 3 外国人同士の情報交換の場
- 4 外国人と日本人の情報交換の場、外国人の情報収集の場
- 5 外国人が日本の文化を理解する場
- 6 外国人にとつての問題解決の場
- 7 外国人の居場所の提供
- 8 日本語教室のポランティアなどの活躍や経験を促す場
- 9 日本人が外国人の文化や生活を理解する場
- 10 外国人に対する「言語保証」としての日本語教育の場
- 11 その他 ( )

【回答欄：問 31 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--

【回答欄：問 31 「11」 その他】 (自由記述)

--

【課題、ニーズ】

問 32

日本語教室の運営で困っていることは何ですか。(複数回答可)

- 1 運営費用 (予算) の確保ができない
- 2 教室の会場の確保が難しい
- 3 日本語教育コーディネーターがいらない
- 4 日本語教師の不足、確保が困難
- 5 日本語学習支援者の不足、確保が困難
- 6 日本語教師、日本語学習支援者等の人材育成ができない
- 7 日本語教室の企画・運営方法がわからない
- 8 十分な広報ができない
- 9 技能実習生の申し込みが増加し、その他在留資格の外国人の受入れが困難
- 10 技能実習生等受入れ企業・組合との連携が困難
- 11 その他 ( )
- 12 特になし

【回答欄：問 32 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問 32 「11」 その他】 (自由記述)

--

問 33

今後教室をどのようにしていきたいですか。(複数回答可)

- 1 学習者数を増やしたい
- 2 学習者の日本語能力をアップさせたい
- 3 日本語教師、日本語学習支援者を増やしたい
- 4 日本語学習支援者のレベルアップを図りたい
- 5 講座の内容を充実させたい
- 6 教室や会場や施設を確保したい
- 7 地域との交流を図りたい
- 8 現状を維持したい
- 9 規模を縮小したい
- 10 その他 ( )

【回答欄：問 33 (複数回答可)】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【回答欄：問 33 「10」 その他】 (自由記述)

--



問 34 今後、県は地域の日本語教育にかかるとどのような施策を実施すべきだと思いますか。(複数回答可)

- 1 日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援 (相談対応、アドバイザー派遣等)
- 2 日本語教室への経済的支援
- 3 日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実
- 4 日本語教育コーディネーターの養成・紹介
- 5 日本語指導教材の開発・配布
- 6 日本語教室の広報・PR
- 7 他の日本語教室の有料事例(活動内容)等の紹介、情報提供
- 8 他団体等との連携の橋渡し
- 9 県に専門の日本語教育コーディネーターを配置
- 10 オンライン授業導入に係るサポート(導入方法についての教示等)や経済的支援
- 11 日本語教育推進のための協議会などの設置
- 12 外国人等を雇用する企業に対し、日本語学習支援に努める啓発  
(例：雇用する外国人等およびその家族に対し、日本語学習支援に努める啓発)
- 13 その他 ( )
- 14 特になし

【回答欄：問 34 (複数回答可)】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

【回答欄：問 34 「13 その他」(自由記述)】

問 35 行政 (県や市) との連携について、どのような協力ができますか。(複数回答可)

- 1 行政が企画・立案した日本語プログラムの実施の協力
- 2 行政が企画したイベントや研修などでの真日本語教室の活動内容の紹介・発表
- 3 ボランティア希望者の教室見学・ボランティア体験の受入
- 4 その他 ( )

【回答欄：問 35 (複数回答可)】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------

【回答欄：問 35 「4 その他」(自由記述)】

問 36 その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案がありましたらお聞かせください。(自由記述)

【回答欄：問 36 (自由記述)】

滋賀県地域日本語教育実態調査 D 日本語学校用

【回答の方法】

- それぞれの質問の下に、回答欄を設定してありますので、それぞれ入力をお願いします。
- 数字選択式の質問は、回答欄に、あてはまる選択肢の数字を入力してください。
- 選択肢「その他」などの自由記述を選んだ方は、回答欄に、具体的な内容を入力してください。
- わかりにくい用語については、調査票ファイルの最後に、用語の定義について掲載しています。
- この調査票ファイルでは、令和3年11月1日現在の内容でお答えください。

【回答者の属性】

最初に、回答される方についてご記入をお願いします。

1. 機関・団体名	
2. 担当部署	
3. 回答者氏名	
4. 連絡先	
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	

【質問事項】

問1

現在貴校に登録されている日本語教師について教えてください。

【回答欄：問1（自由記述）】

1 常勤日本語教師	人
2 非常勤日本語教師	人

問2

貴校で行われている日本語教育の主な目的・目標について教えてください。（複数回答可）

1 日本語大学・短期大学・専門学校等への進学準備	
2 日本での就職・就業の準備（技能実習生・特定技能ビザ取得等）	
3 短期間での日本語能力向上	
4 日本文化体験	
5 その他（ ）	

【回答欄：問2（複数回答可）】


【回答欄：問2「5 その他」(自由記述)】

--

問3

貴校の日本語コースの対象について教えてください。（全講座合計）

1 留学生	
2 定住者・永住者	
3 短期滞在者	
4 技能実習生	
5 その他（ ）	

D 日本語学校用調査票

【回答欄：問3（複数回答可）】


【回答欄：問3「5 その他」(自由記述)】

--

【回答欄：問3 各対象者数 (自由記述)】

1 留学生	人
2 定住者・永住者	人
3 短期滞在者	人
4 技能実習生	人
5 その他	人

問4

在留資格が「留学」である外国人についてお聞かせします。国籍別人数を分かる範囲で教えてください。

【回答欄：問4 (自由記述)】

1 ブラジル	人
2 ベトナム	人
3 中国	人
4 韓国・朝鮮	人
5 フィリピン	人
6 ペルー	人
7 インドネシア	人
8 その他	人

問5

在留資格が「留学以外」である外国人についてお聞かせします。国籍別人数を分かる範囲で教えてください。

【回答欄：問5 (自由記述)】

1 ブラジル	人
2 ベトナム	人
3 中国	人
4 韓国・朝鮮	人
5 フィリピン	人
6 ペルー	人
7 インドネシア	人
8 その他	人

問6  
在留資格「留学」以外の方が受講できる日本語講座にはどのような講座がありますか。

【回答欄：問6（自由記述）】

内容	開催期間

問7  
貴校では、オンラインによる日本語講座を実施していますか。

- 1 実施している      2 実施していない

【回答欄：問7（単数回答）】

問8  
貴校において、現在（令和3年度）日本語教師を養成するための講座を実施していますか。

- 1 実施している      2 現在実施していないが、今後実施を検討する  
3 現在実施していないが、過去に実施していた      4 実施していない

【回答欄：問8（単数回答）】

問9  
日本語教育に関して、今後、他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語教室等）から連携や交流、もしくは何らかの協力依頼があった場合、応じることは可能ですか。

- 1 可能      2 内容によっては可能  
3 あまり連携や交流、協力については考えていない      4 不可

【回答欄：問9（単数回答）】

問10  
問9で1、2と回答された方にお聞きします。どのような協力ができますか。（複数回答可）

- 1 日本語教育プログラムの作成  
2 日本語教育教材の作成  
3 有資格日本語教師の派遣  
4 日本語学習支援者（ボランティア）のための日本語指導に関する講座の開催  
5 日本語教室の開催  
6 その他（      ）

【回答欄：問10（複数回答可）】

--	--	--	--

【回答欄：問10「6 その他」（自由記述）】

問11  
地域の日本語教育における日本語学校の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。（複数回答可）

- 1 外国人が確実に日本語能力を身に付けることができる場  
2 外国人が日常生活に必要な日本語を身に付ける場  
3 外国人と地域社会との接点となる場  
4 外国人の情報交換の場  
5 外国人が日本の文化を理解する場  
6 実践的な日本語を指導できる日本語教師を育成  
7 地域の日本語教育における役割を担う必要はない  
8 その他（      ）

【回答欄：問11（複数回答可）】

--	--	--	--

【回答欄：問11「8 その他」（自由記述）】

問12  
貴校における日本語教育に関する事業内容が分かるウェブサイトがありますか。

- 1 ある      2 ない

【回答欄：問12（単数回答）】

問13  
その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。（自由記述）

【回答欄：問13（自由記述）】

E 事業所用調査票

滋賀県地域日本語教育実態調査 E 事業所用

【回答者の属性】

Q1 貴事業所の名称をお答えください。(自由記述)  
( )

Q2 貴事業所の所在地の市町名をお答えください。  
 1 大津市  
 2 彦根市  
 3 長浜市  
 4 近江八幡市  
 5 草津市  
 6 守山市  
 7 栗東市  
 8 甲賀市  
 9 野洲市  
 10 湖南市  
 11 高島市  
 12 東近江市  
 13 米原市  
 14 日野町  
 15 竜王町  
 16 愛荘町  
 17 豊郷町  
 18 甲良町  
 19 多賀町

Q3 この調査に回答いただいた方のご氏名、担当部署をお答えください。(自由記述)  
( )

Q4 連絡先として、住所、電話番号、FAX 番号、E-mail などをお答えください。(自由記述)  
( )

【事業所の属性・外国人従業員の雇用状況】

Q5 貴事業所の総従業員数(パート、派遣労働者を含む)をお答えください。  
 1 1~19 人  
 2 20~49 人  
 3 50~99 人  
 4 100~299 人  
 5 300 人以上

Q6 貴事業所の業種をお答えください。  
 1 製造業  
 2 サービス業  
 3 卸・小売業  
 4 建設業  
 5 宿泊・飲食サービス  
 6 医療・福祉  
 7 その他 ( )

Q7 貴事業所では現在外国人従業員が働いていますか。  
 1 いる  
 2 現在はいませんが、今後雇用予定、検討中  
 3 いない

→ Q2 (現在はいませんが、今後雇用予定、検討中) あるは3 (いない) を選んだ方は、以上で質問は終了です。  
 Q8以降の質問には回答せず、お手数ですが「次へ」ボタンを押して最後の質問Q36 まで進み、「送信」ボタンを押してください。

Q8 Q7で1 (いる) と回答された方は、以降の設問にお答えください。  
 外国人従業員の人数をお答えください。

1 0~5 人  
 2 6~10 人  
 3 11~30 人  
 4 31~50 人  
 5 51~100 人  
 6 100 人以上

Q9 外国人従業員の雇用形態を教えてください。(複数回答可)

1 正社員  
 2 契約社員  
 3 パート、アルバイト  
 4 派遣労働者・請負労働者  
 5 技能実習生  
 6 その他 ( )

Q10 貴事業所で働く外国人について、上位3位までの国籍をお答えください。

1 フランス  
 2 ベトナム  
 3 中国  
 4 フィリピン  
 5 ベルギー  
 6 インドネシア  
 7 その他 ( )

Q11 貴事業所で働く外国人の在留資格について、上位3位までをお答えください。

1 身分に基づく在留資格  
 2 技能実習  
 3 特定技能  
 4 技術・人文知識・国際業務  
 5 特定活動  
 6 資格外活動  
 7 その他 ( )

【外国人従業員の日本語能力について】

Q12 外国人従業員の採用時に、どのような日本語能力をチェックしていますか。(複数回答可)

1 挨拶等の基本的な日本語能力  
 2 日本人とコミュニケーションをとるための日常会話力  
 3 仕事に必要な専門用語等の日本語能力  
 4 敬語等のビジネスマナーに関する日本語能力  
 5 日本語能力試験の認定レベル  
 6 日本語能力は問わない  
 7 その他 ( )

Q13 貴事業所で働く外国人従業員のうち、日常会話レベルでの日本語能力が不十分だと思われる方はいますか。

- 1 たくさんいる
- 2 半数くらいいる
- 3 少しいる
- 4 いない

Q14 外国人従業員との日本語でのコミュニケーションにおいて、困ることはありますか。

- 1 よくある
- 2 時々ある
- 3 あまりない
- 4 ほとんどない
- 5 なんとも言えない

Q15 Q14で1（よくある）または2（時々ある）と回答された方にお聞きします。外国人従業員との日本語でのコミュニケーションにおいて、どのような場面で困ることがありますか。（複数回答可）

- 1 仕事の内容や作業の指示等
- 2 業務外での会話（雑談等）
- 3 外国人従業員の家族とのコミュニケーション
- 4 国籍の異なる外国人従業員同士のコミュニケーション
- 5 緊急時（病氣、災害等）
- 6 その他（ ）

Q16 Q14で1（よくある）または2（時々ある）と回答された方にお聞きします。外国人従業員との日本語でのコミュニケーションにおいて困ることのある、理由は何だと思えますか。（複数回答可）

- 1 外国人従業員自身の日本語能力不足
- 2 日本人従業員等がわかりやすく話そうとしていないため
- 3 日本人従業員等の方言等の理解が困難なため
- 4 その他（ ）

Q17 外国人従業員とのコミュニケーションの工夫についてどのようなことを行っていますか。（複数回答可）

- 1 外国人従業員の日本語学習を奨励
- 2 やさしい日本語を活用
- 3 翻訳アプリ・ソフトを活用
- 4 通訳・翻訳担当を配置
- 5 日本人従業員の外国語・異文化理解の学習を奨励
- 6 外国人リーダーを紹介したり
- 7 多言語併記等を実施
- 8 その他（ ）

【外国人従業員に対する日本語学習の支援について】

Q18 貴事業所では、外国人従業員の日本語学習に対して、何らかの支援を行っていますか。

- 1 している
- 2 していない

→ 2（していない）を選んだ方は、Q29以降の質問にお答えください。  
Q19からQ28の質問には回答せず、お手数ですが「次へ」ボタンを押してQ29まで進んでください。

Q19 貴事業所での日本語学習支援はどのように実施していますか。（複数回答可）

- 1 貴事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している
- 2 近隣の日本語学校や公民館等で行う地域の日本語教室を紹介している
- 3 日本語学校や地域の日本語教室に通う費用を負担している
- 4 日本語学校や日本語教室への送迎をしている
- 5 日本語学校や地域の日本語教室に通いやすいように就業をさせないなどの勤務時間を考慮している
- 6 日本語学校や地域の日本語教室に勤務時間内に通えるよう考慮している
- 7 外部講師の結果によって奨励金を出している
- 8 外部講師の検定補助をしている
- 9 その他（ ）

Q20 Q19で1（貴事業所で日本語教室や日本語研修等を実施している）と回答された方にお聞きします。貴事業所の日本語教室や日本語研修（以下、「日本語教室等」という）はどのように実施していますか。

- 1 事業所内で対応（社長が日本語を教えている。）
- 2 外部に委託し、事業所内の会議室等で実施
- 3 外部に委託し、事業所外で実施
- 4 その他（ ）

Q21 貴事業所の日本語教室等の1か月あたりの実施回数を教えてください。（自由記述）

1か月あたり（ ）回程度

Q22 貴事業所の日本語教室等の実施曜日・時間を教えてください。（自由記述）

（ ）

Q23 貴事業所の日本語教室等への1回あたりの参加人数を教えてください。（自由記述）

1回あたり（ ）人程度

Q24 貴事業所の日本語教室等での学習内容は何か。（複数回答可）

- 1 生活に必要な日本語
- 2 仕事に必要な日本語
- 3 学校での勉強に必要な日本語
- 4 日本人との交流
- 5 日本文化を学ぶ
- 6 日本語能力試験対策
- 7 その他（ ）

Q25 貴事業所の日本語教室等で使用しているテキスト名を教えてください。(自由記述)

( )

Q26 日本語教育に関して、他の団体(県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等)と連携・交流は行っていますか。(選択)

1 連携・交流している 2 連携していない

Q27 Q26で1(連携・交流している)と回答された方にお聞きます。  
連携・交流先を教えてください。(自由記述)

連携・交流先 ( )

Q28 Q26で1(連携・交流している)と回答された方にお聞きます。  
連携・交流内容を教えてください。(自由記述)

連携・交流内容 ( )

Q29 Q18で日本語学習支援を行っていないと回答された方にお聞きます。  
理由をお答えください。(複数回答可)

1 直接雇用の関係ではないから  
2 事前に日本語研修を受けてきているから  
3 社内でコミュニケーションに日本語を必要としないから  
4 日本語でのコミュニケーションに不自由がないから  
5 事業所内に通訳がいるから  
6 外国人従業員が自身で行うべきだと考えているから  
7 諸手当等で奨励していると考えているから  
8 日本人外国人問わず研修費用に限られるから  
9 日本語研修に関するノウハウがないから  
10 希望者がいない  
11 その他 ( )

【外国人従業員への日本語教育の将来について】

Q30 全員にお聞きます。  
今後、外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、どのような形態での学習機会があればよいと思いますか。(複数回答可)

1 事業所内に講師を招いての日本語教室の開催  
2 事業所外(社員寮等)に講師を招いての日本語教室の開催  
3 大学や日本語学校等が開催する日本語コースへの参加促進  
4 地域のボランティア日本語教室等への参加促進  
5 専用ウェブサイトをアプリ等、eラーニングの活用  
6 通信講座等、自宅学習教材の活用  
7 その他 ( )

Q31 今後、外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、貴事業所として協力できると思われることは何ですか。(複数回答可)

1 日本語教師の謝礼などの費用負担  
2 外国人従業員が日本語を学ぶための授業料の負担  
3 日本語のテキスト代の負担  
4 日本人従業員による日本語学習支援  
5 会場提供  
6 勤務時間内に日本語学習のための時間を設ける  
7 できることはない  
8 その他 ( )

Q32 外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、日本語教育にかかる費用として、どの程度なら負担できますか。(自由記述)

1人当たり ( ) 円/月

Q33 外国人が働く事業所は、日本語教育に対してどのような役割を果たすべきだと考えますか。(複数回答可)

1 事業所内の日本語教育等の実施  
2 事業所で働く外国人への日本語学習の奨励  
3 事業所で働く外国人への日本語学習に関する情報提供  
4 日本語学校・地域の日本語教室等への紹介  
5 地域の日本語教室や外国人を支援する団体等への支援(寄附など)  
6 その他 ( )

Q34 「日本語教育推進法」において、企業は雇用する外国人やその家族に対する日本語学習の機会の提供その他の日本語学習に関する支援に努める責務があると定められていることを知っていますか。

1 知っている 2 知らなかった

Q35 行政に期待することは何ですか。(複数回答可)

1 事業所で実施する日本語教室等に対する助成金  
2 日本語講座・教室の設置または日本語研修・セミナーの実施  
3 外国人を奨励とする各種セミナーや文化理解のための研修等  
4 企業内日本語教室、日本語研修開催のためのノウハウの提供  
5 その他 ( )

Q36 その他、日本語教育事業に関して、県に対して御意見・ご提案等がありましたらお聞かせください。(自由記述)

( )



F 外国人県民等用調査票

問7

あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。

- 1 6か月未満
- 2 6か月以上～12か月未満
- 3 1年以上～3年未満
- 4 3年以上～5年未満
- 5 5年以上
- 6 住み続ける
- 7 まだ決めていない

問8

仕事をしていますか。

- 1 している
- 2 していない(今、探している)
- 3 していない(探していない)

【日本語学習に関する項目】

問9

あなたは日本語を学んだことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

問10

(問9で1と答えた方)

あなたは、今、日本語を学んでいますか。

- 1 学んでいる
- 2 学んでいない

問11

(問10で1と答えた方)

あなたは、今、どうやって日本語を学んでいますか。(複数回答可)

- 1 独学で(教科書やテレビ等)
- 2 独学で(インターネットやアプリ等)
- 3 通信教育で
- 4 無料の日本語教室で
- 5 有料の日本語教室で
- 6 家族から学んでいる
- 7 職場で学んでいる
- 8 友達(日本人)から学んでいる
- 9 友達(日本人以外)から学んでいる
- 10 周りの会話を聞いて覚えている
- 11 その他

問12

(問10で1と答えた方)

あなたは、何のために日本語を学んでいますか。(複数回答可)

- 1 日本で生活していくために必要だから
- 2 日本人との付き合いを広げるため
- 3 仕事で必要だから
- 4 より良い条件の仕事を探するため
- 5 進学や勉強のため
- 6 その他

滋賀県地域日本語教育実態調査 F 外国人県民等用

【属性】

問1

あなたはどこに住んでいますか。

- 1 大津市
- 2 草津市、守山市、栗東市、野洲市
- 3 甲賀市、湖南市
- 4 東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町
- 5 彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
- 6 米原市、長浜市
- 7 高島市
- 8 滋賀県以外

問2

あなたの性別は次のどれですか。

- 1 男
- 2 女
- 3 回答しない

問3

あなたの年齢は次のどれですか。

- 1 1～19歳
- 2 20～29歳
- 3 30～39歳
- 4 40～49歳
- 5 50～59歳
- 6 60～69歳
- 7 70歳～

問4

あなたの出身は次のどれですか。

- 1 ブラジル
- 2 ベトナム
- 3 中国
- 4 韓国・朝鮮
- 5 フィリピン
- 6 ペルー
- 7 インドネシア
- 8 米国
- 9 ネパール
- 10 その他

問5

あなたの在留資格は次のどれですか。

- 1 永住者
- 2 技能実習
- 3 定住者
- 4 特別永住者
- 5 技術・人文知識・国際業務
- 6 日本人の配偶者等
- 7 留学
- 8 家族滞在
- 9 特定活動
- 10 永住者の配偶者等
- 11 特定技能
- 12 技能
- 13 その他

問6

あなたはどのくらい日本で生活していますか。

- 1 6か月未満
- 2 6か月以上～12か月未満
- 3 1年以上～3年未満
- 4 3年以上～5年未満
- 5 5年以上～10年未満
- 6 10年以上～15年未満
- 7 15年以上

問 13

(問9で2と答えた方、問10で2と答えた方)

現在日本語を学んでいないのはなぜですか。(複数回答可)

- 1 もう十分に日本語ができるから
- 2 日本語を使う必要がないから(日本語以外の言語で十分生活ができるから)
- 3 育見のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから
- 4 仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから
- 5 日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから
- 6 日本語教室の情報がわからないから
- 7 日本語教室の時間が合わないから
- 8 日本語教室が遠くて通うことができないから
- 9 日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから
- 10 どうやって勉強したらいいかわからないから
- 11 学ぶ意欲が湧かないから

問 14

(問9で2と答えた方、問10で2と答えた方)

日本語を学びたいですか。

- 1 日本語を学びたい
- 2 日本語を学びたいとは思わない

問 15

(問14で1と答えた方)

どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。(複数回答可)

- 1 時間的な余裕があれば学びたい
- 2 金銭的な余裕があれば学びたい
- 3 無料の日本語教室があれば学びたい
- 4 日本語教室と時間が合えば学びたい
- 5 日本語教室が自宅や職場の近くにあると学びたい
- 6 自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい
- 7 良い教科書があれば学びたい
- 8 日本語学習用のテレビ番組があれば学びたい
- 9 日本語学習用のインターネットのページやアプリのプログラムがあれば学びたい
- 10 日本語学習用の通信教育のプログラムがあれば学びたい

問 16

(問10で1と答えた方、問14で1と答えた方)

どのような場所で日本語を学びたいですか。

- 1 自分の住んでいる地域にある日本語教室
- 2 職場での研修として
- 3 日本語学校
- 4 大学
- 5 その他

問 17

(問10で1と答えた方、問14で1と答えた方)

どのような時間に日本語を学びたいですか。

- 1 平日昼間
- 2 平日夜間
- 3 土曜・日曜の昼間
- 4 土日の夜間

問 18

(問10で1と答えた方、問14で1と答えた方)

1週間に何回くらい通いたいですか。

- 1 1～2日
- 2 3日～4日
- 3 5日以上
- 4 毎週通うのは難しい

問 19

次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。(複数回答可)

- 1 近所付き合いで
- 2 電車やバスに乗るとき
- 3 日常生活や買い物で
- 4 役所の手続で
- 5 郵便局・銀行の手続で
- 6 仕事を探すとき
- 7 仕事で
- 8 病気になったとき
- 9 学校の先生と話すとき
- 10 その他

問 20

次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。最近1年間に困った経験があるものを選んでください。(複数回答可)

- 1 近所付き合いで
- 2 電車やバスに乗るとき
- 3 日常生活や買い物で
- 4 役所の手続で
- 5 郵便局・銀行での手続で
- 6 仕事を探すとき
- 7 仕事で
- 8 病気になったとき
- 9 学校の先生と話すとき
- 10 困ったことはない
- 11 その他

【日本語能力に関する項目】

問 21

あなたは日本語がどのくらいできますか。

問 21-1

【聞く】

- 1 テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる
- 2 相手の言うことを聞いて、大体理解できる
- 3 相手の言うことがゆっくり話せば聞いて、理解できる
- 4 単語だけ聞き取れる
- 5 ほとんど聞き取れない

問 21-2

【話す】

- 1 自分の言いたいことが問題なく話せる
- 2 自分の言いたいことが大体話せる
- 3 簡単な日常会話ができる
- 4 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる
- 5 ほとんど話せない



<p>問 21-3 【読む】</p> <p>1 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる 2 役所や学校、職場からお知らせを読んで、少し理解できる 3 新聞の雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる 4 絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる 5 ほとんど読めない</p> <p>問 21-4 【書く】</p> <p>1 仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる 2 日常生活や自分のふるふると、自分の経験について紹介する文章を書くことができる 3 職場の同僚や学校の先生、家族に事件を伝える簡単なメモなどを書くことができる 4 名前や国名、住所などが書ける 5 ほとんど書けない</p> <p>問 22 それぞれの場面で、日本語がどれくらいできますか。 ①病気になるったときに、病院で</p> <p>問 22-1 【聞く】</p> <p>1 医師の説明が聞き取れる 2 医師の説明が大体聞き取れる 3 医師の説明が少し聞き取れる（単語が聞き取れる） 4 ほとんど聞き取れない</p> <p>問 22-2 【話す】</p> <p>1 症状について詳しく話せる 2 症状について大体話せる 3 症状について少し話せる（単語が言える） 4 ほとんど話せない</p> <p>問 22-3 【読む】</p> <p>1 問診票が読める 2 問診票が大体読める 3 問診票が少し読める 4 ほとんど読めない</p> <p>問 22-4 【書く】</p> <p>1 問診票が書ける 2 問診票が大体書ける 3 問診票が少し書ける（住所と名前などが書ける） 4 ほとんど書けない</p>	<p>問 23 ②職場で</p> <p>問 23-1 【聞く】</p> <p>1 指示が聞き取れる 2 指示が大体聞き取れる 3 指示が少し聞き取れる（単語が聞き取れる） 4 ほとんど聞き取れない</p> <p>問 23-2 【話す】</p> <p>1 仕事の進捗状況について報告ができる 2 仕事の進捗状況について大体報告ができる 3 仕事の進捗状況について少し報告ができる（単語で言える） 4 ほとんど話せない</p> <p>問 23-3 【読む】</p> <p>1 作業指示書が読める 2 作業指示書が大体読める 3 作業指示書が少し読める（単語が読める） 4 ほとんど読めない</p> <p>問 23-4 【書く】</p> <p>1 仕事の報告書が書ける 2 仕事の報告書が大体書ける 3 仕事の報告書が少し書ける（単語で書ける） 4 ほとんど書けない</p> <p>問 24 ③役所の手続で</p> <p>問 24-1 【聞く】</p> <p>1 手続の内容について聞き取れる 2 手続の内容について大体聞き取れる 3 手続の内容について少し聞き取れる 4 ほとんど聞き取れない</p> <p>問 24-2 【話す】</p> <p>1 役所で要件を説明することができる 2 役所で要件を大体説明することができる 3 役所で要件を少し説明することができる（単語で言える） 4 ほとんど話せない</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問 24-3

【読む】

- 1 役所からの手紙が読める
- 2 役所からの手紙が大体読める
- 3 役所からの手紙が少し読める（単語が分かる）
- 4 ほとんど読めない

問 24-4

【書く】

- 1 住民票などの申請に必要な書類が漢字交じりで書ける
- 2 住民票などの申請に必要な書類が仮名で書ける
- 3 住民票などの申請に必要な書類が名前と住所が仮名で書ける
- 4 ほとんど書けない

令和3年度滋賀県地域日本語教育実態調査 報告書

令和4年3月

滋賀県総合企画部国際課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL : 077-528-3063 FAX : 077-521-5030